

令和6年度
依存症に関する市民意識調査
結果報告書

令和7年3月
横浜市健康福祉局

— 目次 —

I 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 回収結果	1
5. 集計結果の見方	1
6. 回答者の属性	2

II 調査結果

1. 悩みやストレスに関して	
(1)過去 30 日間にあった悩みやストレスの頻度	5
(2)日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために頼ったもの	13
2. 依存症に対する知識や考え、意識に関して	
(1)知っている依存症	34
(2)周りの人が依存症の人のことをどう思っているか	36
(3)飲酒に関する行動や状態で依存症だと思うもの	46
(4)薬物使用に関する行動や状態で依存症だと思うもの	48
(5)ギャンブル等に関する行動や状態で依存症だと思うもの	50
(6)家族が依存症と疑われる場合	52
(7)家族が依存症と疑われる場合の相談先	54
(8)相談先へ相談することに対するイメージ	56
3. あなたの依存症の問題について	
(1)依存症の問題で悩んだ経験	58
(2)依存対象	60
(3)依存に至った理由	63
(4)依存症の対処	66
(5)依存症の対処でよかったこと	68
4. 家族の依存症の問題について	
(1)家族の依存症の問題	70
(2)家族の依存対象	72
(3)家族の依存症で受けた影響	74
(4)家族の依存症の対処	76

5. 横浜市の依存症対策について

(1)横浜市の依存症に関する普及啓発について	78
(2)横浜市の依存症に関する普及啓発を見た感想	82
(3)横浜市の依存症対策事業について	84
(4)横浜市の依存症対策事業を知った手段	87
(5)行政(横浜市)への期待	89

Ⅲ 調査票	91
-------------	----

I 調査概要

1. 調査目的

市民の依存症に関する考えや意識を明らかにすることで、「横浜市依存症対策地域支援計画(令和3年度～令和7年度)」の実施状況を評価し、また今後の依存症対策施策の立案及び第2期横浜市依存症対策地域支援計画策定のための基礎資料として活用することを目的とする。

2. 調査対象

- (1)調査地域:横浜市全域
- (2)調査対象:横浜市に居住する満16歳以上の男女
- (3)抽出人数:5,000人
- (4)抽出方法:住民基本台帳から無作為抽出

3. 調査方法

- (1)調査方法:調査票を郵送、回答は郵送またはインターネットによる
- (2)調査機関:令和6年9月7日(土)～10月6日(日)

4. 回収結果

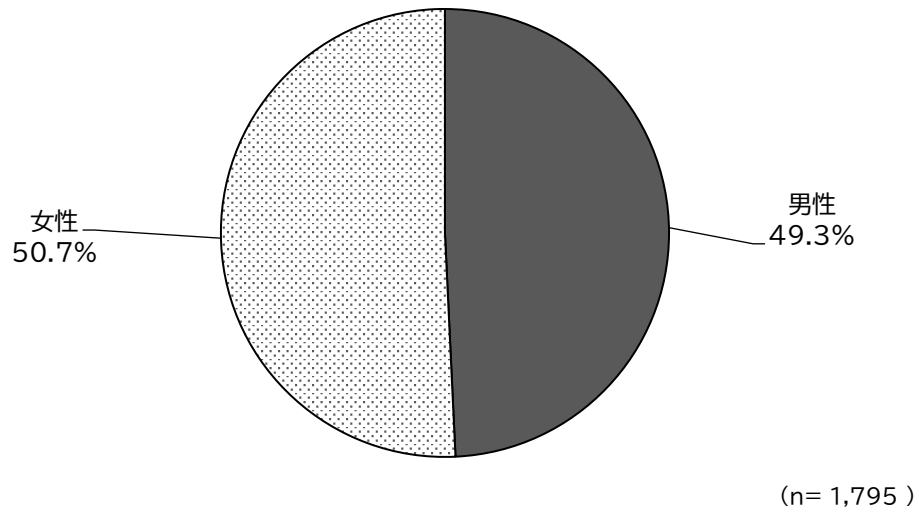
- (1)回収件数:1,830件(インターネット回答702件、郵送回答1128件)
- (2)回収率:36.6%

5. 集計結果の見方

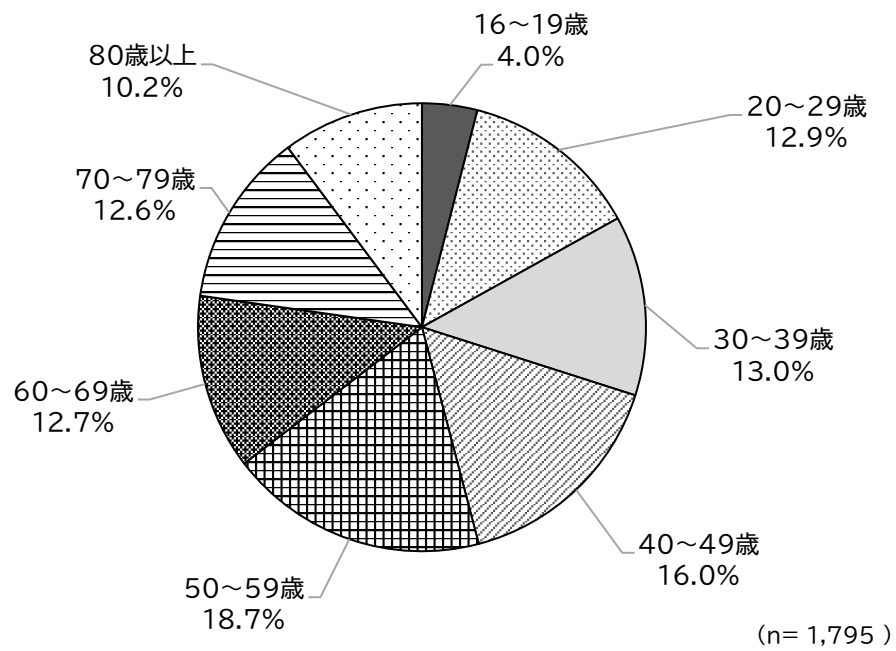
- (1)図(グラフ)の中で使用されているアルファベットnは、その設問に対する回答者数をあらわす。
- (2)ウェイトバック修正の際は、横浜市全体の人口構成に比率を合わせるため性別と年齢の無回答者は対象外となる。
- (3)ウェイトバック集計による補正後の件数は、四捨五入して整数表記をしているため、合計と誤差が生じる場合がある。
- (4)回答の比率(すべて百分率(%)で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

6. 回答者の属性

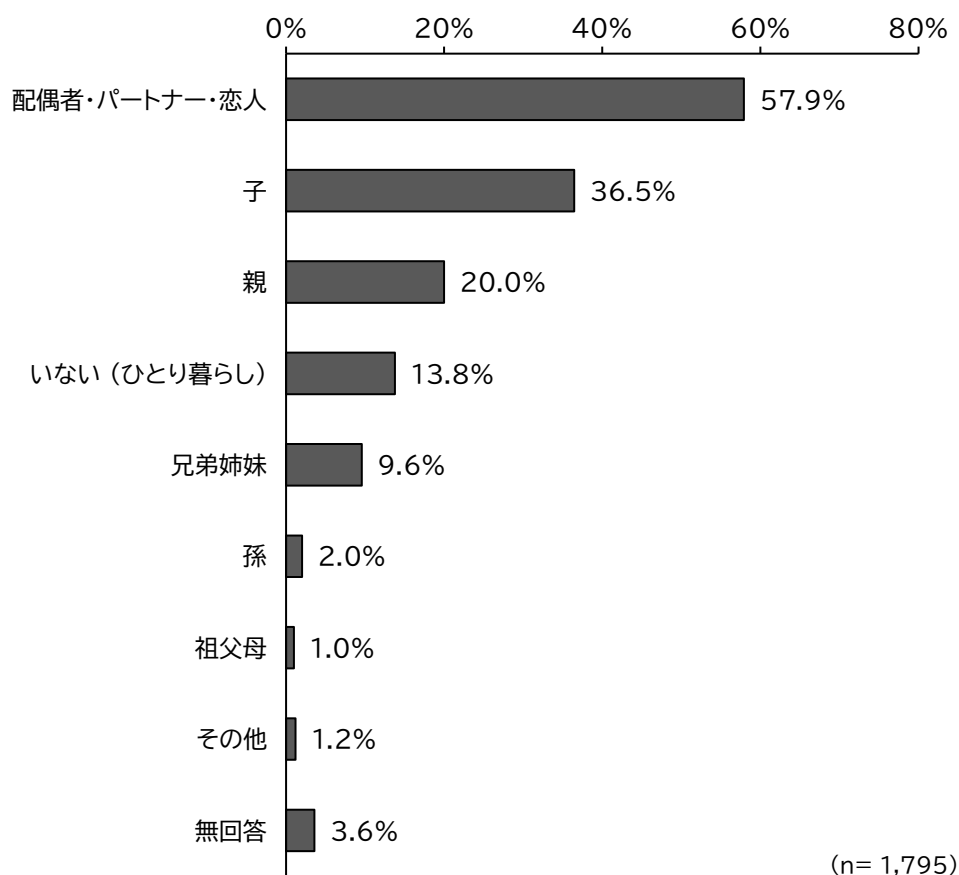
(1)性別



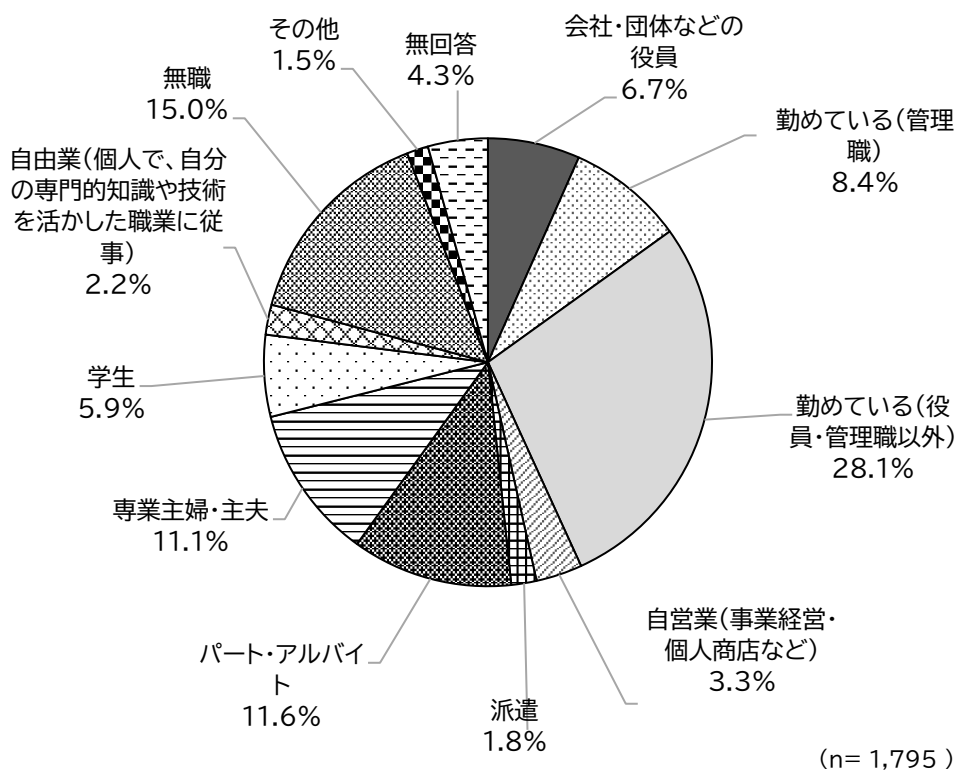
(2)年齢



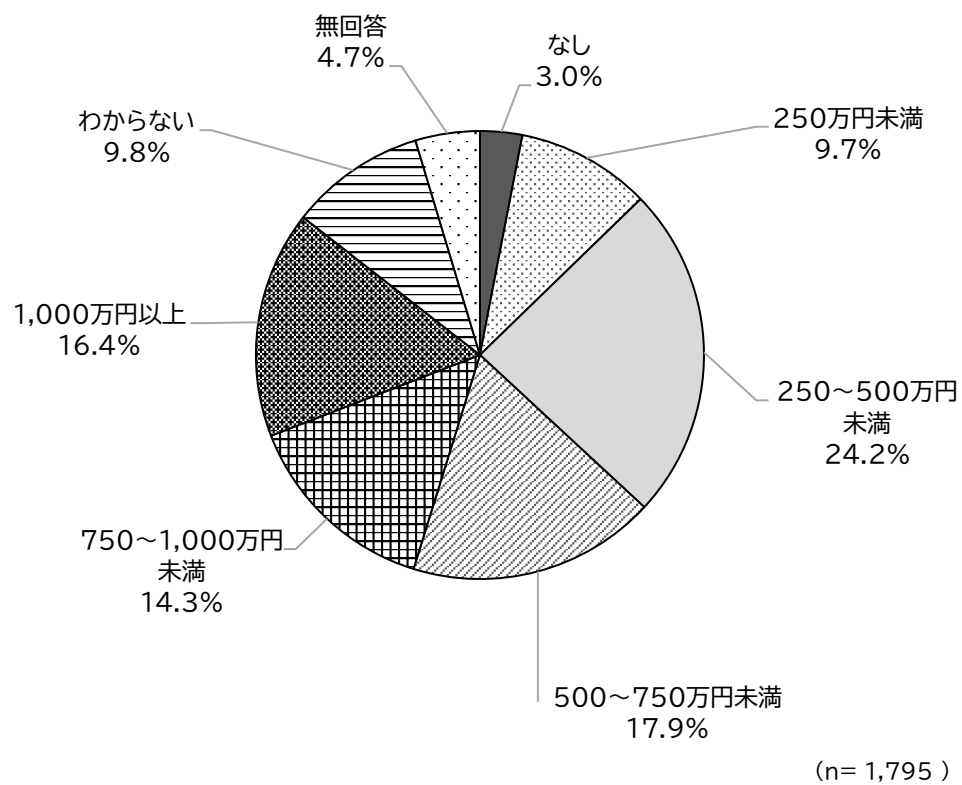
(3)同居者



(4)職業



(5)世帯年収



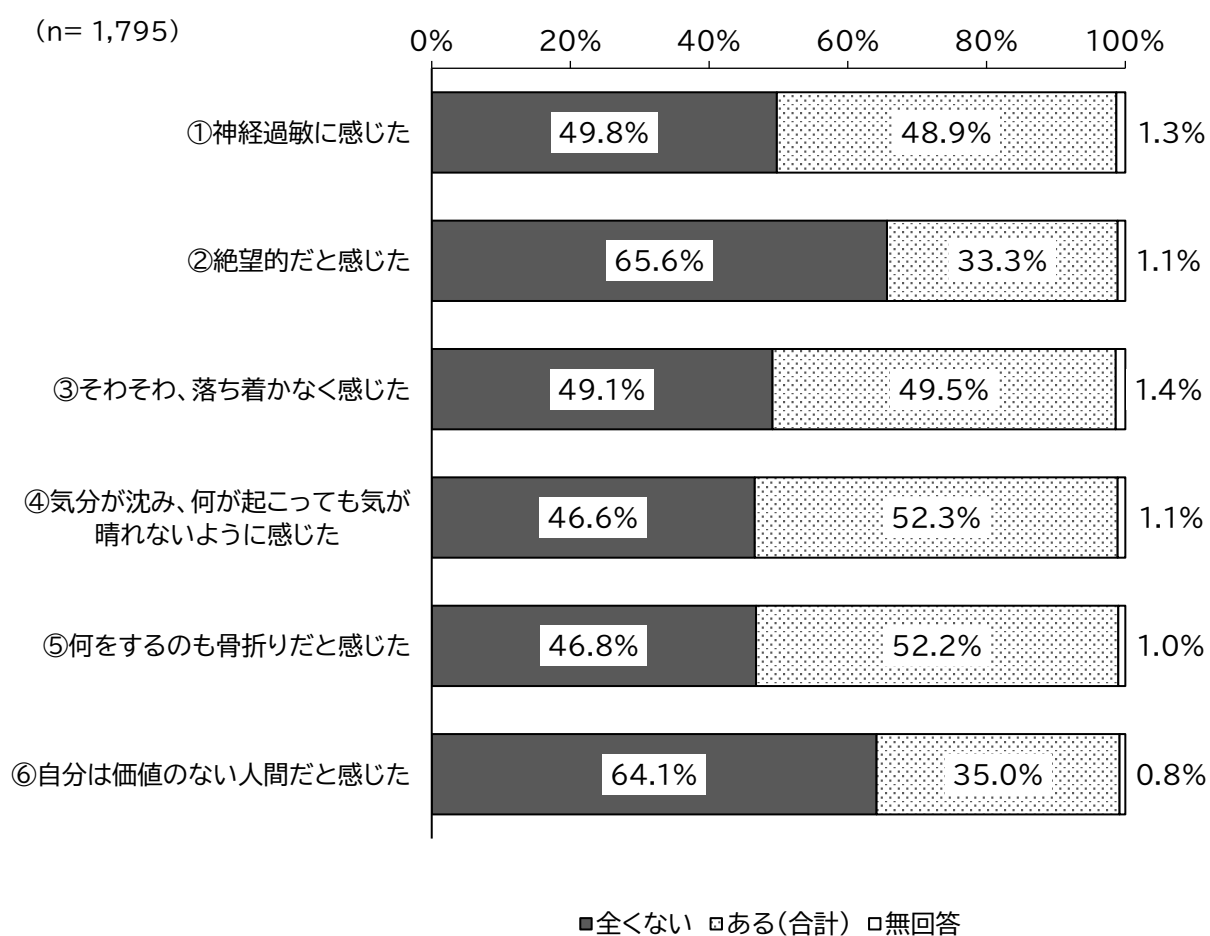
Ⅱ 調査結果

1. 悩みやストレスに関して

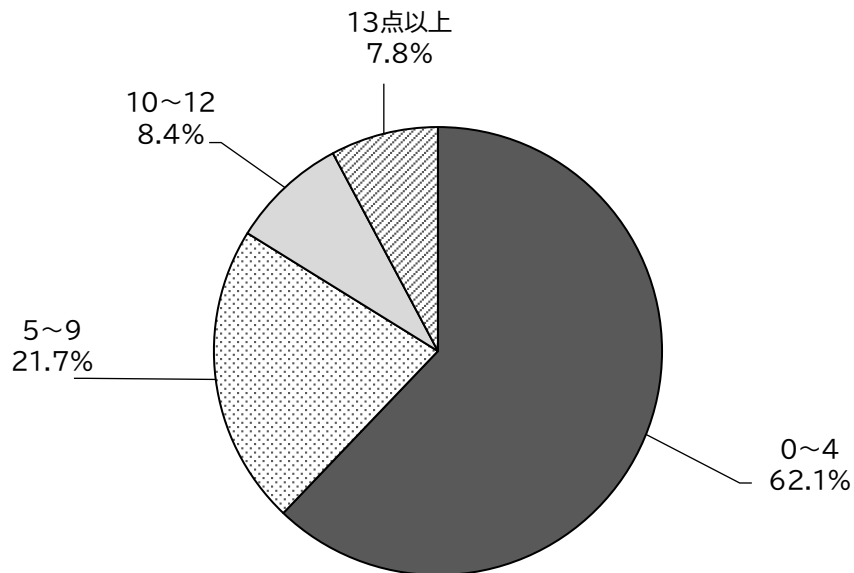
(1) 過去 30 日間にあった悩みやストレスの頻度

問 3 過去 30 日間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。(それぞれ○は1つ)

「少しだけ」「ときどき」「たいてい」「いつも」を合わせた「ある(合計)」が最も高いのは、「気分が沈み、何が起ころても気が晴れないように感じた」で52.3%、次いで「何をするのも骨折りだと感じた」が52.2%となっている。



過去 30 日間にあった悩みやストレスの頻度を、K6 尺度を用いてスコア化(「全くない:0点」「少しだけ:1点」「ときどき:2点」「たいてい:3点」「いつも:4点」とした①から⑥までの合計点)し、ストレスの頻度を点数別にみると、心理的ストレス反応相当といわれる 5 点以上が、37.9%になっている。

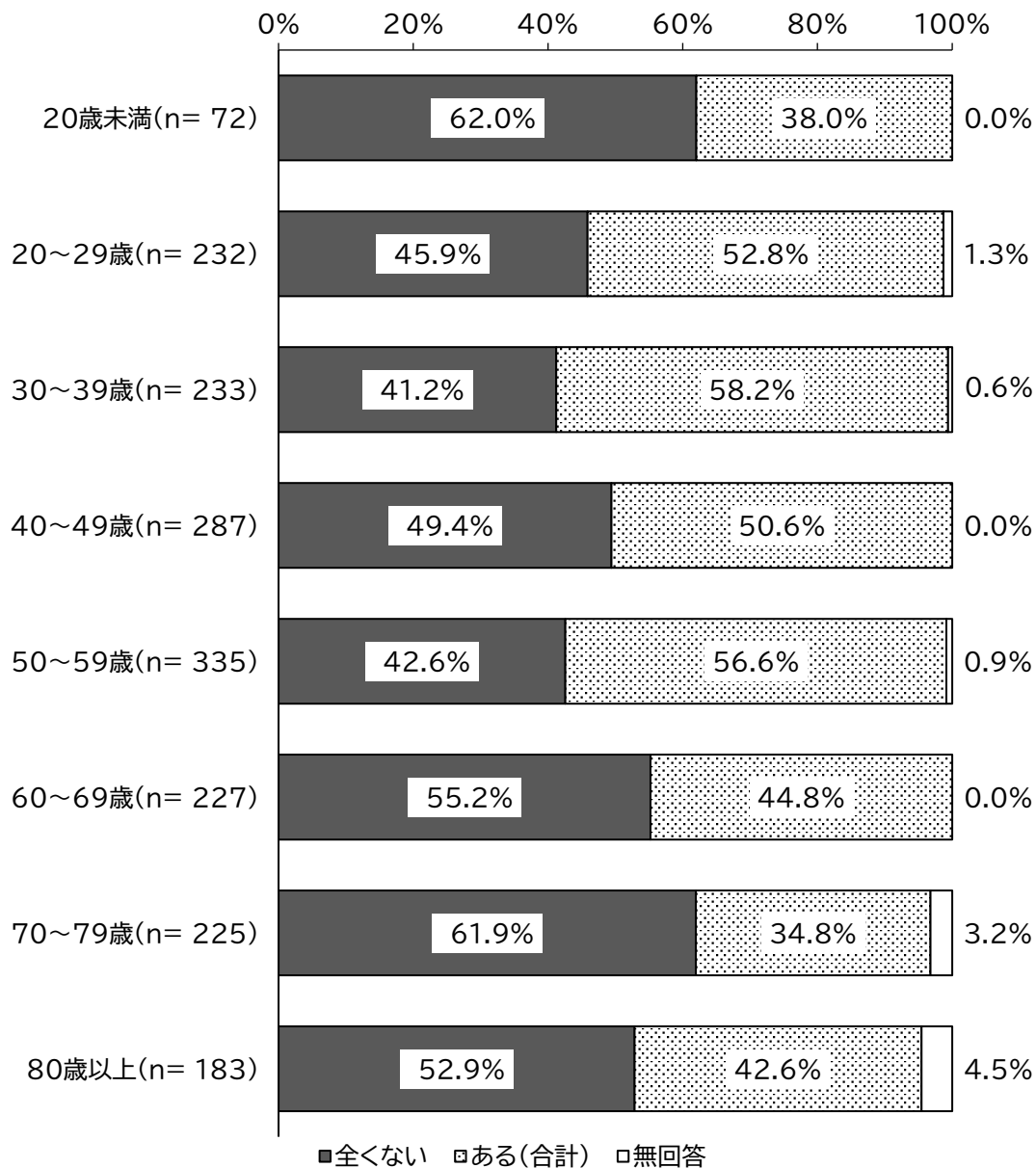


(n = 1,795)

<注釈>・K6とは、うつ病・不安障害等の精神疾患のスクリーニングを目的として、Kessler らによって開発された尺度である。6項目の質問から構成され、点数が高いほど、精神的な不調を感じている度合いが強いことを示す。

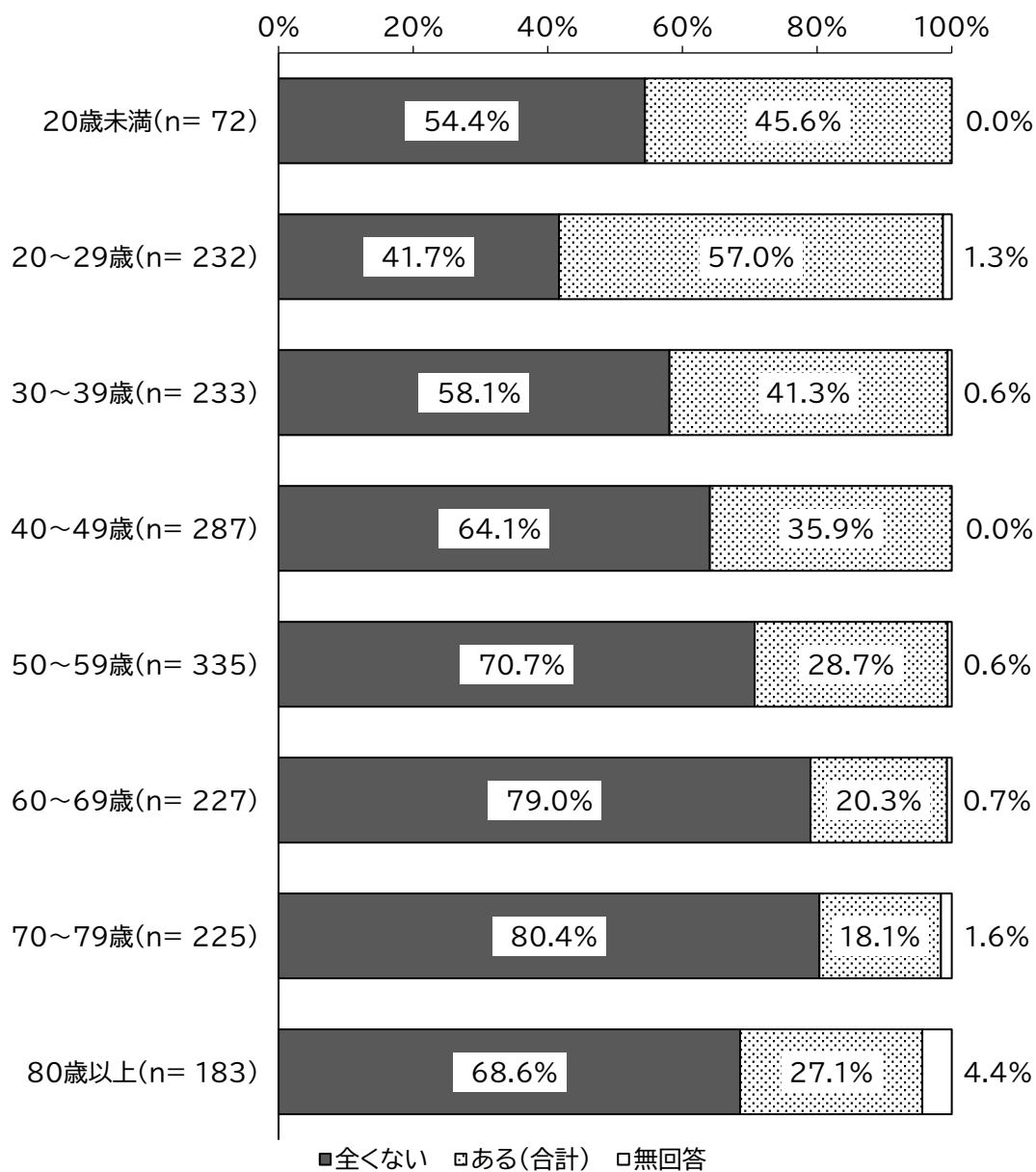
神経過敏に感じたかどうかを年代別にみると、20代から50代の各年代で、「ある(合計)」が全体の48.9%より高く、特に30代で58.2%と各年代の中で最も高くなっている。

① 神経過敏に感じた



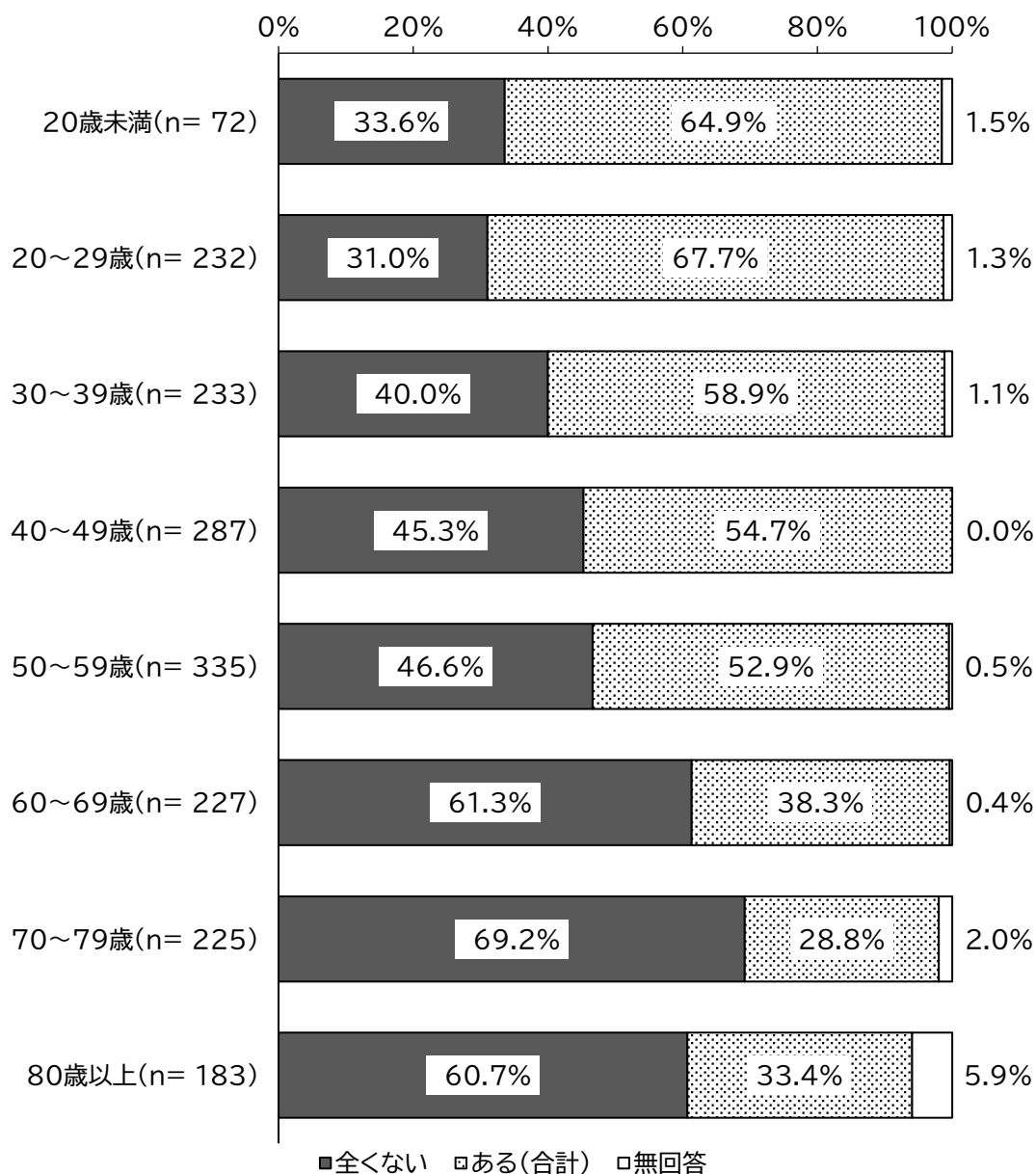
絶望的だと感じたかどうかを年代別にみると、40代以下の各年代で、「ある(合計)」が全体の33.3%より高く、特に20代では57.0%と各年代の中で最も高くなっている。

② 絶望的だと感じた



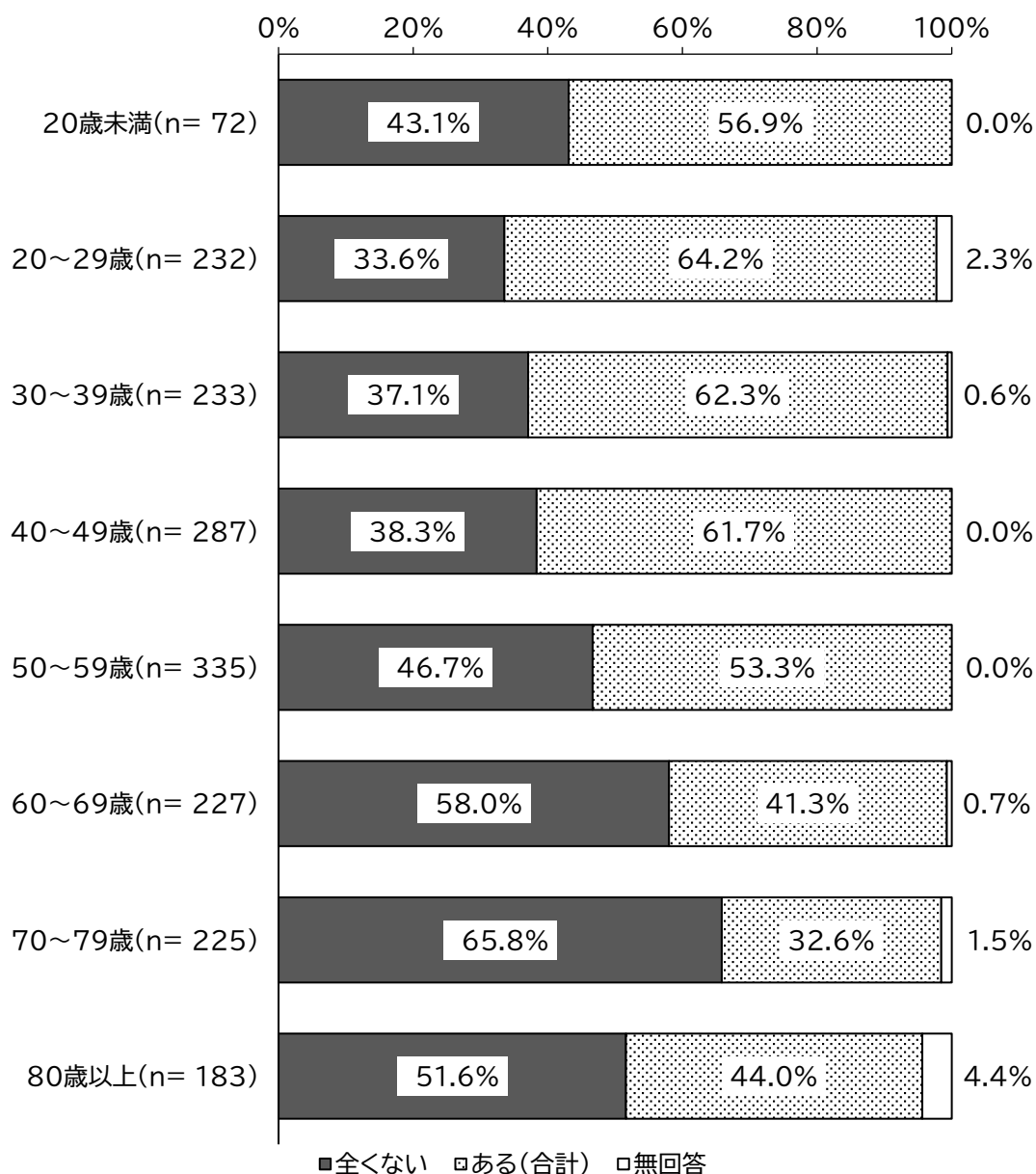
そろそろ、落ち着かなく感じたかどうかを年代別にみると、50代以下の各年代で、「ある(合計)」が全体の49.5%より高く、特に20代では67.7%と各年代の中で最も高くなっている。

③ そろそろ、落ち着かなく感じた



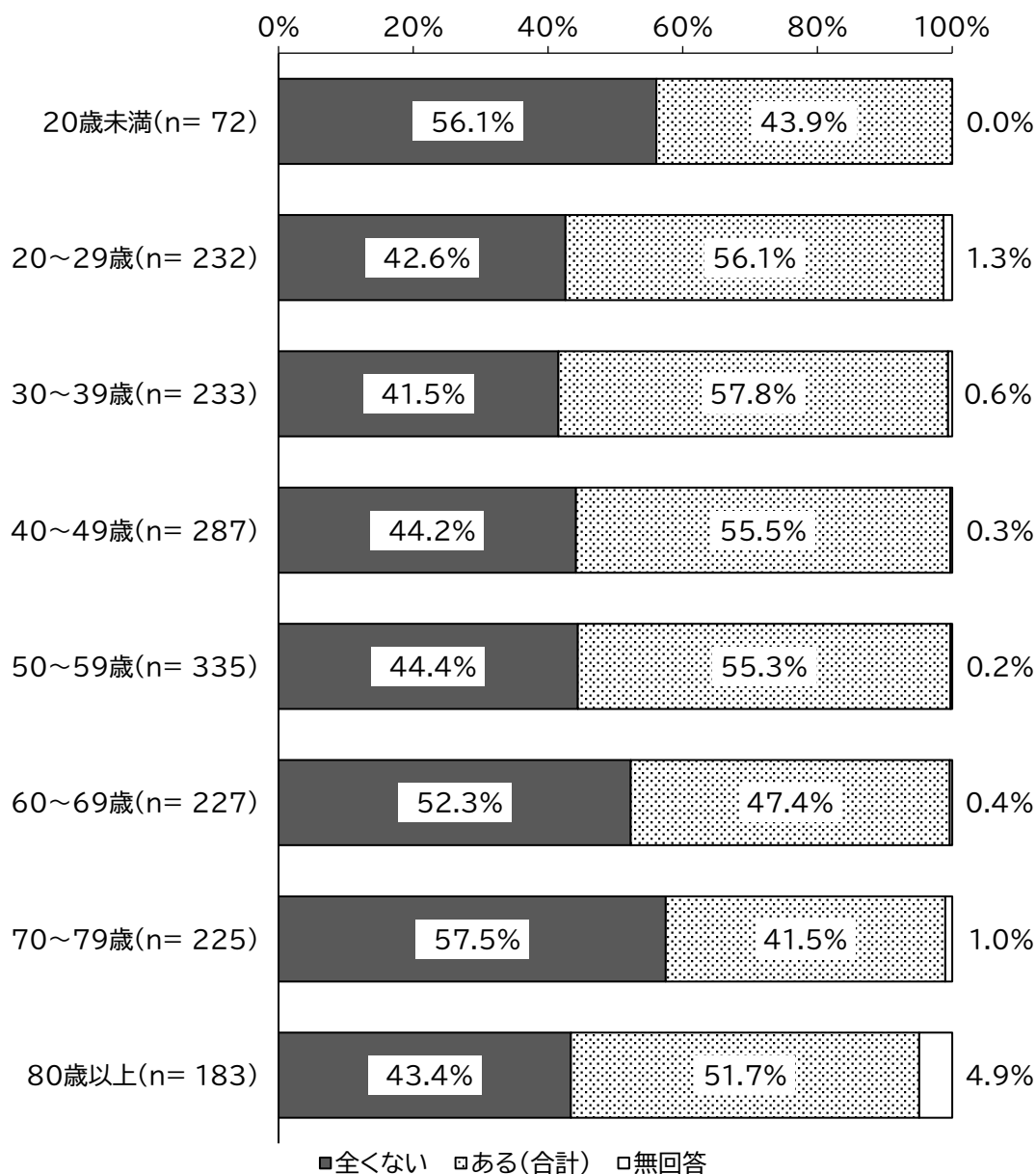
気分が沈み、何が起こっても気が晴れないように感じたかどうかを年代別にみると、50代以下の各年代で、「ある(合計)」が全体の 52.3%より高く、特に20代では 64.2%と各年代の中で最も高くなっている。

④ 気分が沈み、何が起こっても気が晴れないように感じた



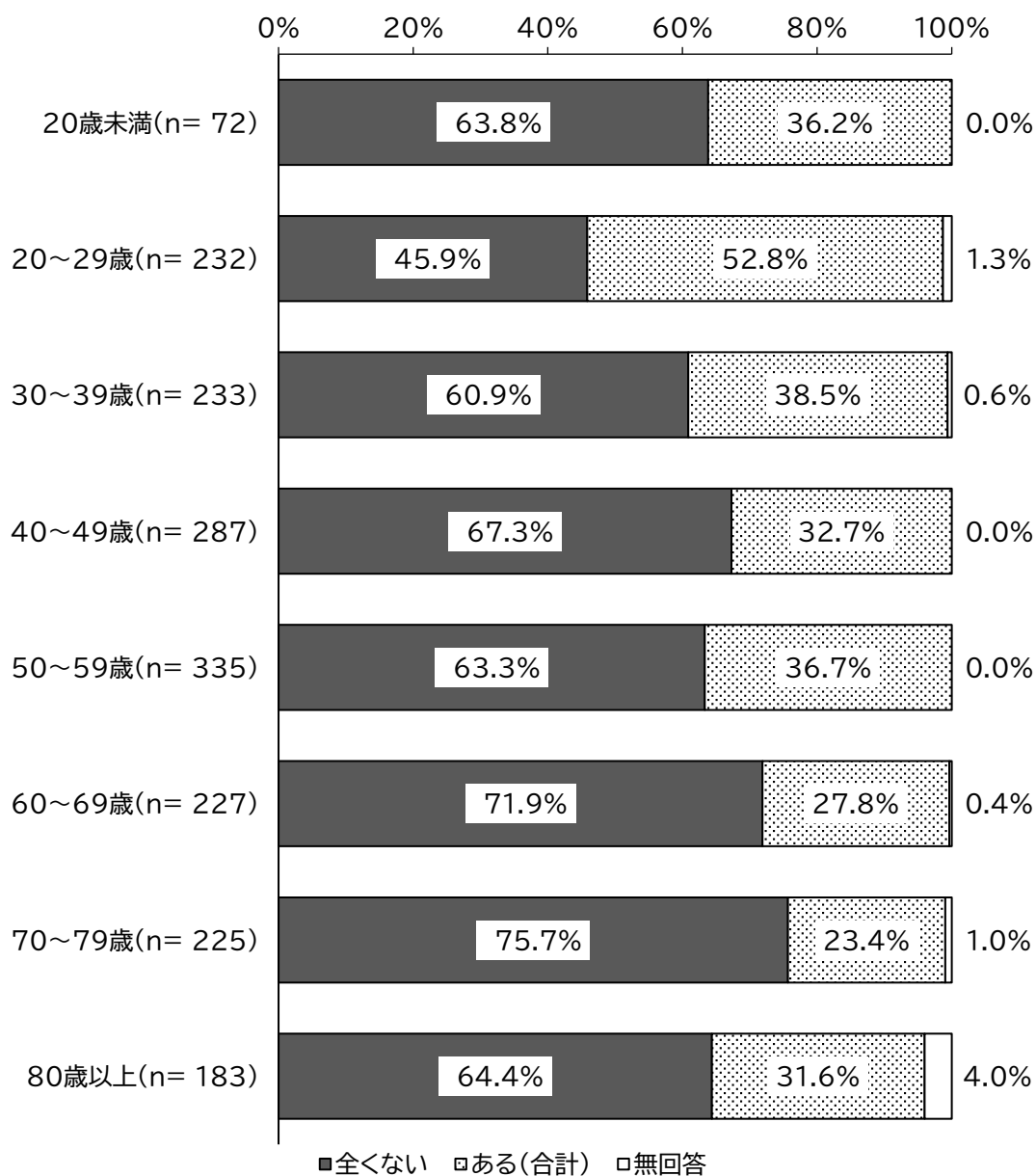
何をするのも骨折りだと感じたかどうかを年代別にみると、20代から50代の各年代で、「ある(合計)」が全体の52.2%より高くなっている。

⑤ 何をするのも骨折りだと感じた



自分は価値のない人間だと感じたかどうかを年代別にみると、30代以下と50代の各年代で、「ある(合計)」が全体の35.0%より高く、特に20代では52.8%と各年代の中で最も高くなっている。

⑥ 自分は価値のない人間だと感じた

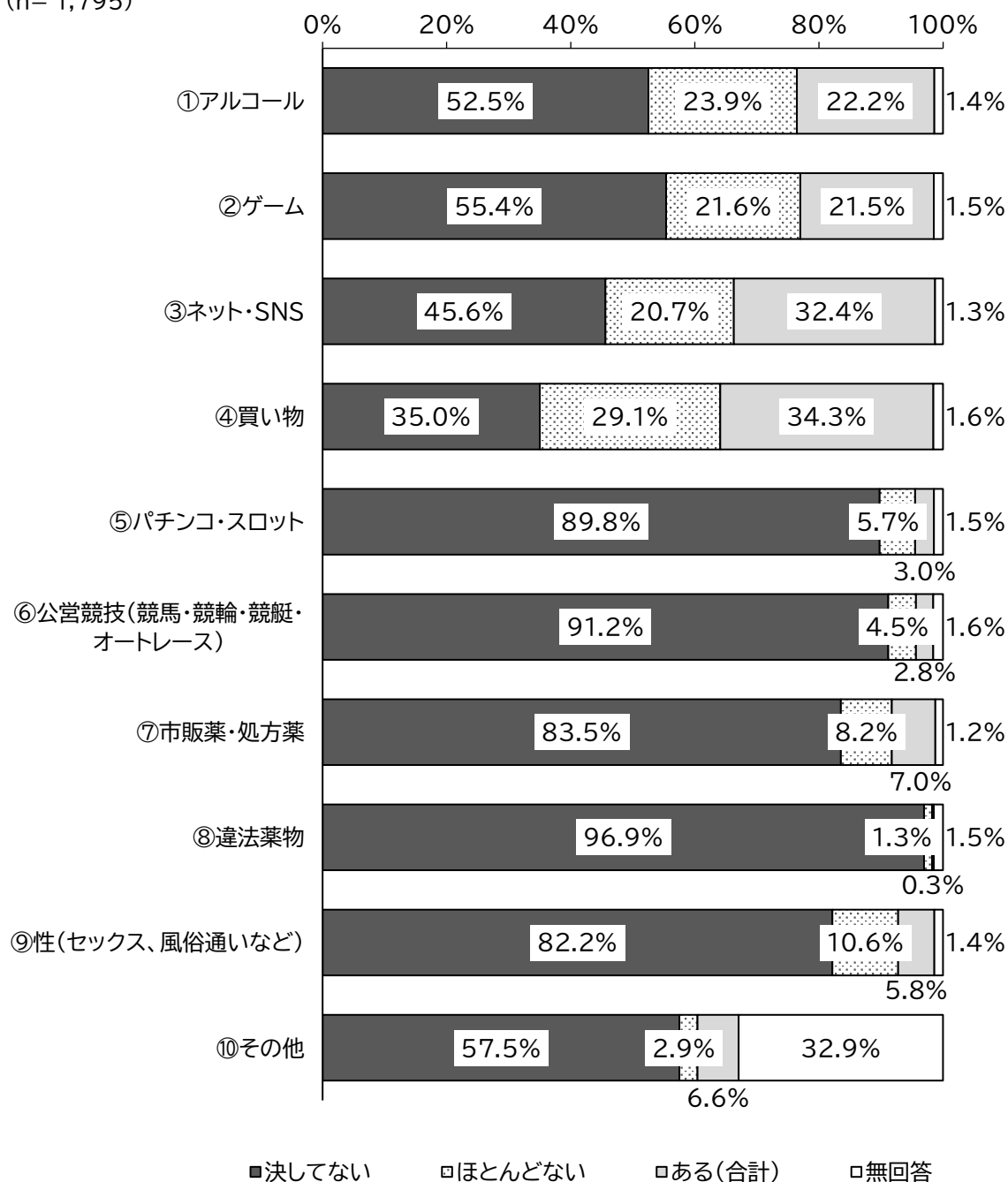


(2) あなたは日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために頼ったもの

問 4 あなたは日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために、次のもの(こと)に頼ったことはありますか。(それぞれ○は1つ)

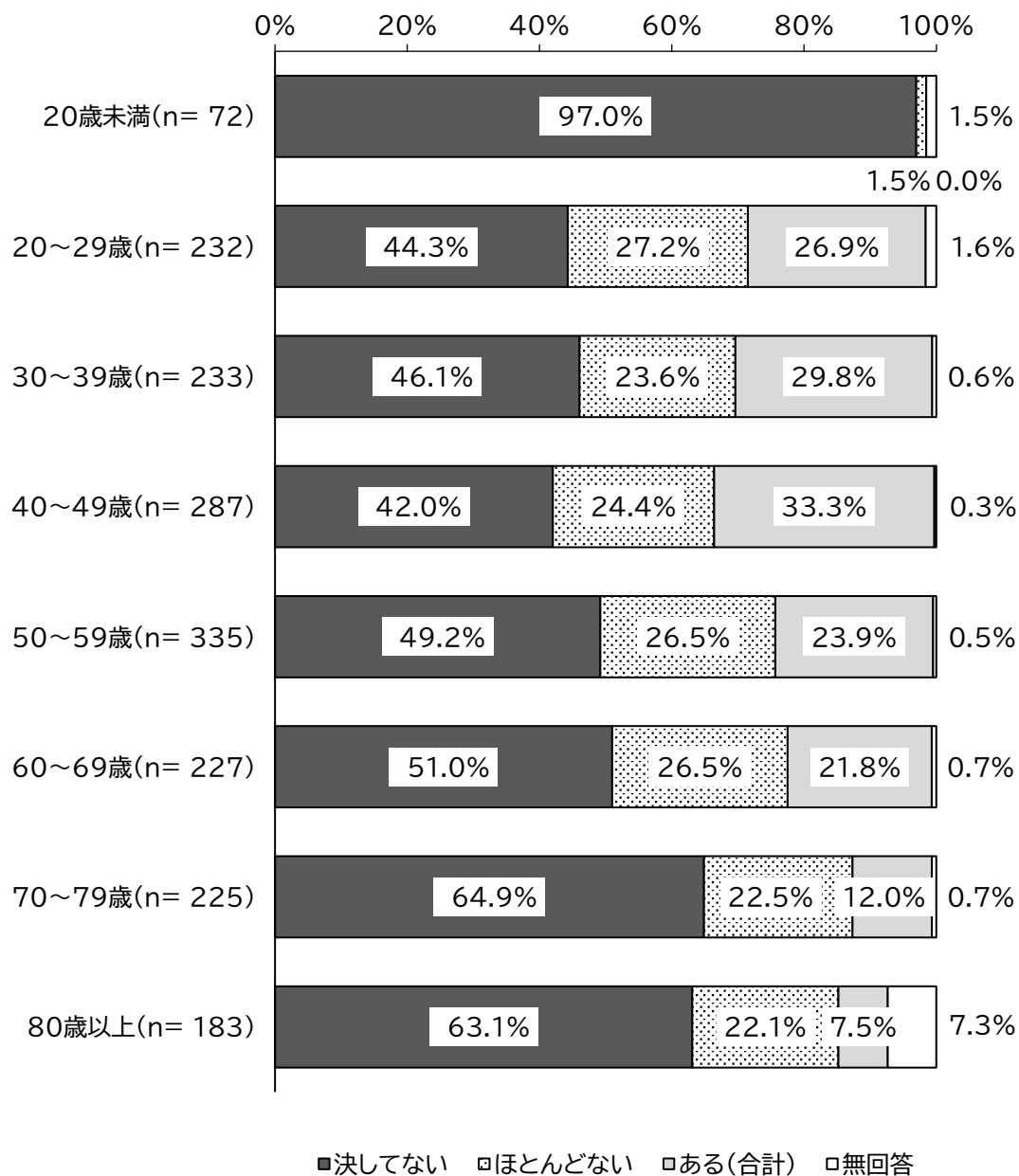
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために頼ったものとして、「時々ある」と「常にある」を合わせた「ある(合計)」が最も高いのは、「買い物」で 34.3%となっている。一方、「違法薬物」は「決してない」が 96.9%となっている。

(n = 1,795)



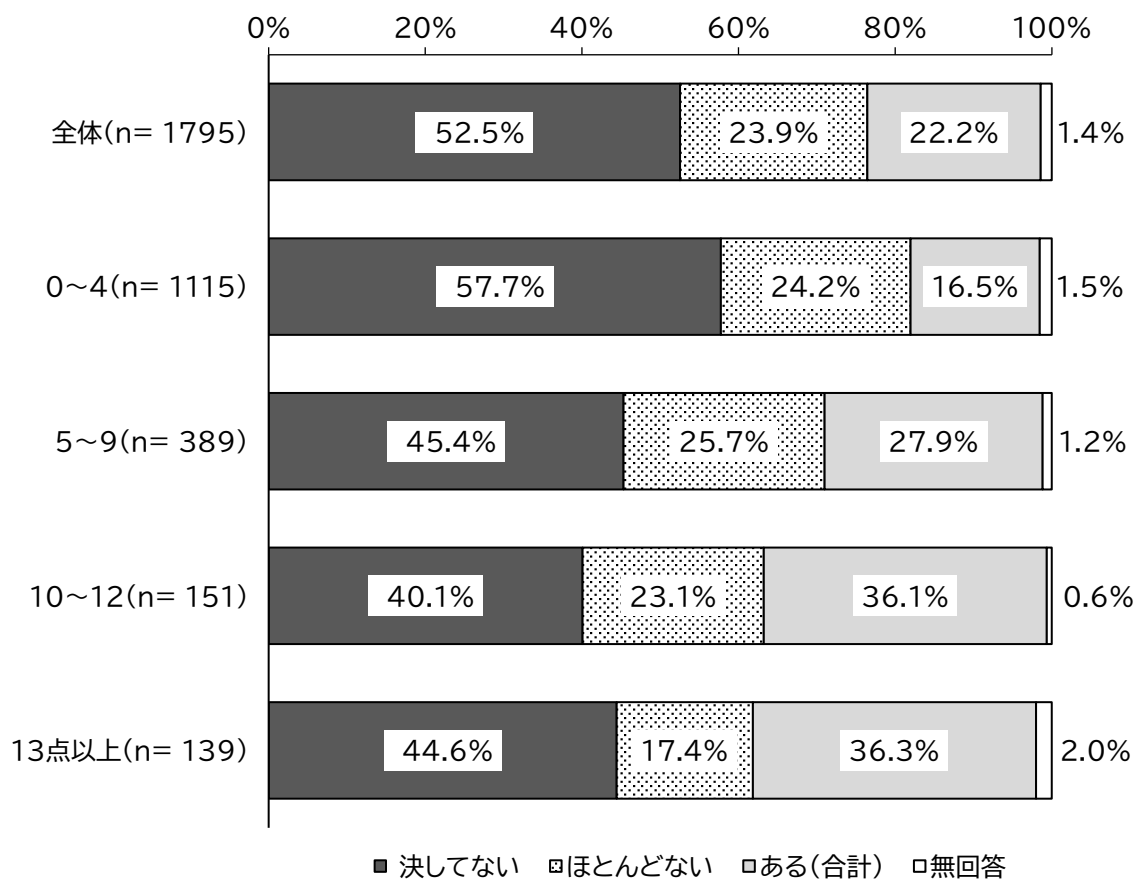
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「アルコール」を頼った人を年代別にみると、20代から50代の各年代で、「ある(合計)」が全体の22.2%より高く、特に40代では33.3%と各年代の中で最も高くなっている。

① アルコール×年代



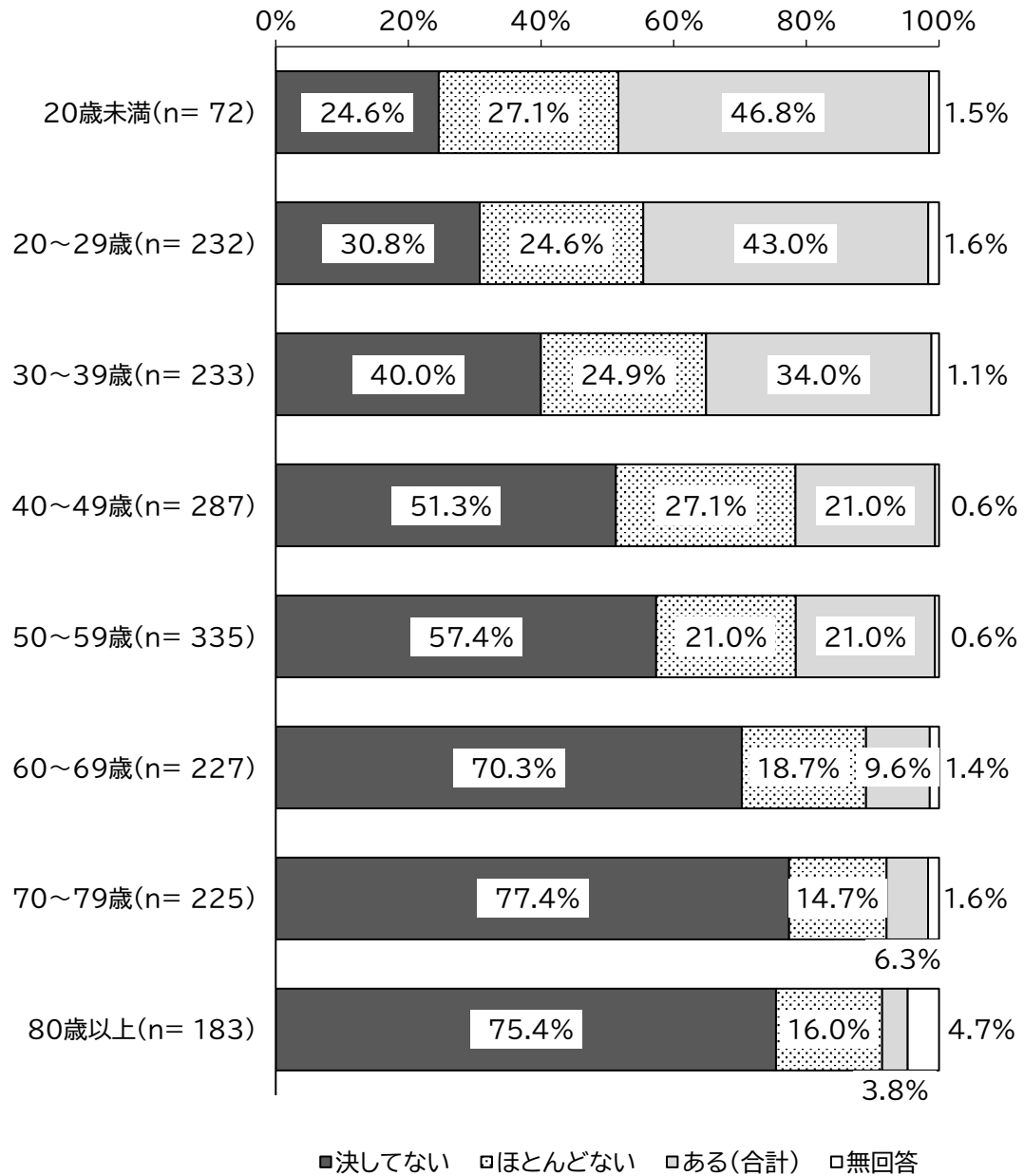
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「アルコール」を頼った人を、ストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上で、「ある(合計)」が全体の 22.2%より高くなっている。

① アルコール×K6 スコア



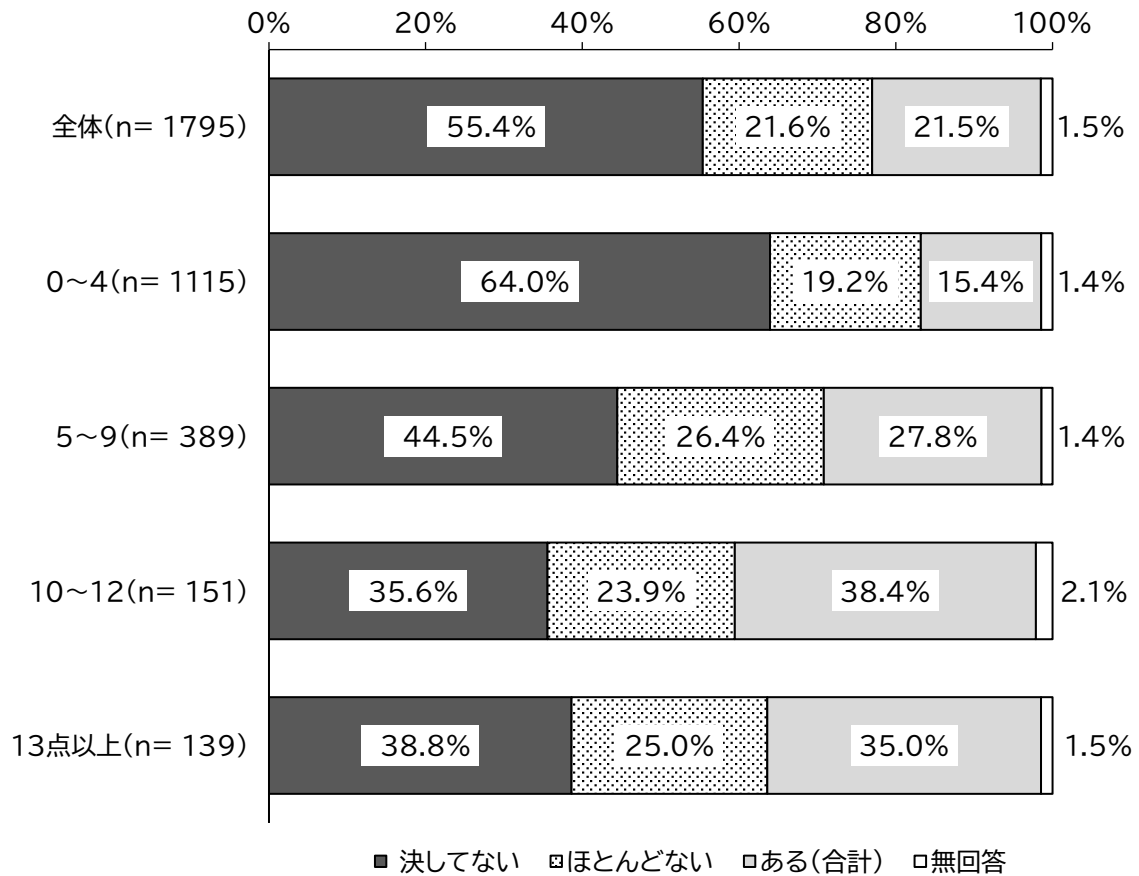
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「ゲーム」を頼った人を年代別にみると、30代以下の各年代で、「ある(合計)」が全体の21.5%より高く、特に20歳未満では46.8%と各年代の中で最も高くなっている。

② ゲーム×年代



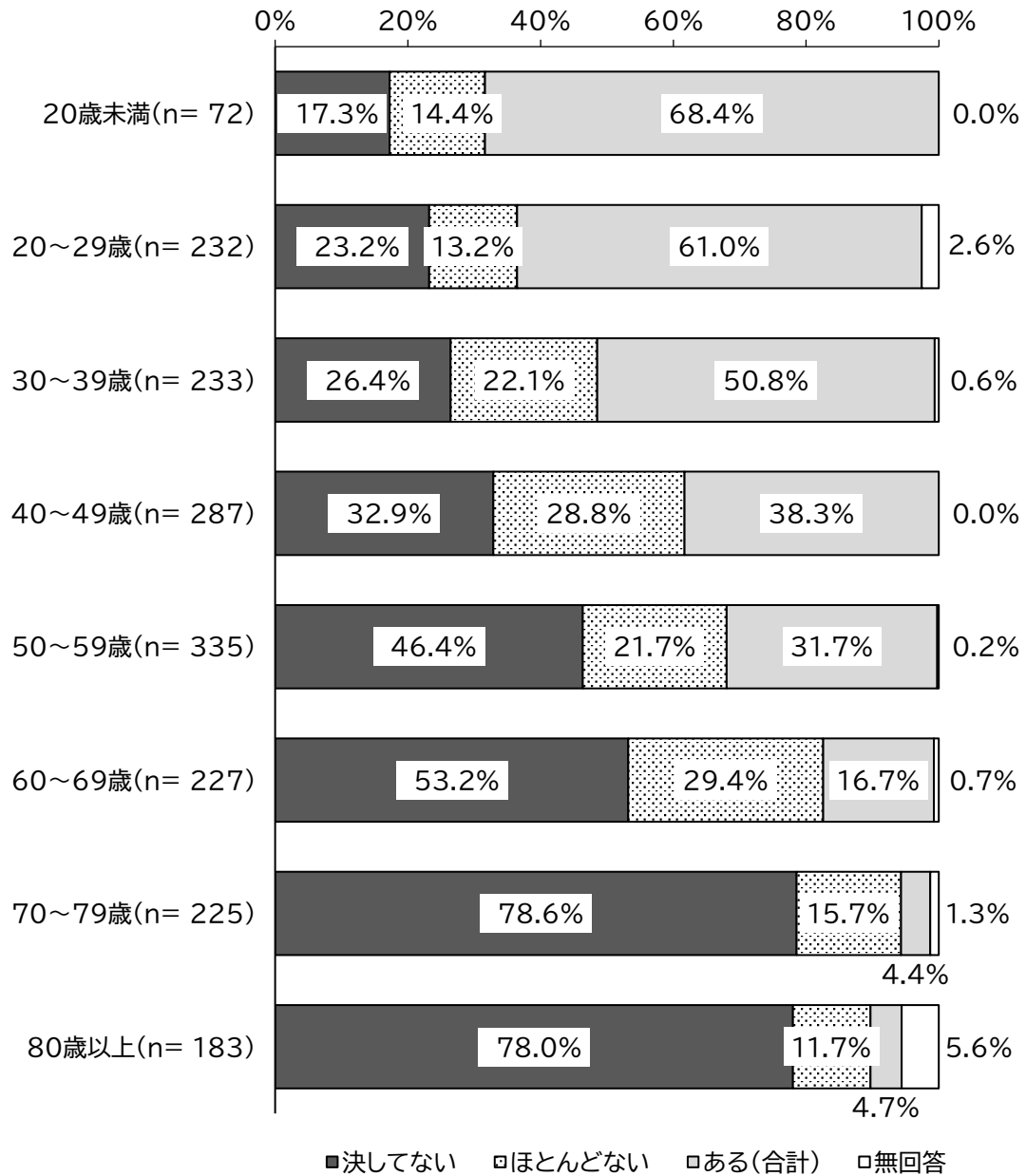
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「ゲーム」を頼った人をストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上で、「ある(合計)」が全体の 21.5%より高くなっている。

② ゲーム×K6 スコア



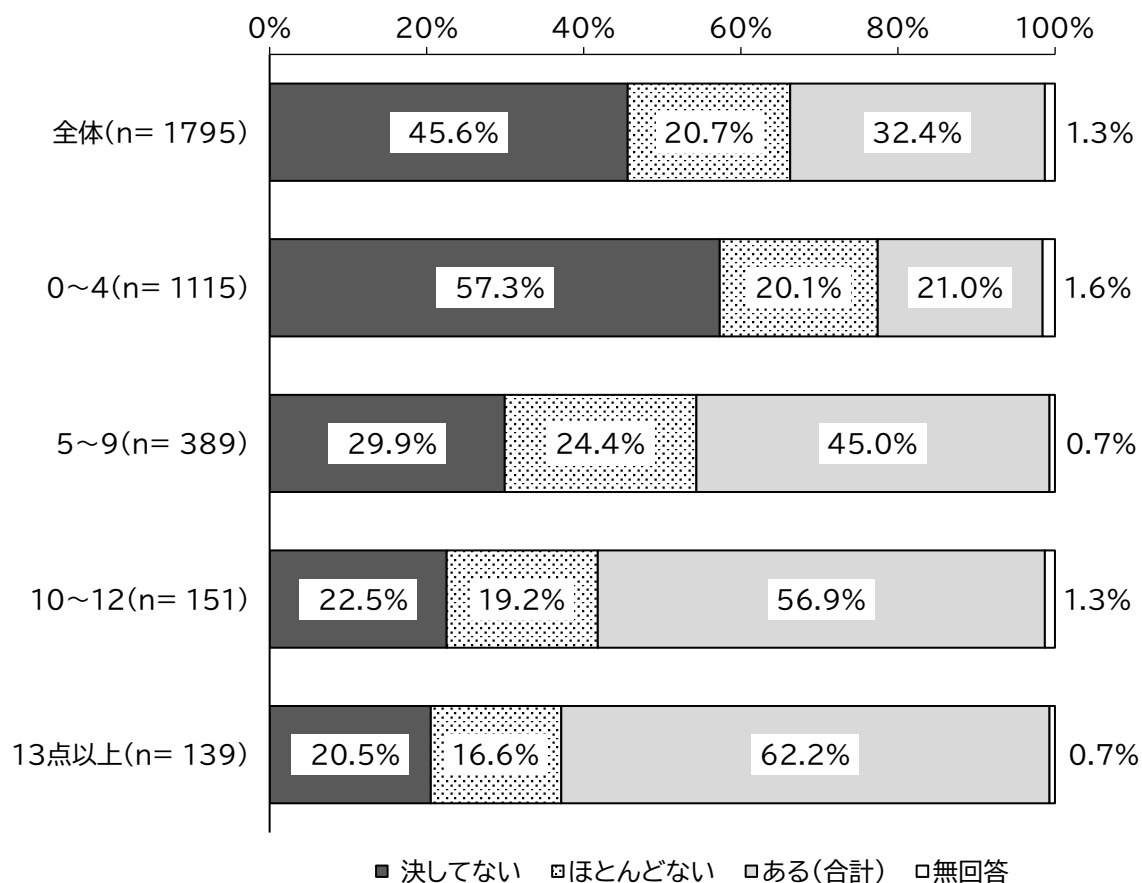
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「ネット・SNS」を頼った人を年代別にみると、40代以下の各年代で、「ある(合計)」が全体の32.4%より高く、特に20歳未満では68.4%と各年代の中で最も高くなっている。

③ ネット・SNS×年代



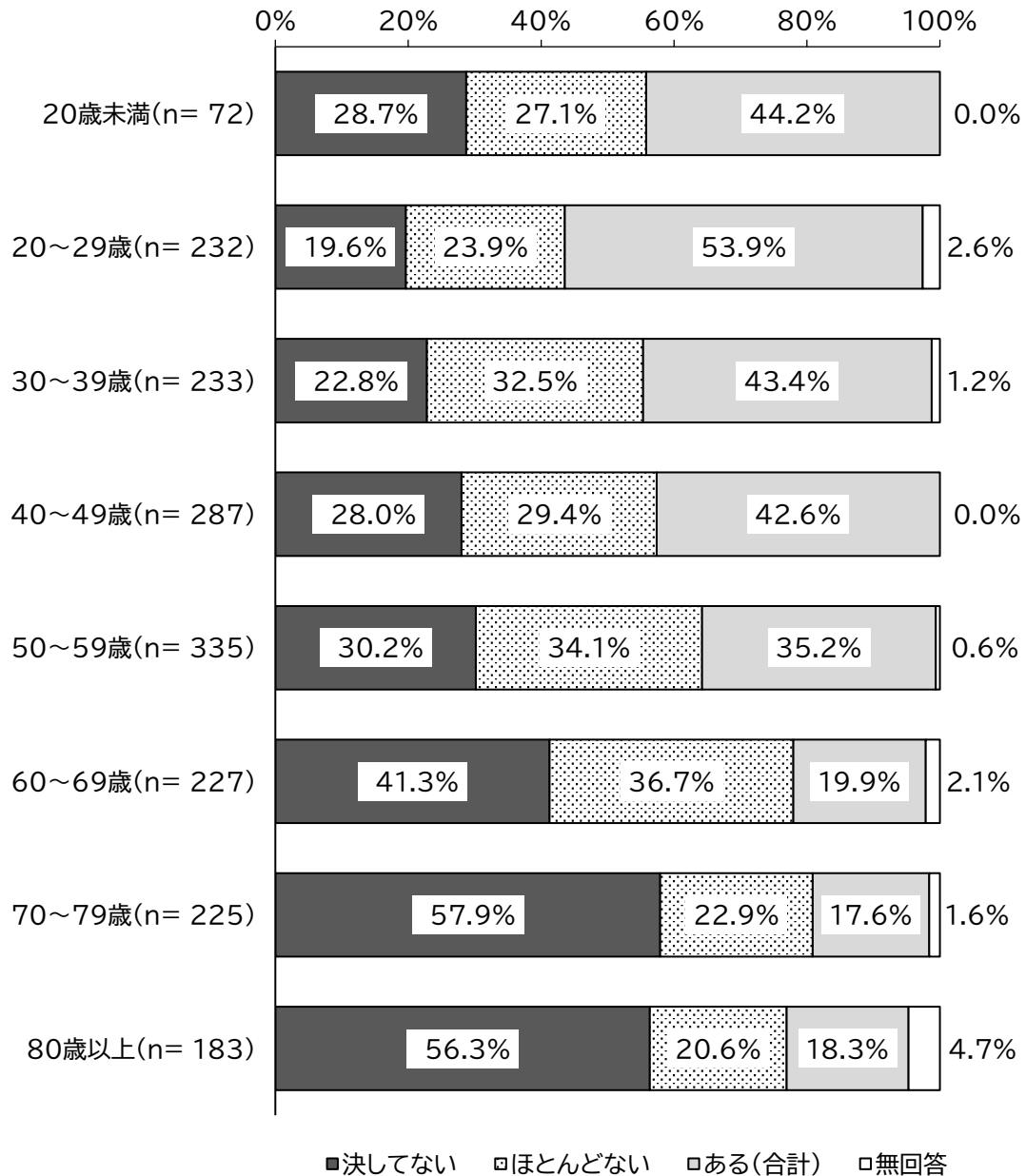
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「ネット・SNS」を頼った人をストレスの頻度（1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上で、「ある(合計)」が全体の 32.4%より高く、また点数が上がるにしたがってその割合も高くなっている。

③ ネット・SNS×K6 スコア



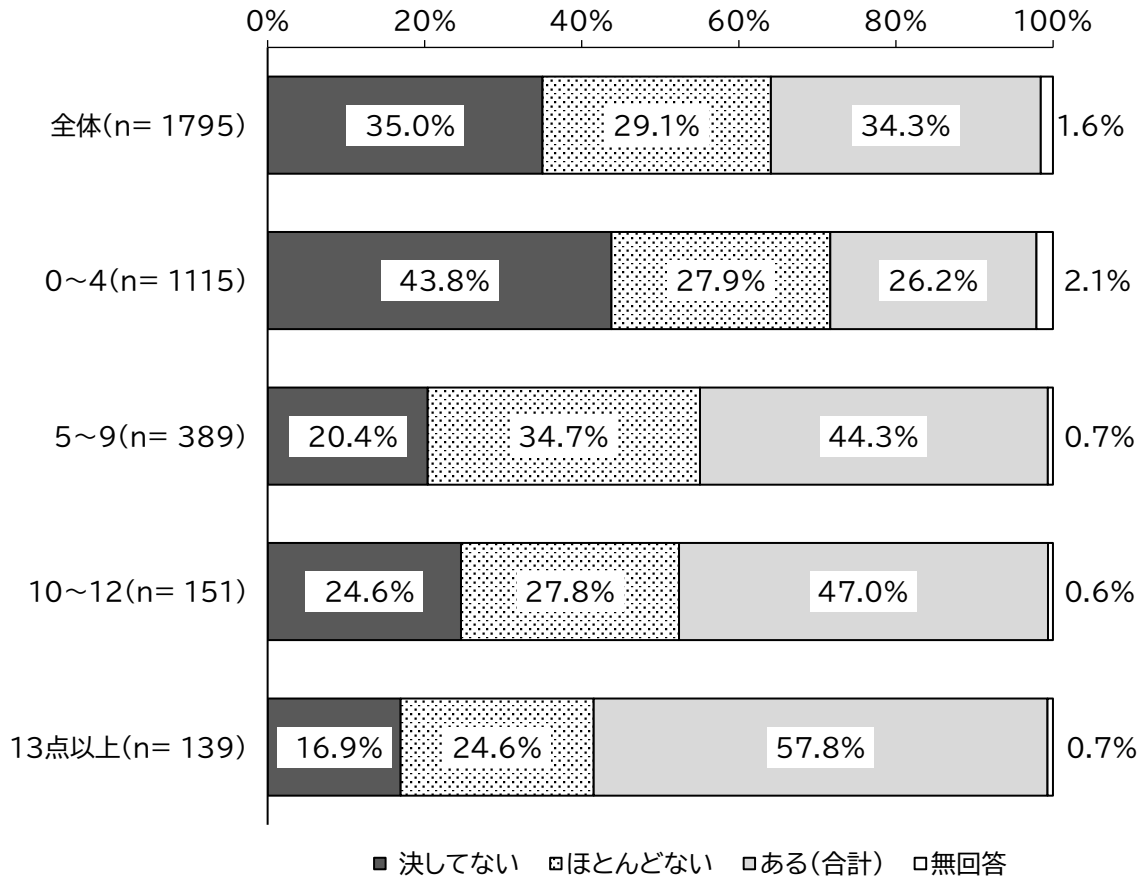
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「買い物」を頼った人を年代別にみると、50代以下の各年代で、「ある(合計)」が全体の 34.3%より高く、特に 20 代では 53.9%と各年代の中で最も高くなっている。

④ 買い物×年代



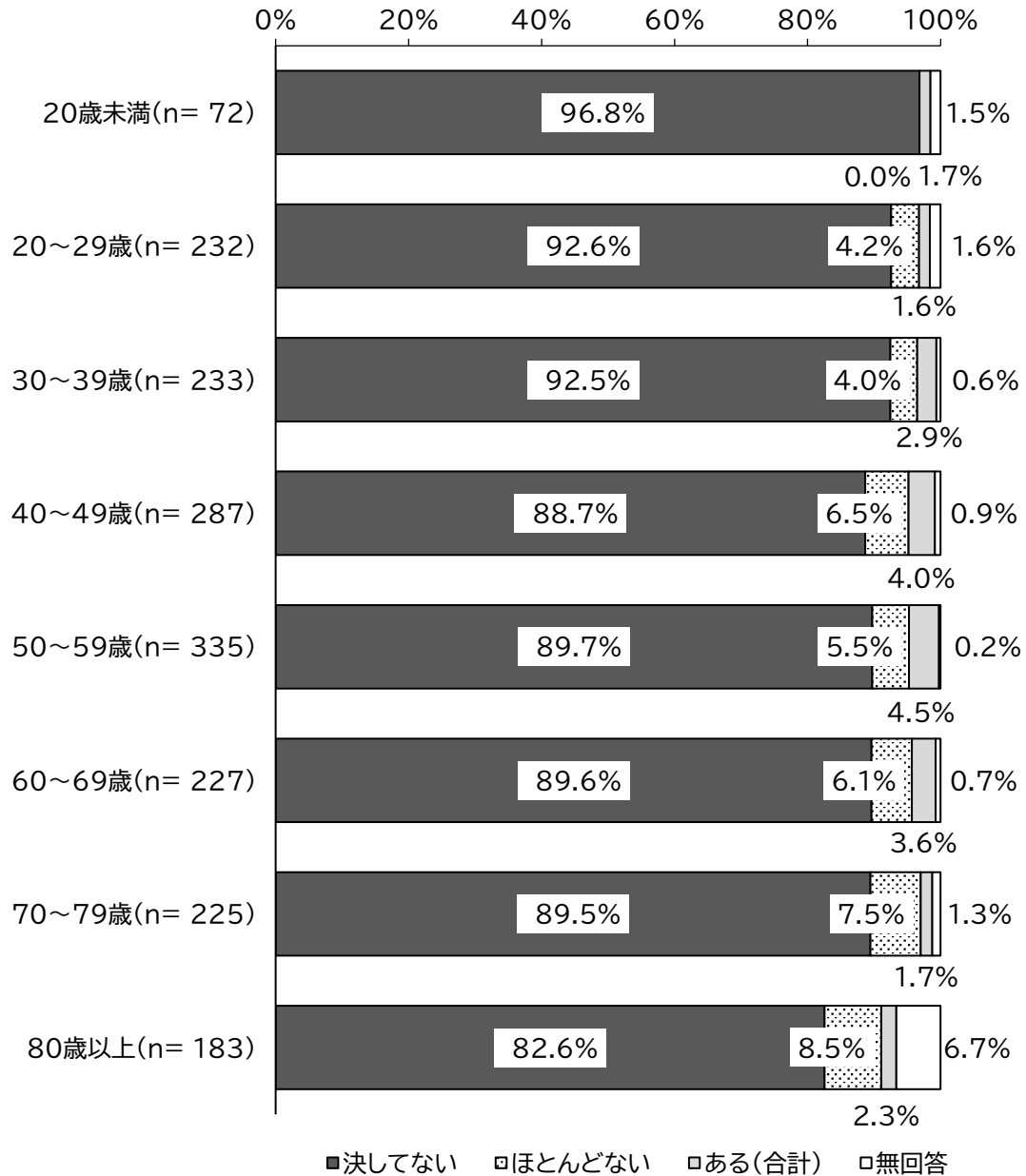
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「買い物」を頼った人をストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上で、「ある(合計)」が全体の 34.3%より高く、また点数が上がるにしたがってその割合も高くなっている。

④ 買い物×K6 スコア



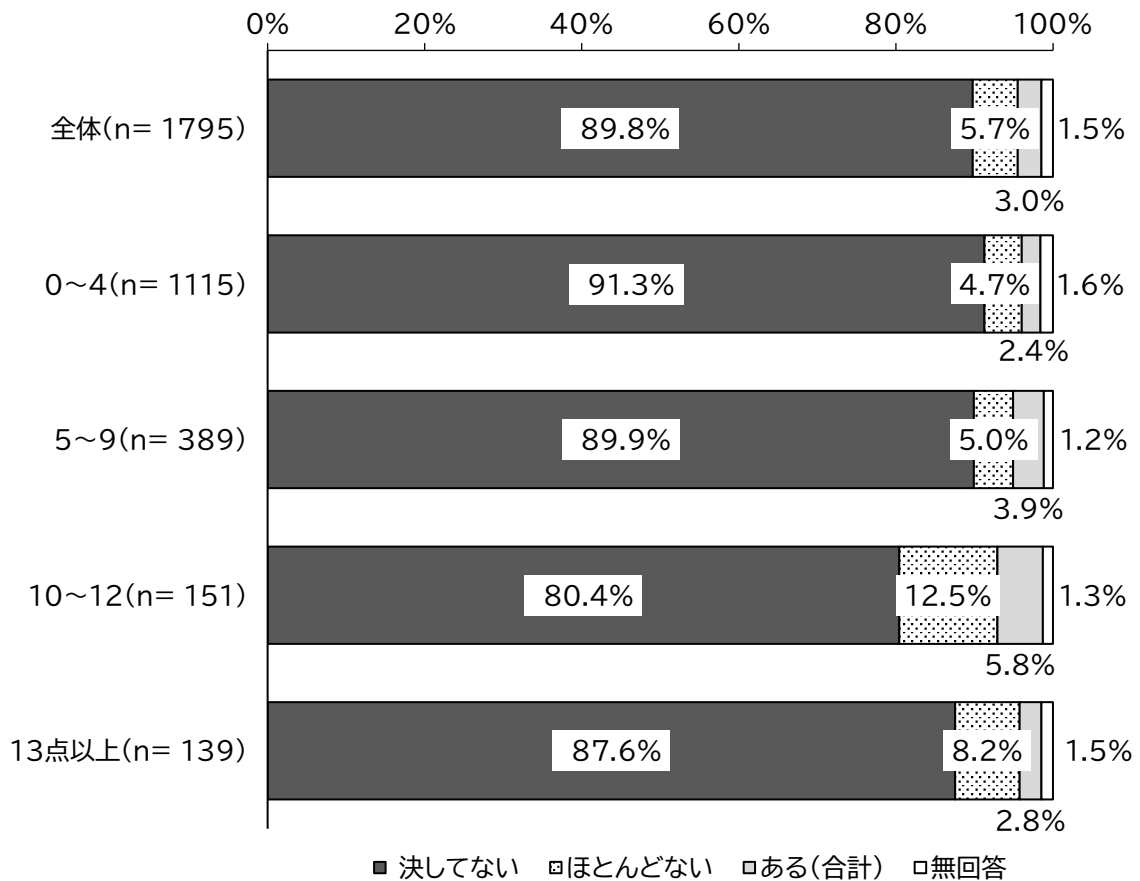
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「パチンコ・スロット」を頼った人を年代別にみると、40代から60代の各年代で、「ある(合計)」が全体の3.0%より高くなっている。

⑤ パチンコ・スロット×年代



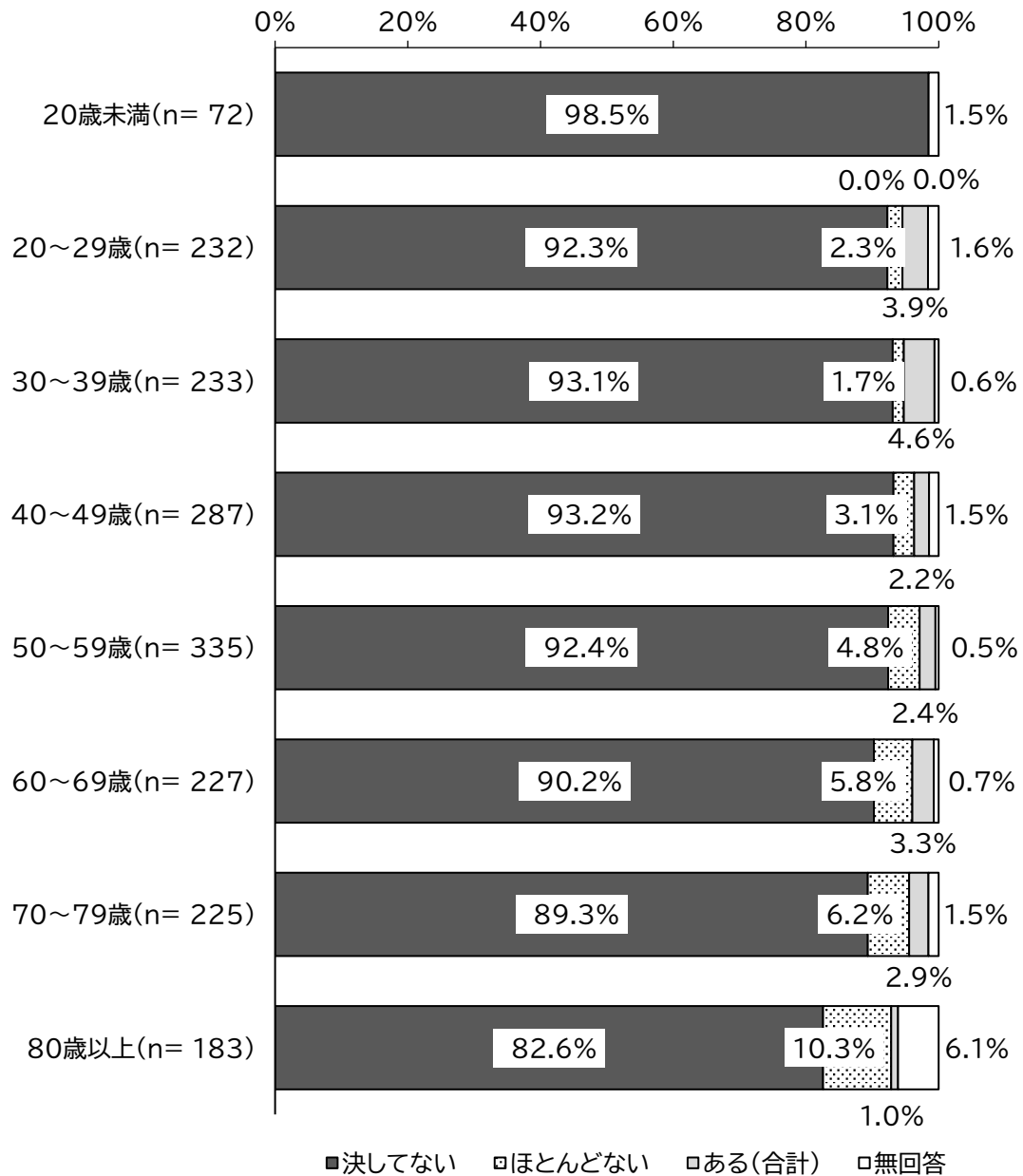
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「パチンコ・スロット」を頼った人をストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上 12 点以下で、「ある(合計)」が全体の 3.0%より高くなっている。

⑤ パチンコ・スロット×K6 スコア



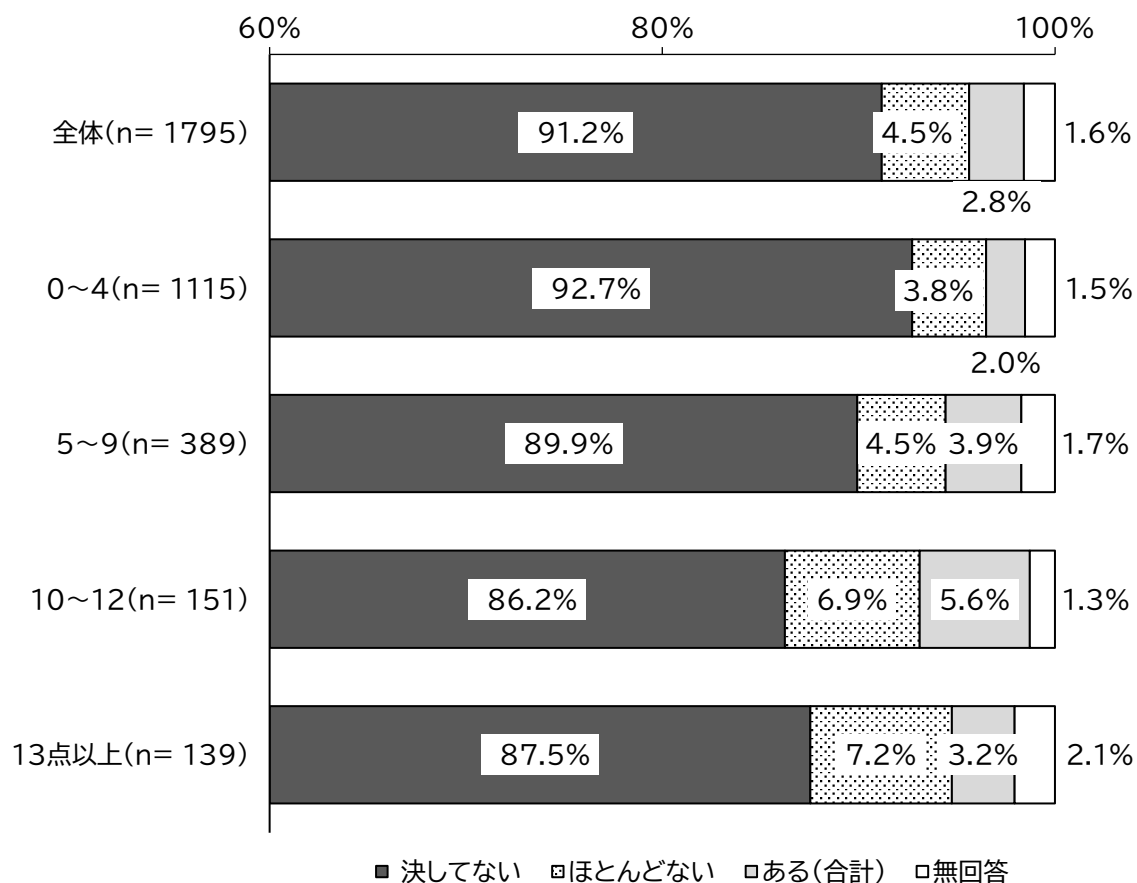
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)」を頼った人を年代別にみると、20代、30代、60代、70代で、「ある(合計)」が全体の2.8%より高くなっている。

⑥ 公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)×年代



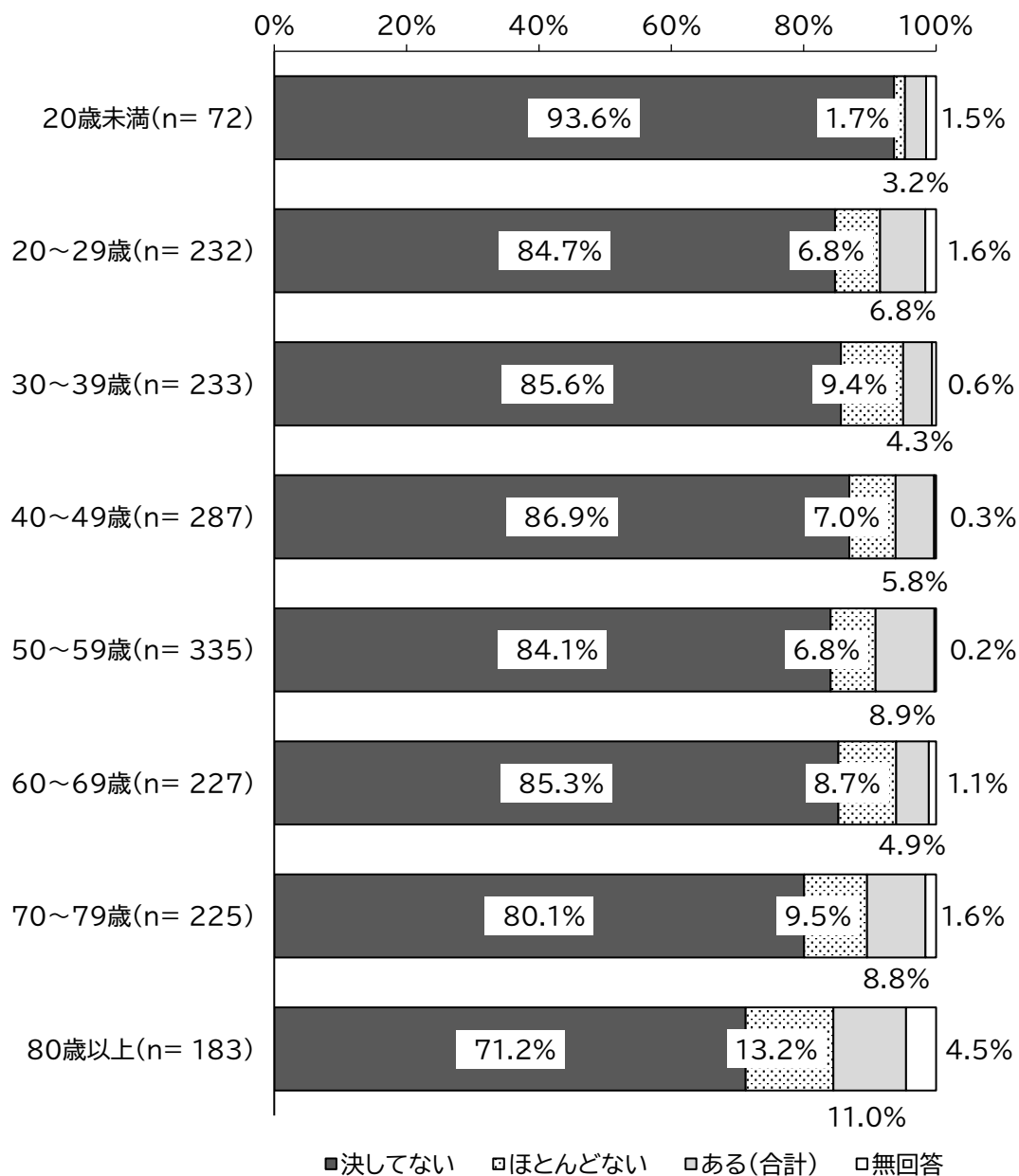
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)」を頼った人をストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上で、「ある(合計)」が全体の 2.8%より高くなっている。

⑥ 公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)×K6 スコア



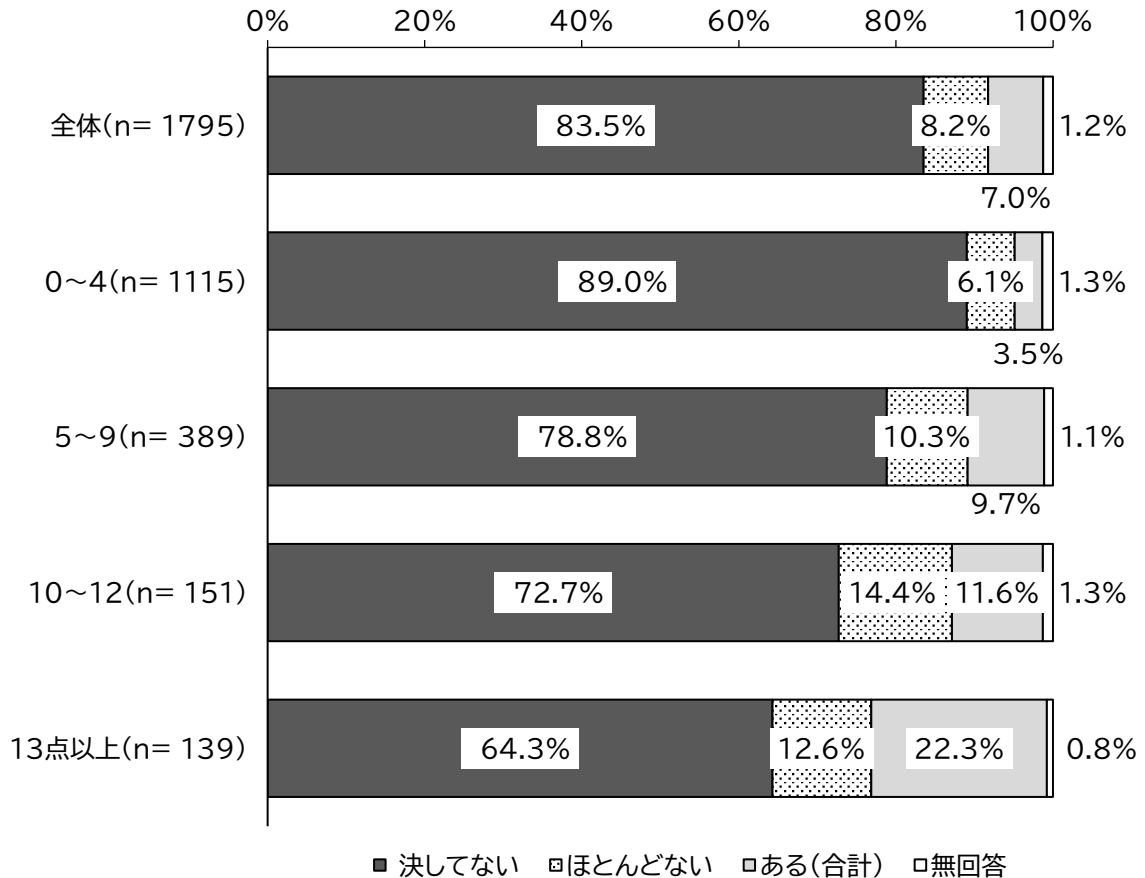
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「市販薬・処方薬」を頼った人を年代別にみると、50代および70代以上の各年代で、「ある(合計)」が全体の7.0%より高く、特に80歳以上では11.3%と各年代の中で最も高くなっている。

⑦ 市販薬・処方薬×年代



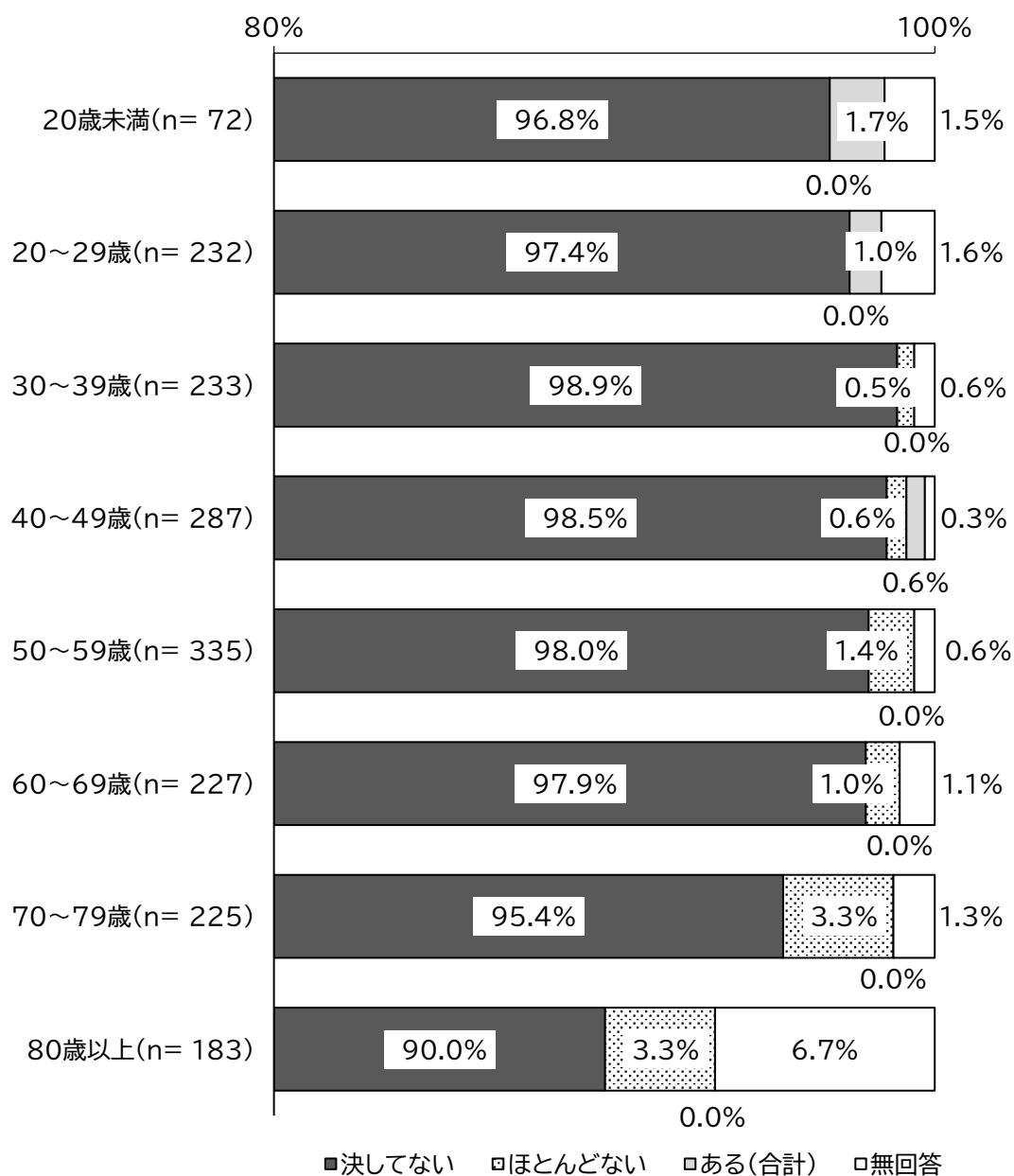
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「市販薬・処方薬」を頼った人をストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上で、「ある(合計)」が全体の 7.0%より高く、また点数が上がるにしたがってその割合も高くなっている。

⑦ 市販薬・処方薬×K6 スコア



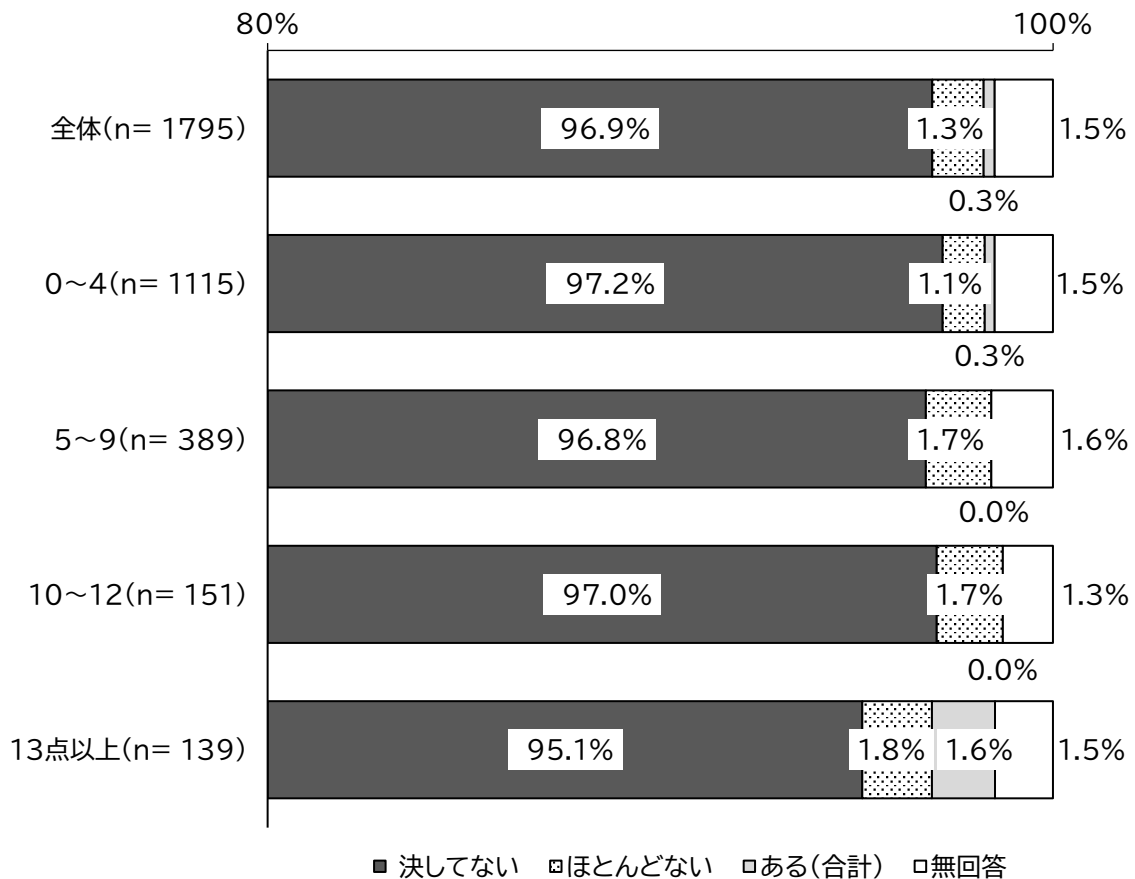
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「違法薬物」を頼った人を年代別にみると、「ある(合計)」と回答したのは 20 歳未満、20代および40代で、それぞれ 1.7%、1.0%、0.6%となっている。

⑧ 違法薬物×年代



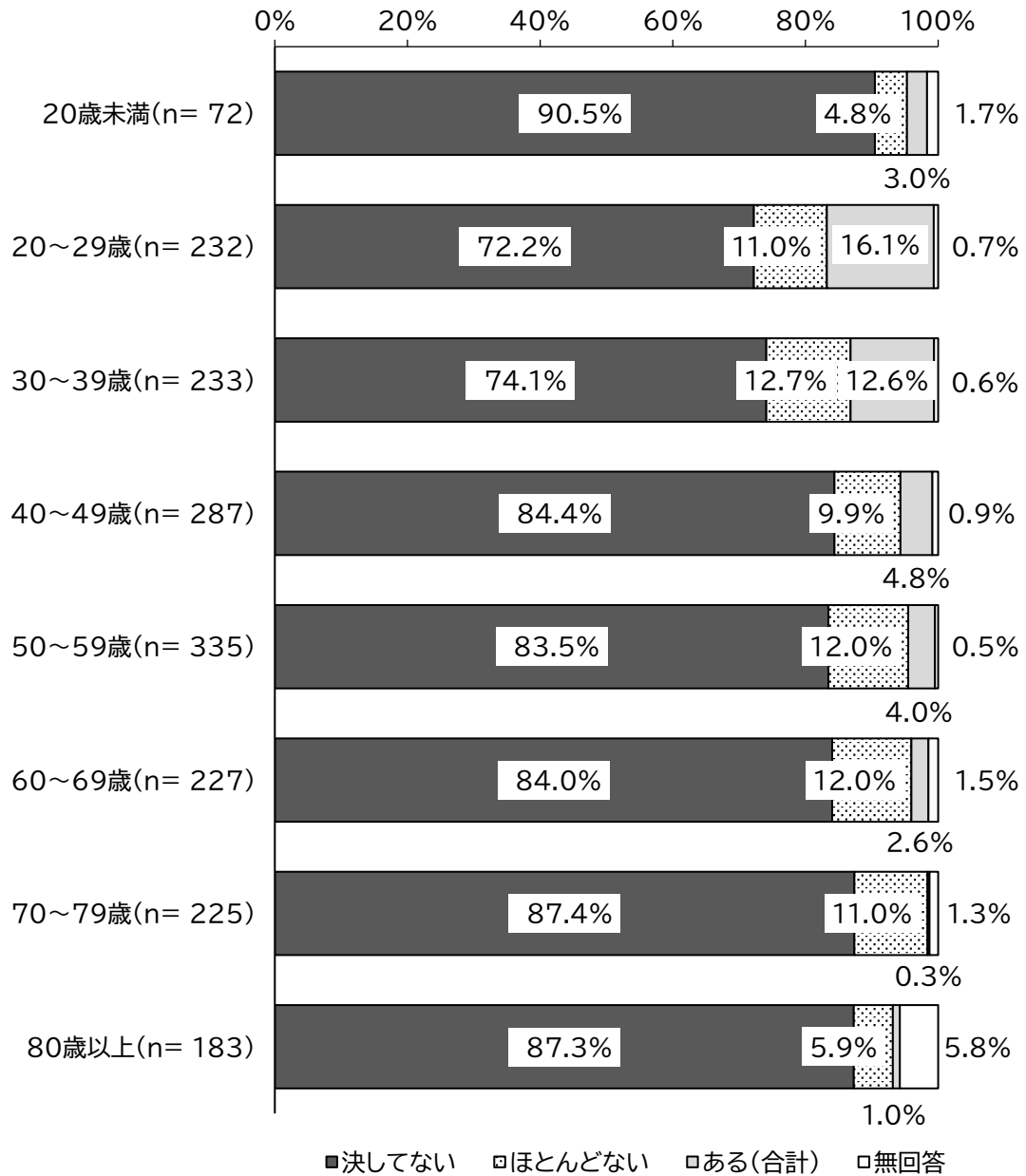
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「違法薬物」を頼った人をストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、「ある(合計)」と回答したのは、スコア 4 点以下が 0.3%、13 点以上が 1.6%となっている。

⑧ 違法薬物×K6 スコア



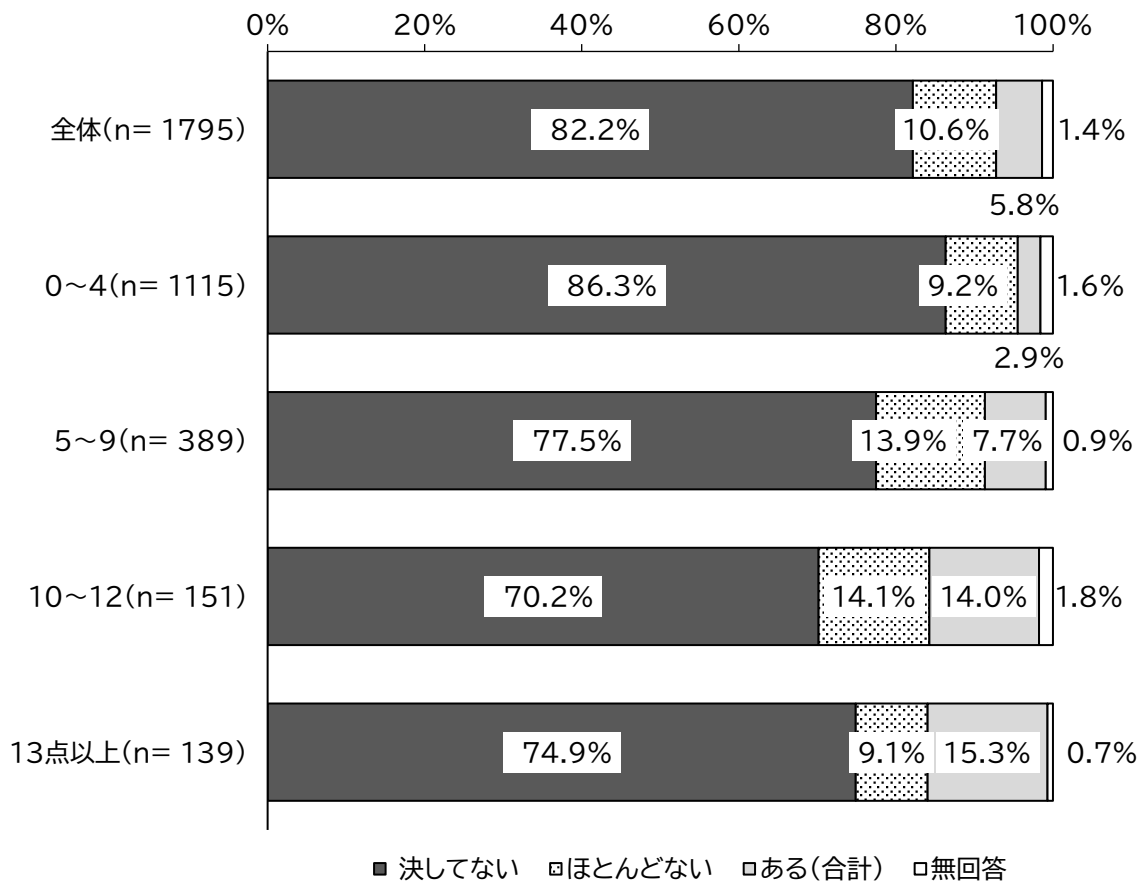
日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために「性(セックス、風俗通いなど)」を頼った人を年代別にみると、20代と30代で、「ある(合計)」が全体の5.8%より高くなっている。

⑨ 性(セックス、風俗通いなど)×年代



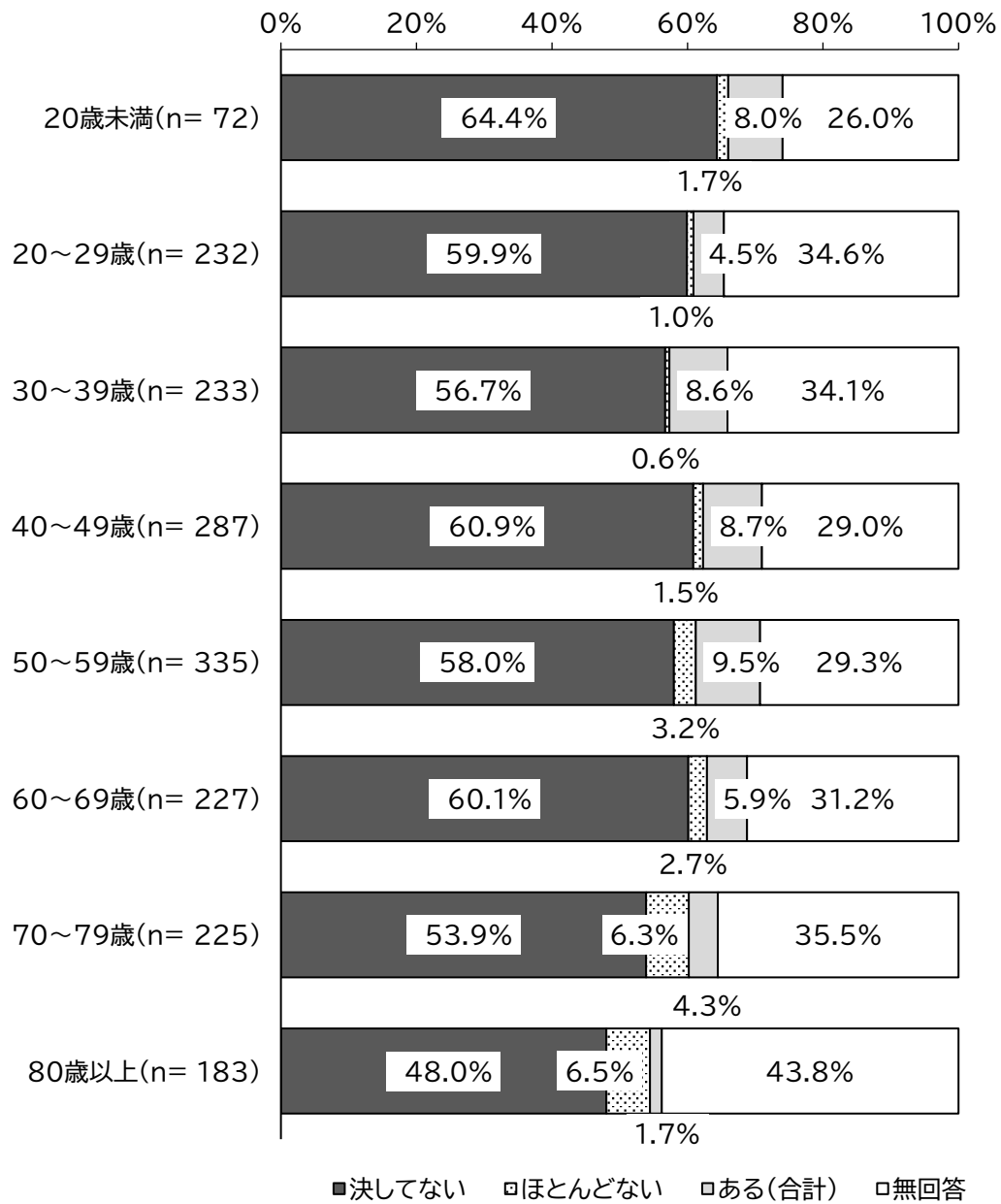
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「性(セックス、風俗通いなど)」を頼った人をストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上で、「ある(合計)」が全体の 5.8%より高く、また点数が上がるにしたがってその割合も高くなっている。

⑨ 性(セックス、風俗通いなど)×K6 スコア



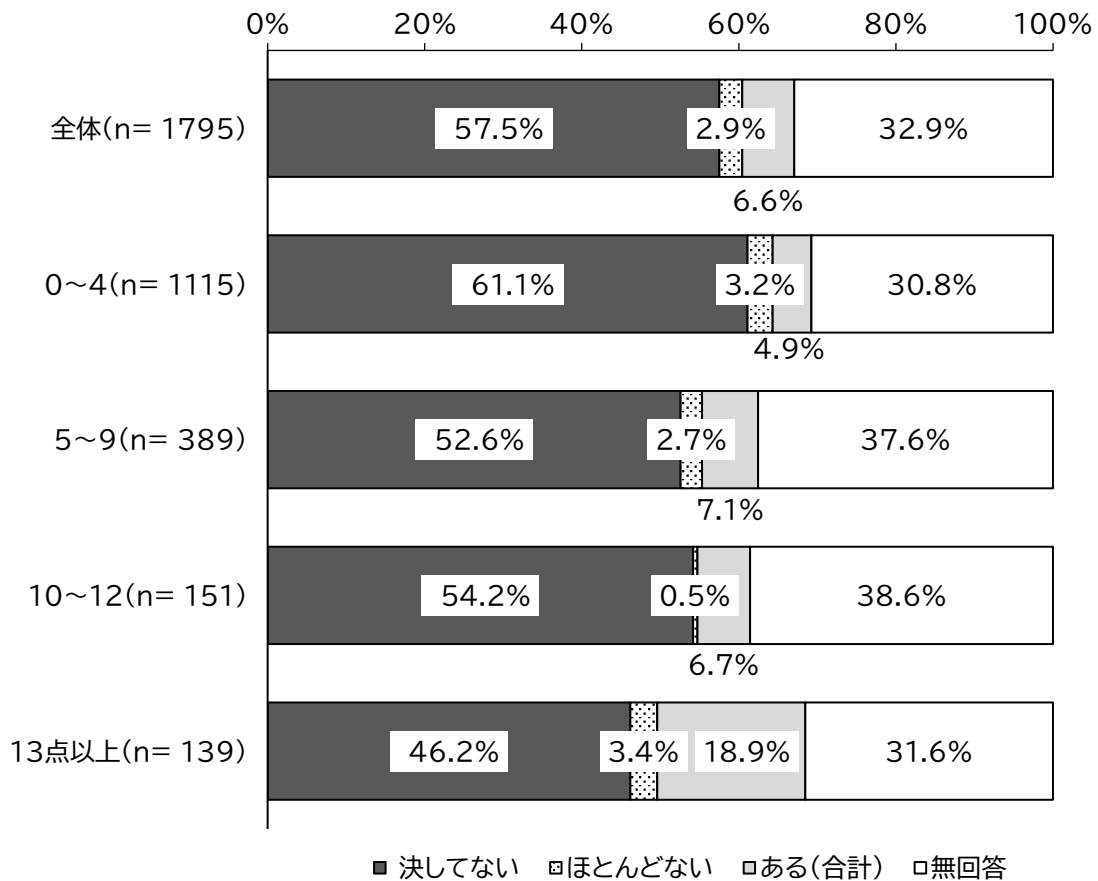
日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「その他」を頼った人を年代別にみると、20歳未満および30代から50代の各年代で、「ある(合計)」が全体の6.6%より高くなっている。

⑩ その他×年代



日常生活の不満・悩み・苦労・ストレスを解消するために「その他」を頼った人をストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、スコア 5 点以上で、「ある(合計)」が全体の 6.6%より高くなっている。

⑩ その他×K6 スコア

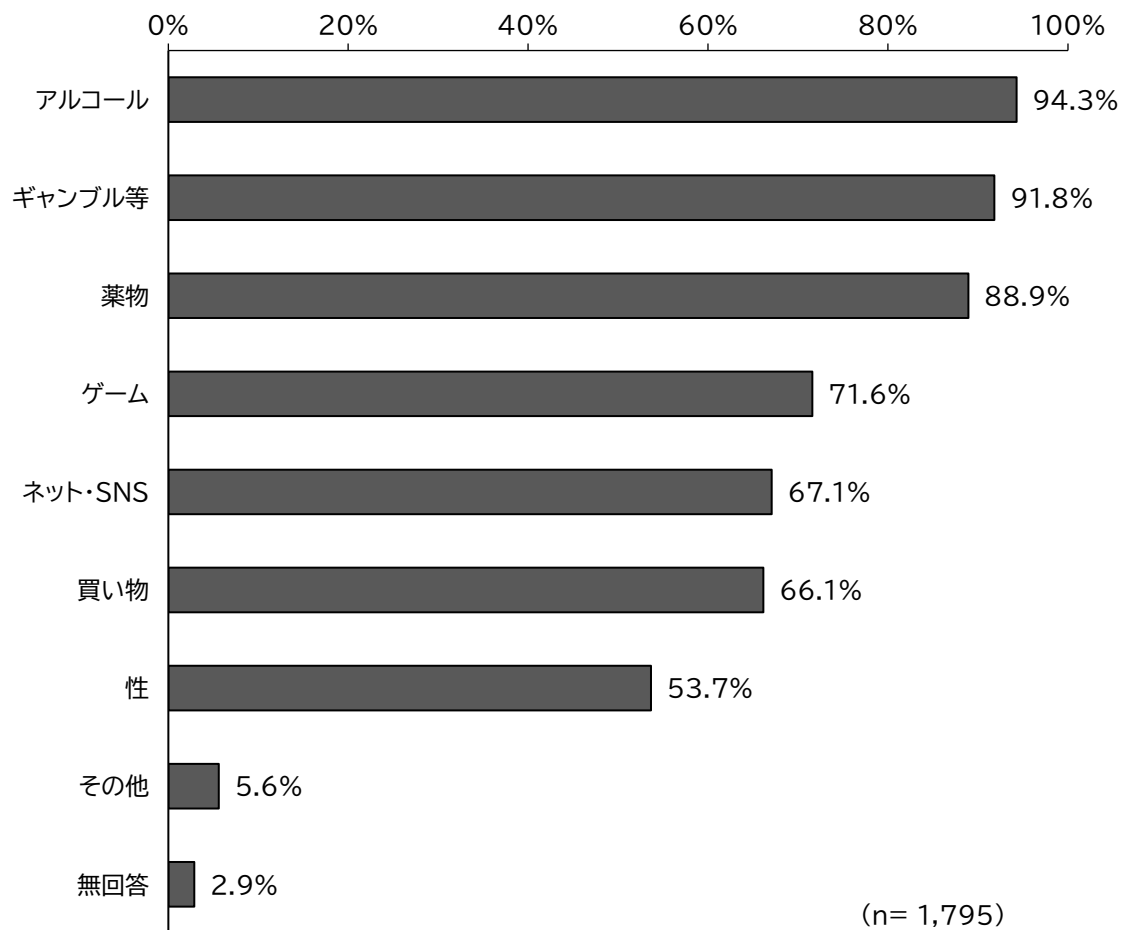


2. 依存症に対する知識や考え、意識に関して

(1)知っている依存症

問5 あなたが知っている依存症について教えてください。(〇はいくつでも)

依存症の認知度としては、「アルコール」が 94.3%と最も高く、次いで「ギャンブル等」が 91.8%となっている。



依存症の認知度を年代別にみると、すべての年代で「アルコール」が最も高く、70 代以下の各年代で 90%以上となっている。また、20代での「ネット・SNS」認知度が 90.9%と他の年代より高くなっている。

(%)

	n=	アルコール	薬物	ギャンブル等	ゲーム	ネット・SNS	買い物	性	その他	無回答
全体	1795	94.3	88.9	91.8	71.6	67.1	66.1	53.7	5.6	2.9
20歳未満	72	95.4	93.9	89.2	82.9	85.6	21.7	46.3	1.5	1.5
20～29歳	232	93.8	90.3	90.9	79.6	90.9	62.5	73.4	6.2	1.6
30～39歳	233	95.4	92.0	93.1	72.8	74.1	65.3	69.3	6.1	3.5
40～49歳	287	97.2	94.9	96.0	77.7	78.5	83.7	72.6	7.7	1.4
50～59歳	335	96.6	94.9	96.1	77.6	74.5	80.1	61.7	5.1	1.8
60～69歳	227	95.8	89.8	93.8	74.1	62.8	71.6	47.3	6.9	2.4
70～79歳	225	93.4	81.5	90.0	60.8	41.4	57.3	23.5	2.6	3.4
80歳以上	183	83.6	69.3	77.8	45.0	26.1	40.3	12.0	5.8	8.2

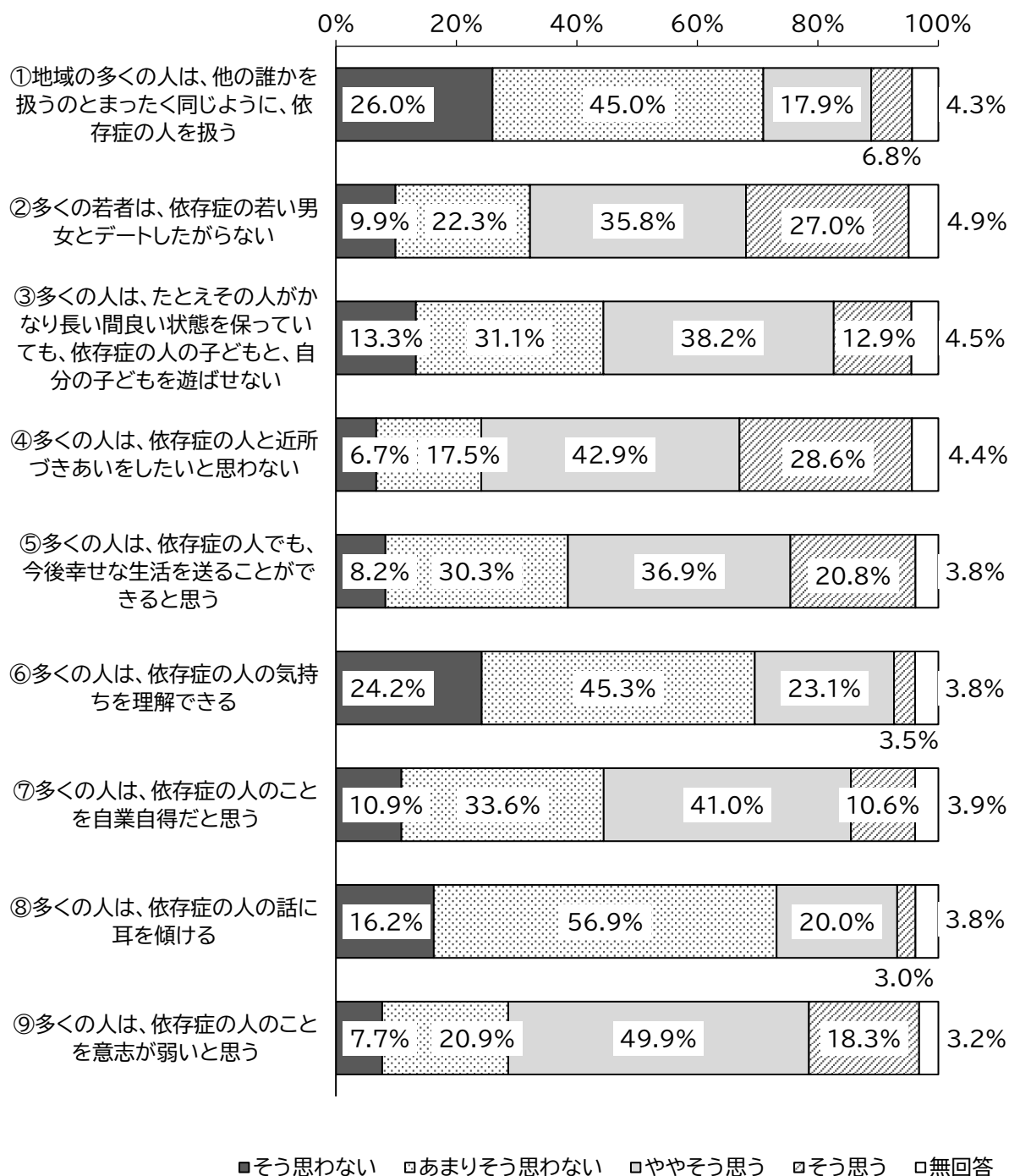
<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(2)周りの人が依存症の人のことをどう思っているか

問 6 あなたの周りの人が、依存症の人のことをどう思っているかについて、あなたの意見を教えてください。(それぞれに○は1つ)

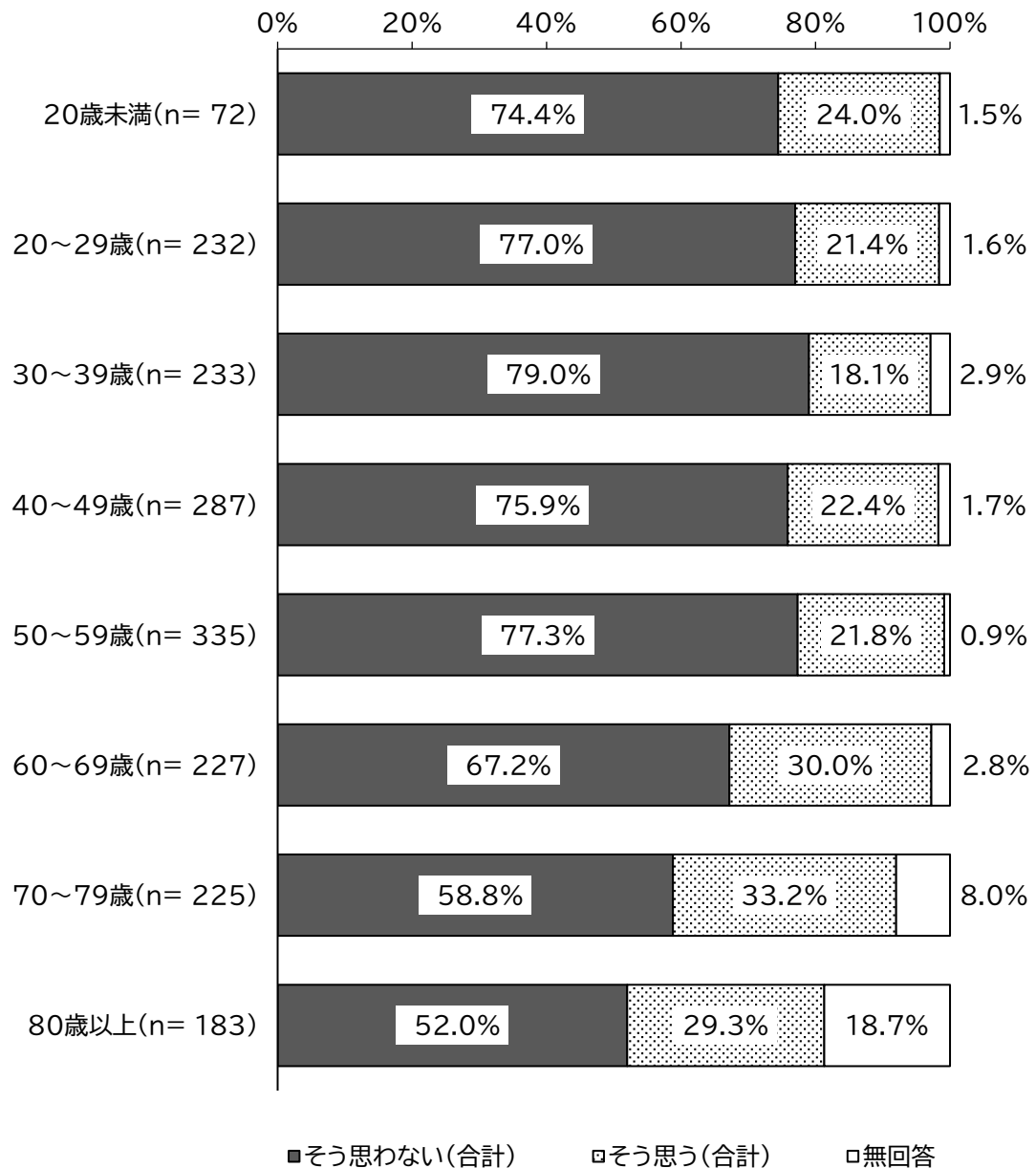
「そう思わない」割合が最も高いのは、「地域の多くの人は、他の誰かを扱うのとまったく同じように、依存症の人を扱う」で26.0%となっている。また、「そう思う」割合が最も高いのは、「多くの人は、依存症の人と近所づきあいをしたいと思わない」で28.6%となっている。

(n= 1,795)



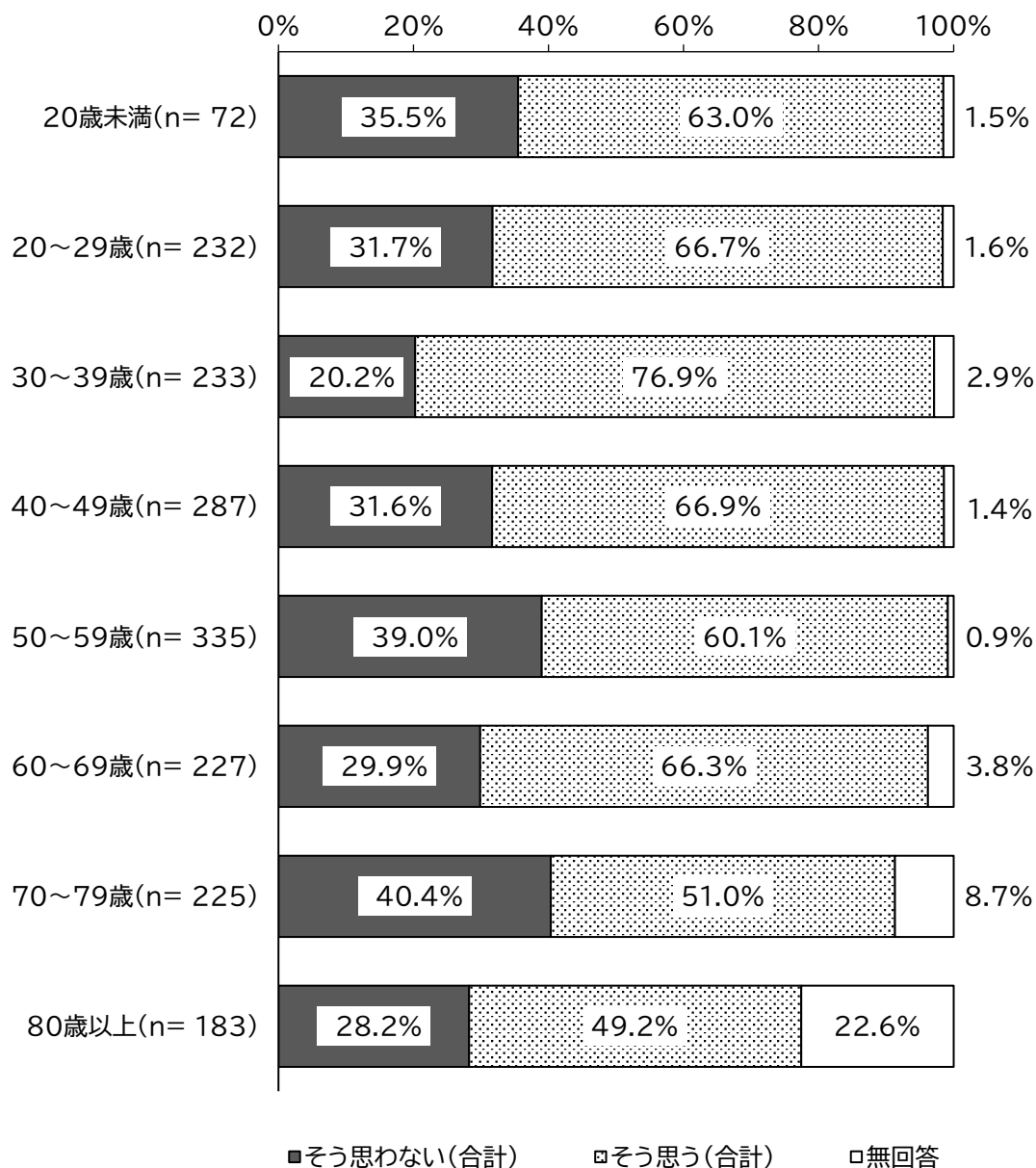
地域の多くの人、他の誰かを扱うのとまったく同じように依存症の人を扱うと思うかについて年代別にみると、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた「そう思わない(合計)」が50代以下の各年代で、全体の71.0%より高く、特に30代では79.0%と各年代の中で最も高くなっている。

① 地域の多くの人、他の誰かを扱うのとまったく同じように依存症の人を扱う



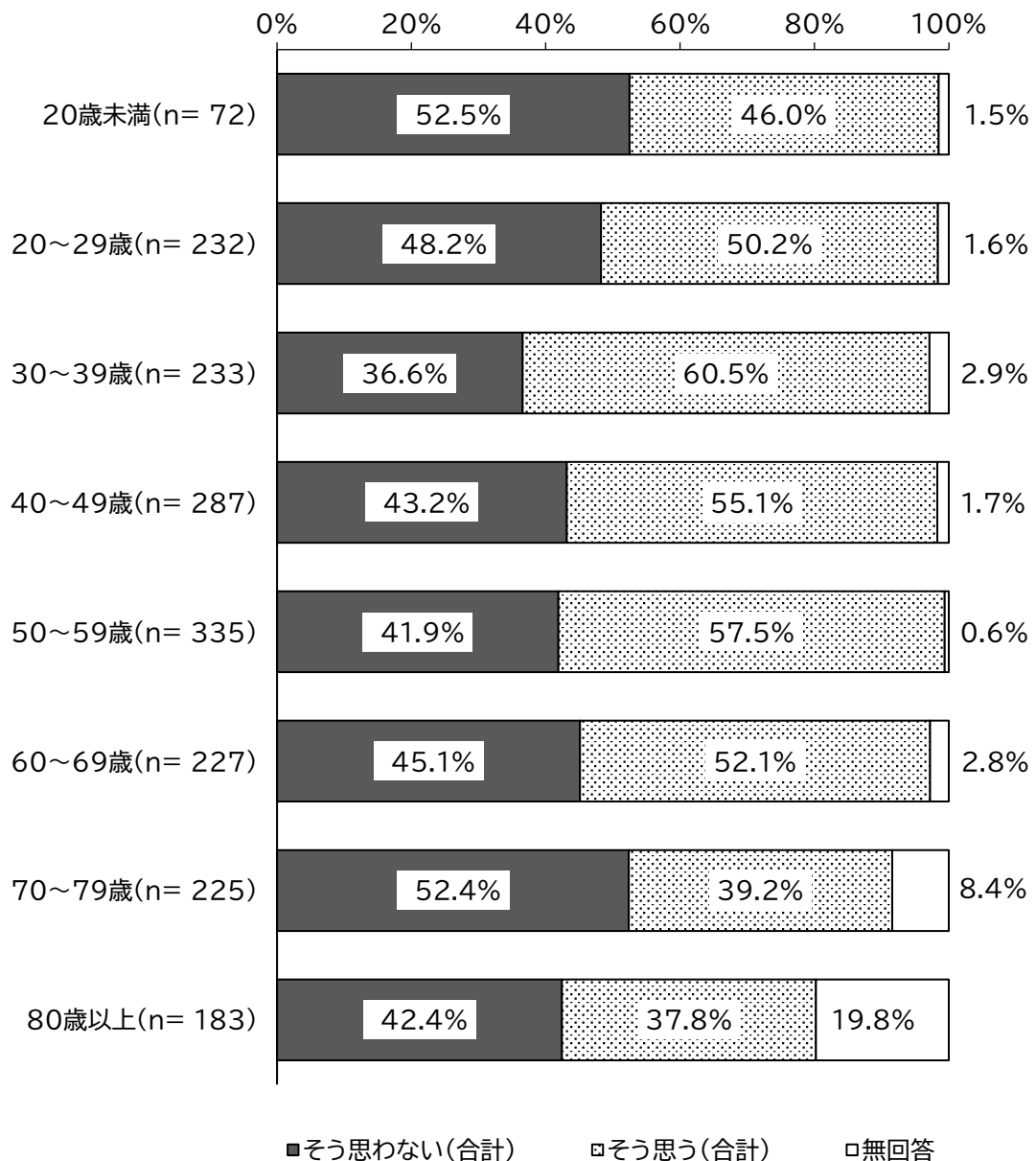
多くの若者は、依存症の若い男女とデートしたがるか、について年代別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた「そう思う(合計)」が40代以下および 60 代の各年代で、全体の 62.8%より高く、特に 30 代では 76.9%と各年代の中で最も高くなっている。

② 多くの若者は、依存症の若い男女とデートしたがるか



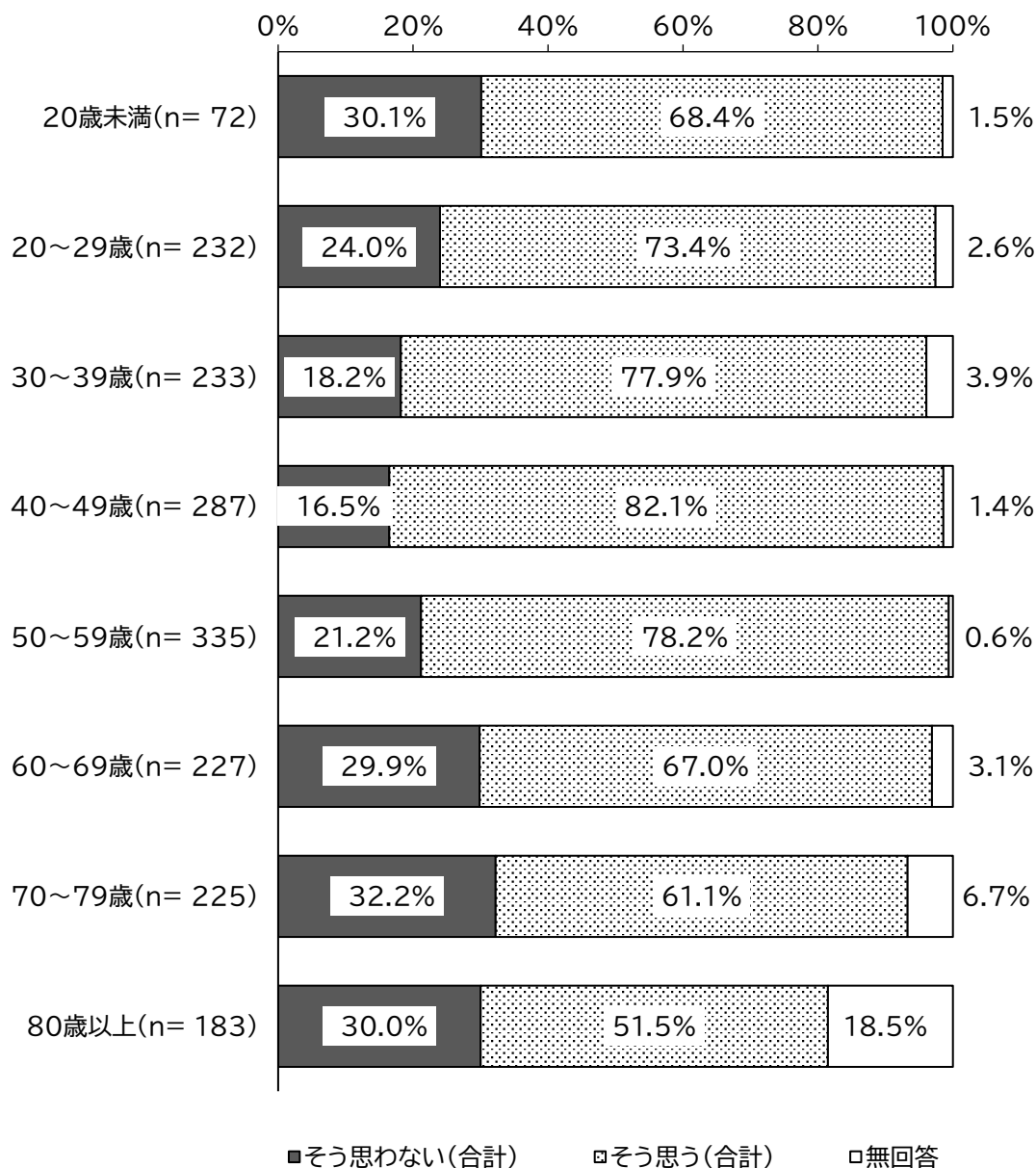
多くの人は、たとえその人がかなり長い間良い状態を保っていても、依存症の人の子どもと自分の子どもを遊ばせないと思うか、について年代別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた「そう思う(合計)」が 30代から 60 代の各年代で、全体の 51.1%より高く、特に 30 代では 60.5%と各年代の中で最も高くなっている。

③ 多くの人は、たとえその人がかなり長い間良い状態を保っていても、依存症の人の子どもと自分の子どもを遊ばせない



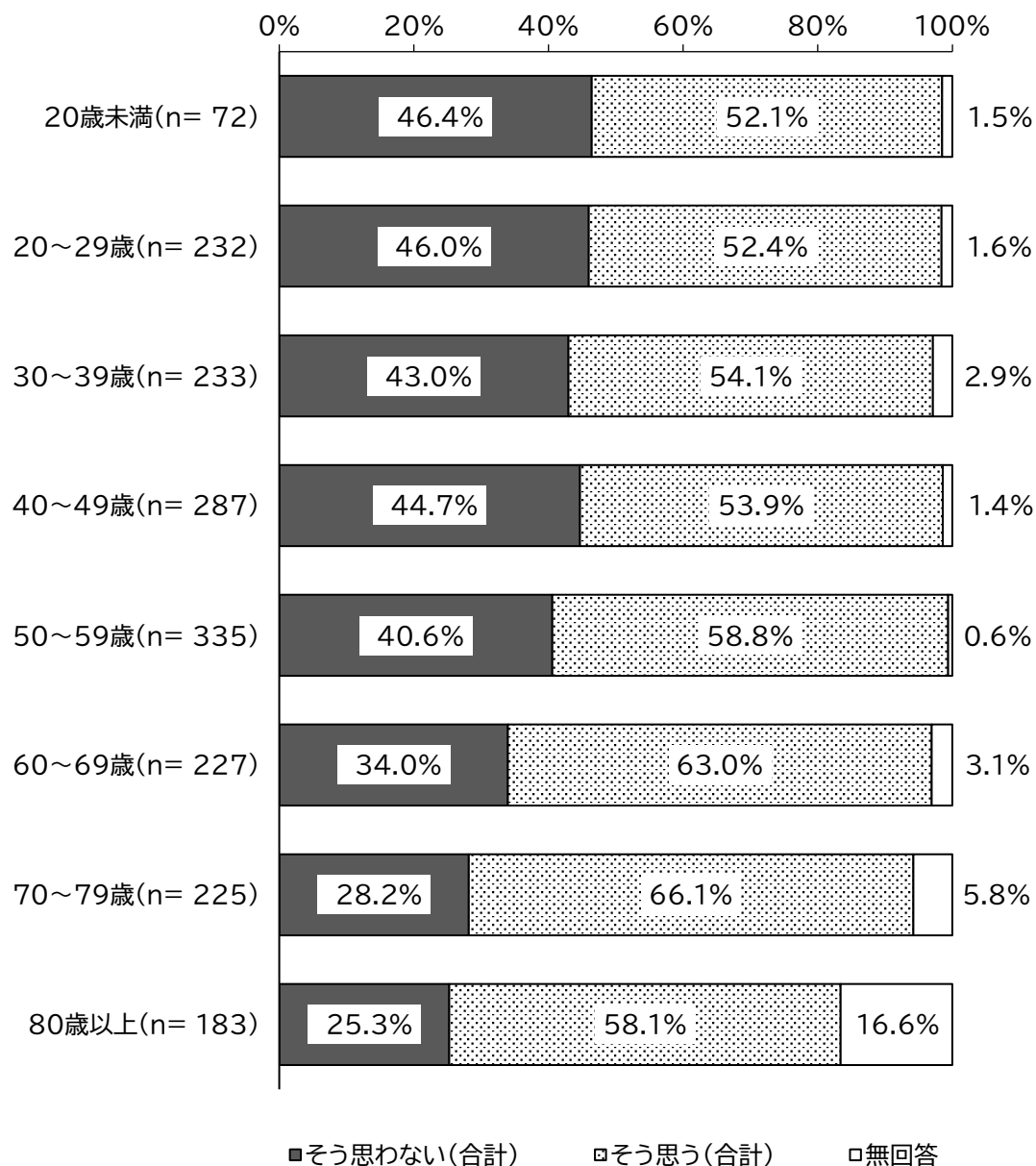
多くの人は、依存症の人と近所づきあいをしたいと思わないと思うか、について年代別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた「そう思う(合計)」が20代から 50代の各年代で、全体の71.5%より高く、特に 40代では82.1%と各年代の中で最も高くなっている。

④ 多くの人は、依存症の人と近所づきあいをしたいと思わない



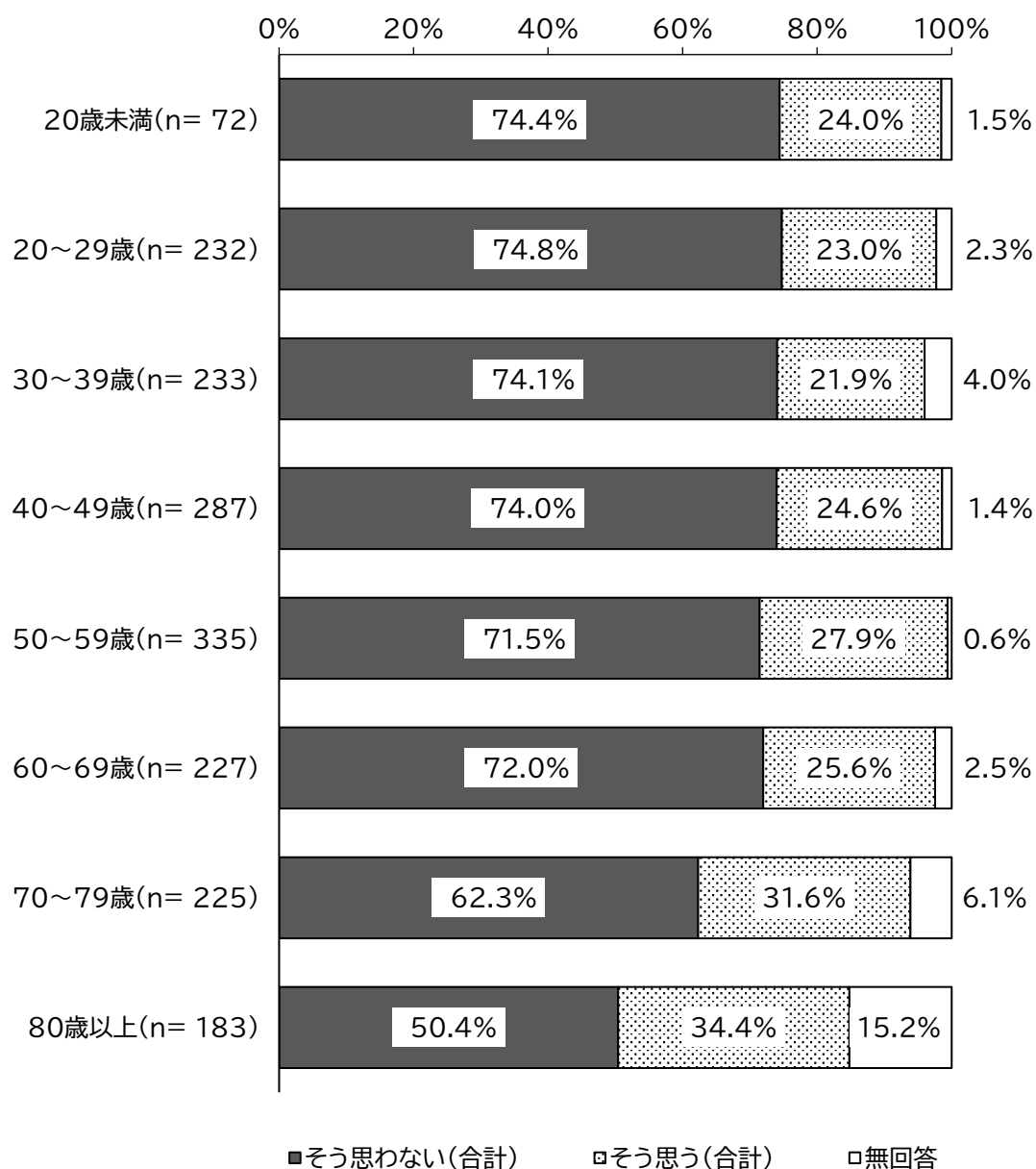
多くの人は、依存症の人でも、今後幸せな生活を送ることができると思うと思うか、について年代別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた「そう思う(合計)」が 50代以上の各年代で、全体の 57.7%より高く、特に 70 代では 66.1%と各年代の中で最も高くなっている。

⑤ 多くの人は、依存症の人でも、今後幸せな生活を送ることができると思う



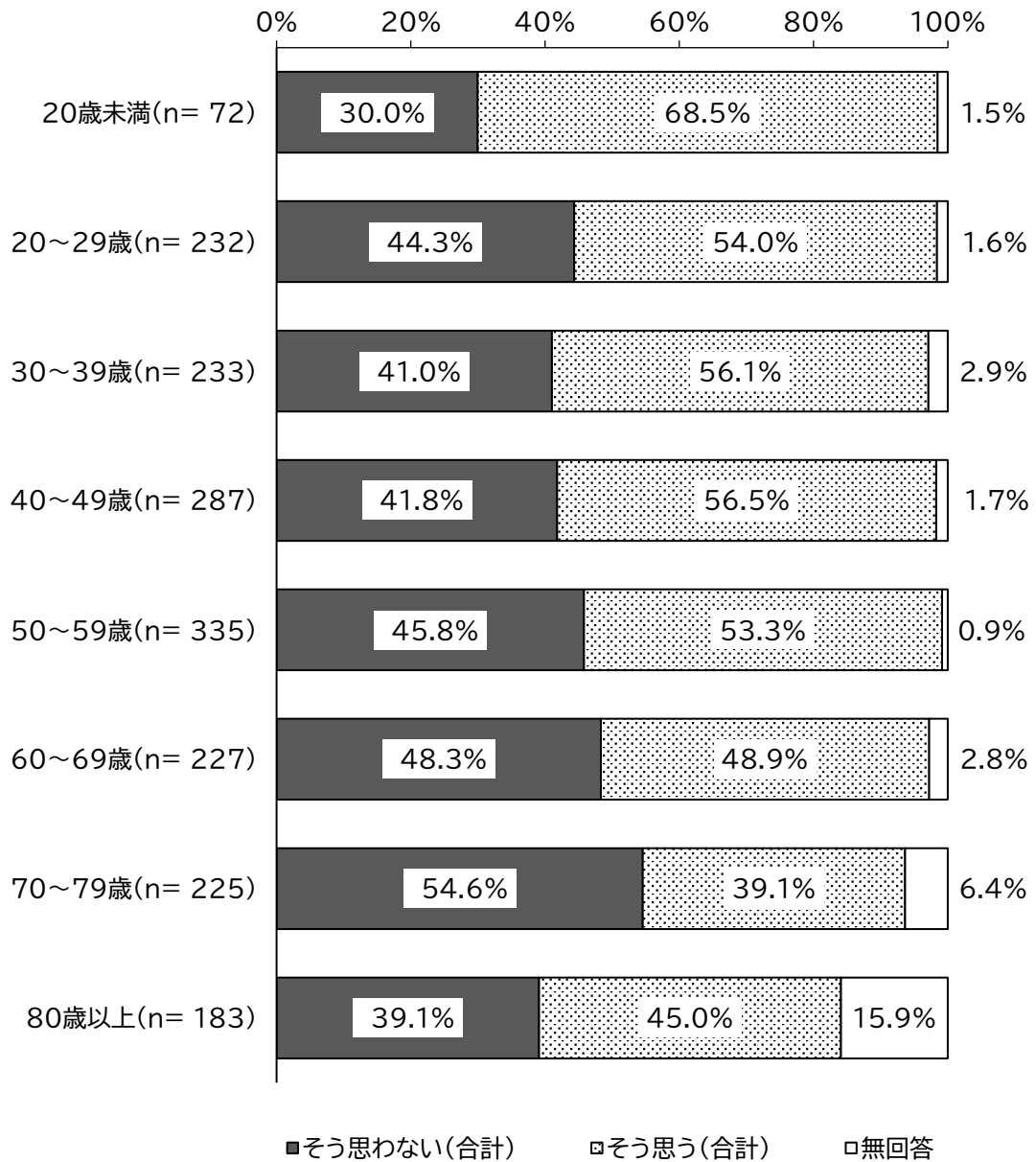
多くの人は、依存症の人の気持ちを理解できると思うか、について年代別にみると、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた「そう思わない(合計)」が 60代以下の各年代で、全体の 69.5%より高くなっている。

⑥ 多くの人は、依存症の人の気持ちを理解できると思う



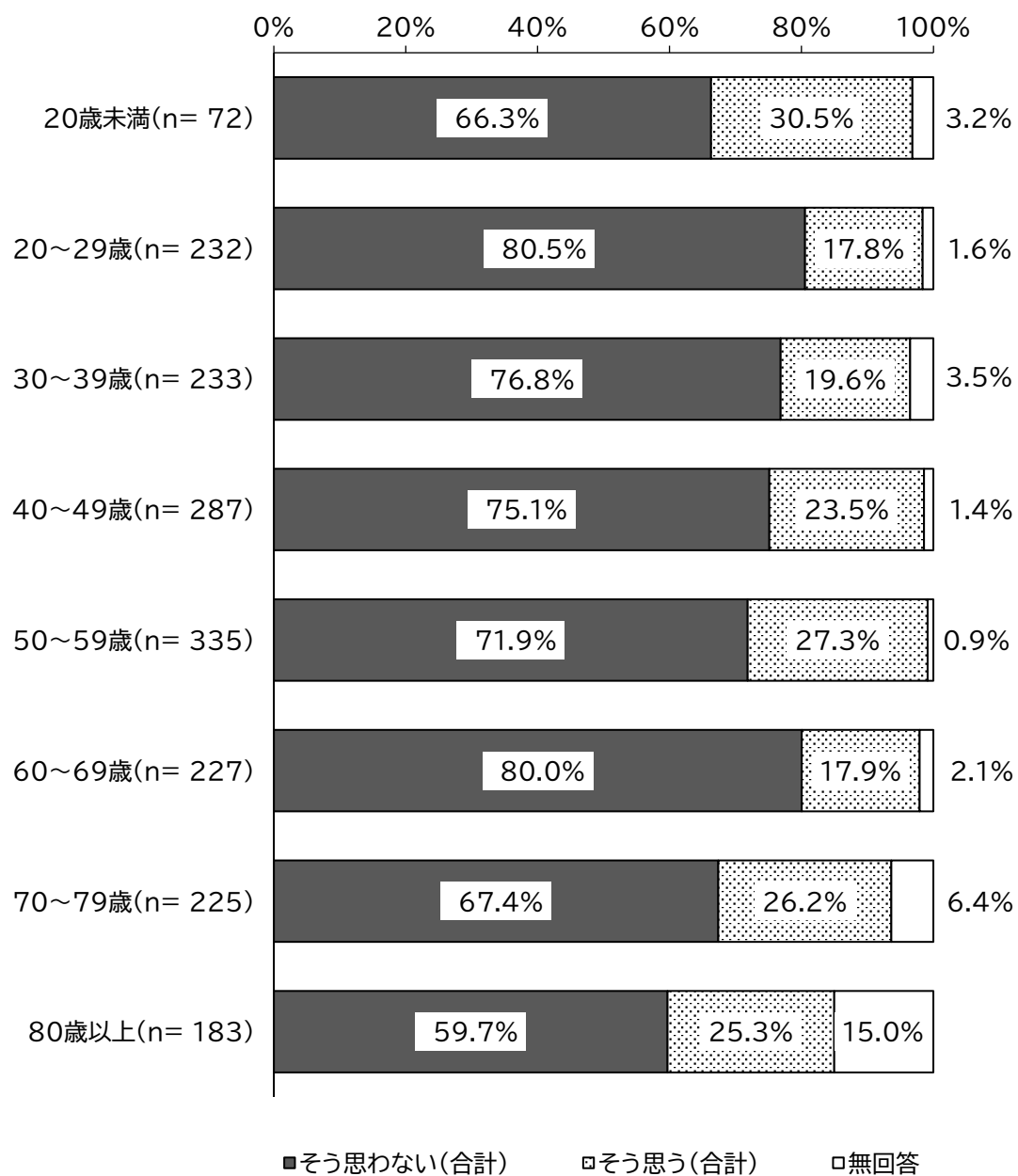
多くの人は、依存症の人のことを自業自得だと思うか、について年代別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた「そう思う(合計)」が 50代以下の各年代で、全体の 51.6%より高くなっている。特に 20 歳未満では 68.5%と各年代の中で最も高くなっている。

⑦ 多くの人は、依存症の人のことを自業自得だと思う



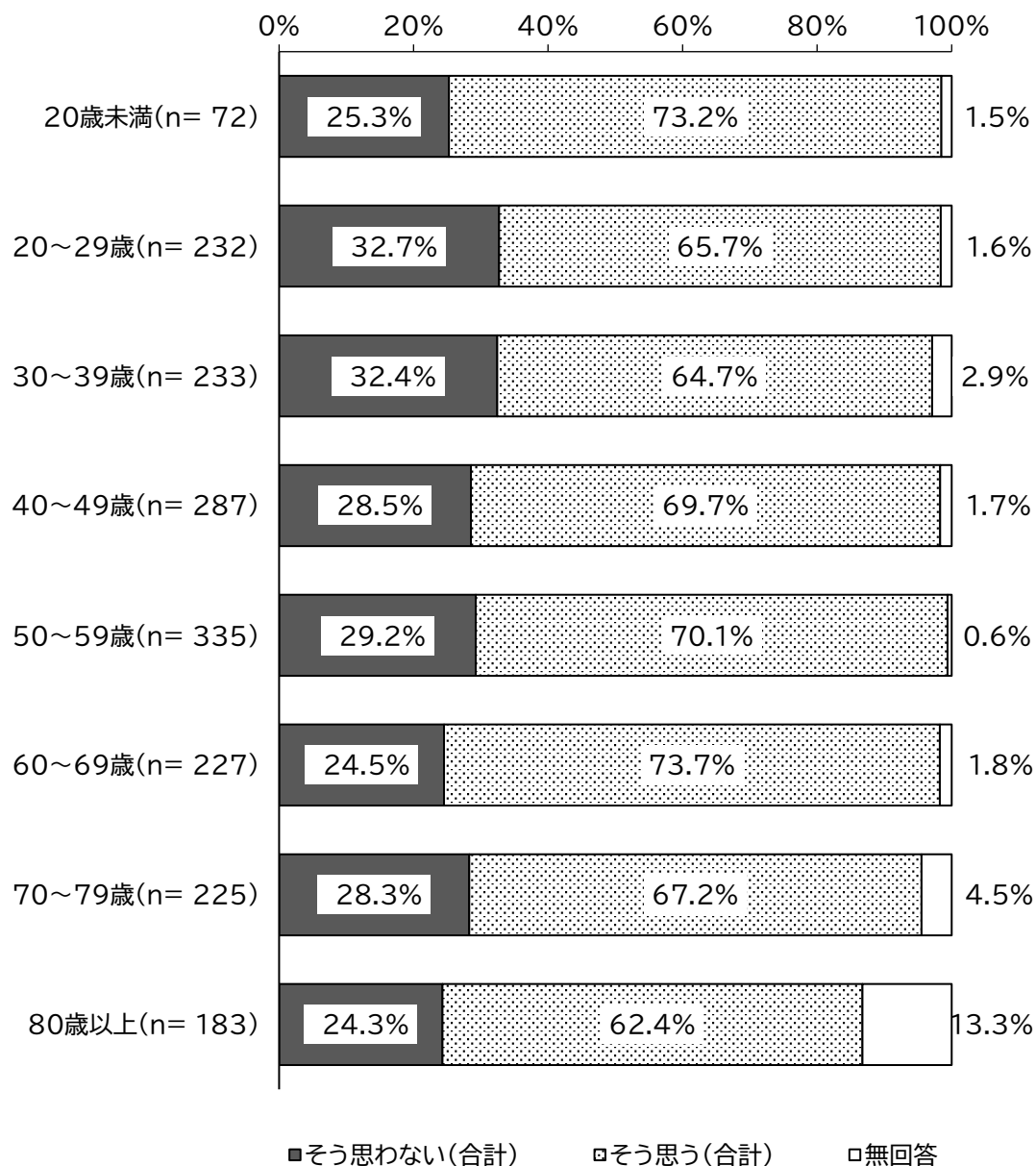
多くの人は、依存症の人の話に耳を傾けるか、について年代別にみると、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた「そう思わない(合計)」が 20 代から40代および 60 代の各年代で、全体の 73.1%より高く、特に 20 代と60代では 80%以上となっている。

⑧ 多くの人は、依存症の人の話に耳を傾ける



多くの人は、依存症の人のことを意志が弱いと思うか、について年代別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた「そう思う(合計)」が 20 歳未満および 40 代から 60代の各年代で、全体の 68.2%より高くなっている。

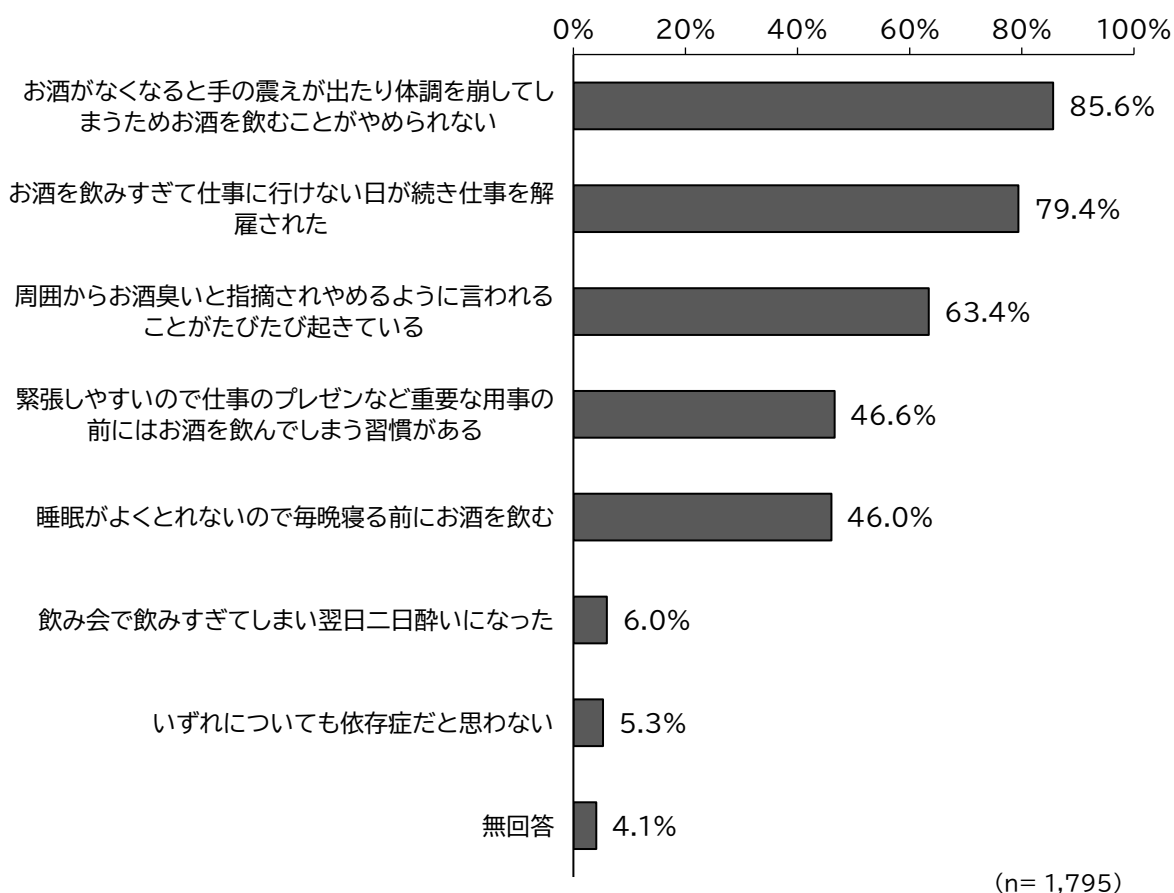
⑨ 多くの人は、依存症の人のことを意志が弱いと思う



(3)飲酒に関する行動や状態で依存症だと思うもの

問 7 飲酒に関する行動や状態のうち、あなたが依存症だと思うものを教えてください。(〇はいくつでも)

飲酒に関する行動や状態のうち依存症だと思うものは、「お酒がなくなると手の震えが出たり体調を崩してしまうためお酒を飲むことがやめられない」が 85.6%と最も高く、次いで「お酒を飲みすぎて仕事に行けない日が続き仕事を解雇された」が 79.4%となっている。



飲酒に関する行動や状態のうち依存症だと思うものを年代別にみると、すべての年代で「お酒がなくなると手の震えが出たり体調を崩してしまうためお酒を飲むことがやめられない」が最も高く、次いで「お酒を飲みすぎて仕事に行けない日が続き仕事を解雇された」となっている。

(%)

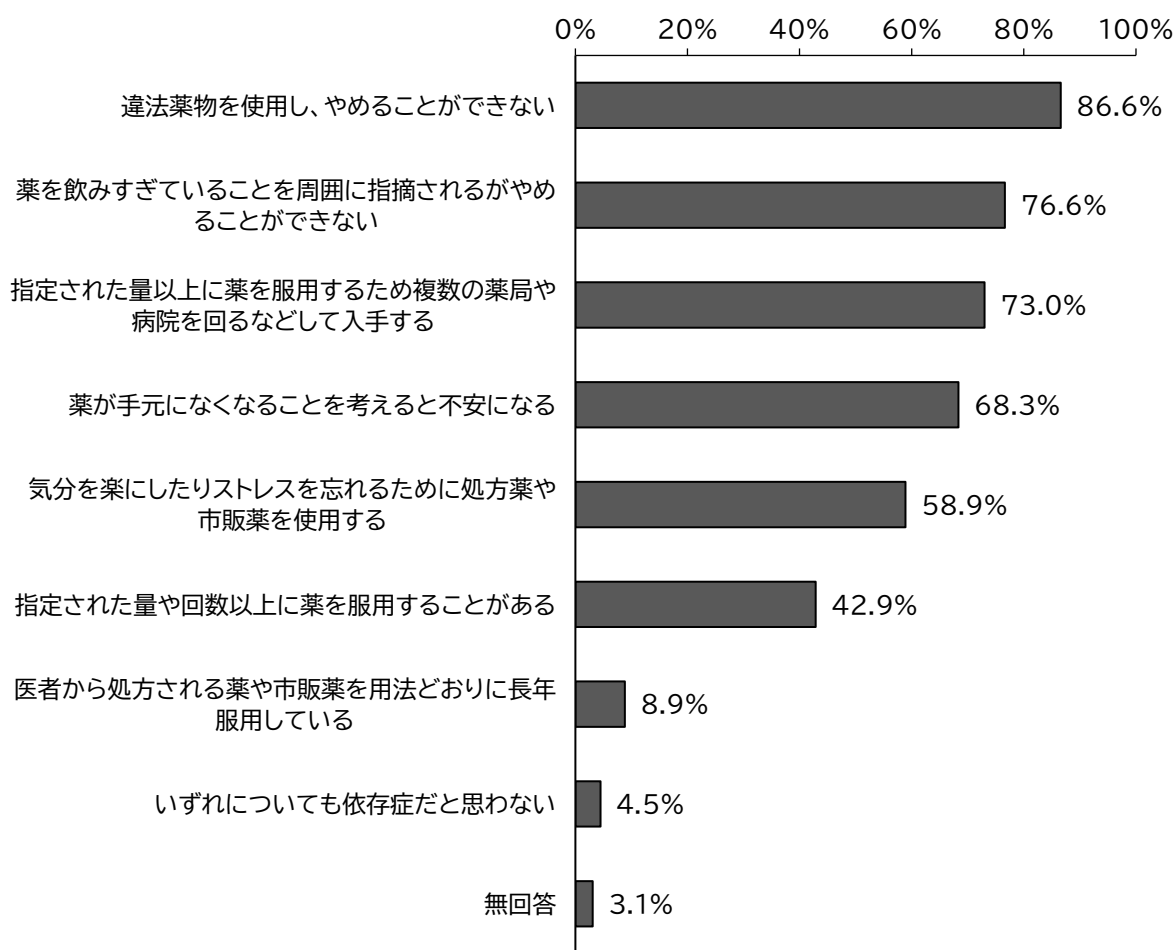
	n=	二飲 日み 酔会 いで 飲み すぎ てし まい 翌日	る睡 前眠 がお よく と酒 を飲 むな い ので 毎晩 寝	をン緊 飲な張 んどし で重や しまし まな い う用 の 習事 で 慣の 仕 が 前 事 に の は プ お レ 酒 ぜ	ため周 びる 囲 から お酒 臭 れ い と 指 と 摘 が さ れ び や	いお 日酒 がを 続 き み 仕 事 を 解 雇 さ れ た け な	酒た をり 飲酒 む体 が な く な る こ と 崩 し て し ま う た め が お 出	わい な い づ れ に つ い て も 依 存 症 だ と 思	無 回 答
全体	1795	6.0	46.0	46.6	63.4	79.4	85.6	5.3	4.1
20歳未満	72	7.9	71.7	58.8	50.7	81.2	90.5	4.8	4.7
20～29歳	232	7.1	61.8	58.3	65.7	84.5	89.0	4.5	2.3
30～39歳	233	6.2	44.2	49.7	68.0	82.8	87.2	4.0	3.0
40～49歳	287	4.5	52.3	51.2	72.1	86.1	92.6	4.0	1.7
50～59歳	335	4.9	43.4	53.3	69.3	87.8	92.2	1.9	1.4
60～69歳	227	5.3	38.8	45.0	66.6	83.0	87.1	5.2	2.5
70～79歳	225	6.6	34.2	30.3	52.5	64.6	75.0	10.9	6.7
80歳以上	183	7.8	36.8	25.6	44.5	55.9	65.4	9.6	14.9

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(4)薬物使用に関する行動や状態で依存症だと思うもの

問 8 薬物使用に関する行動や状態のうち、あなたが依存症だと思うものを教えてください。
(○はいくつでも)

薬物使用に関する行動や状態のうち依存症だと思うものは、「違法薬物を使用し、やめることができない」が 86.6%と最も高く、次いで「薬を飲みすぎていることを周囲に指摘されるがやめることができない」が 76.6%となっている。



(n= 1,795)

薬物使用に関する行動や状態のうち、依存症だと思ふものを年代別にみると、すべての年代で「違薬物を使用し、やめることができない」が最も高くなっている。次いで60代以下では「薬を飲みすぎていることを周囲に指摘されるがやめることができない」、70代以上では「指定された量以上に薬を使用するため複数の薬局や病院を回るなどして入手する」となっている。

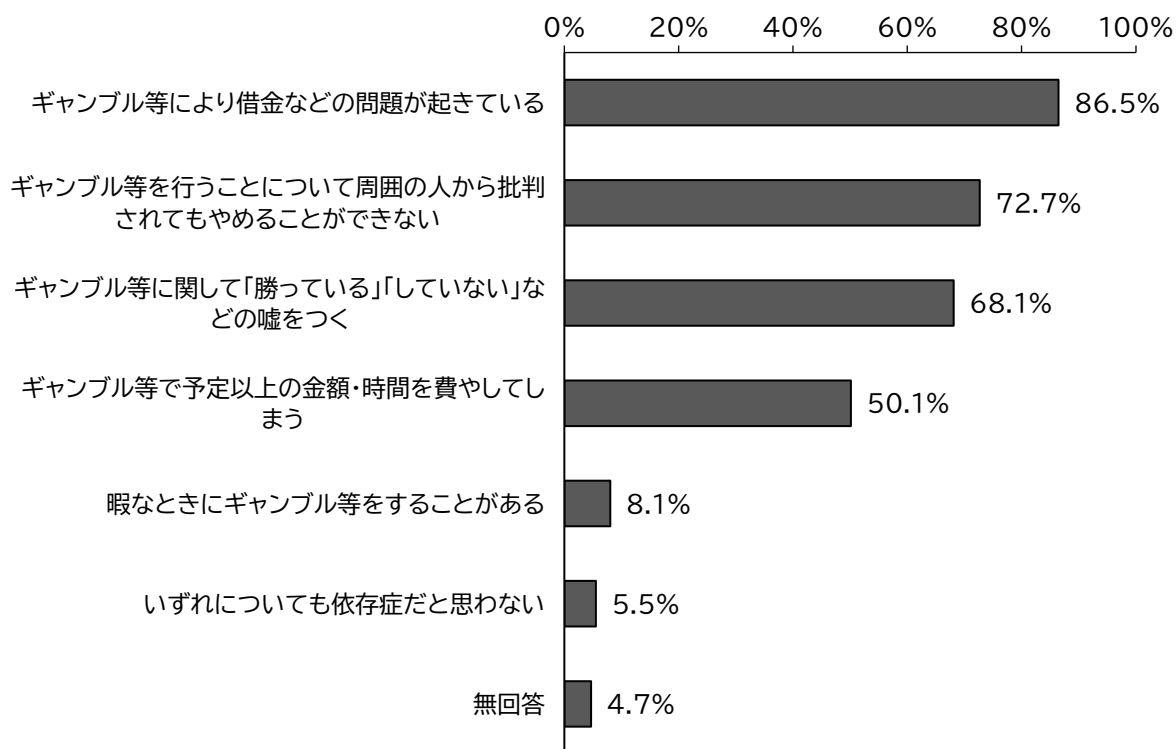
		用法どおり に処方され る薬や市販 薬を	指定された 量や回数 以上に薬を 服	指定された 量の薬局や 病院を回る など	指分を楽に したリスト レスを忘れ る	指摘される がやめるこ とを周囲に い	薬が手元にな くなくなるこ とを考える	違法薬物を使 用し、やめる ことが	いずれにつ いても依存症 だと思わ	無回答
	n=									(%)
全体	1795	8.9	42.9	73.0	58.9	76.6	68.3	86.6	4.5	3.1
20歳未満	72	3.2	53.4	80.7	79.4	85.6	79.1	92.0	4.8	3.2
20～29歳	232	3.9	49.9	80.6	75.1	87.4	84.1	91.3	1.6	2.3
30～39歳	233	4.0	50.5	80.3	66.1	83.1	79.5	89.8	4.4	3.5
40～49歳	287	6.8	50.4	80.6	66.2	86.4	79.6	91.6	4.2	1.4
50～59歳	335	9.8	44.8	77.3	62.3	83.4	74.1	93.6	1.5	1.0
60～69歳	227	8.3	36.3	71.3	53.1	77.0	60.2	88.1	4.1	2.1
70～79歳	225	13.5	30.3	61.2	40.7	56.7	43.9	77.0	7.8	4.6
80歳以上	183	19.9	28.5	47.8	33.0	47.7	41.9	63.7	10.5	9.5

＜注釈＞・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(5)ギャンブル等に関する行動や状態で依存症だと思うもの

問 9 ギャンブル等に関する行動や状態のうち、あなたが依存症だと思うものを教えてください。(〇はいくつでも)

ギャンブル等に関する行動や状態のうち依存症だと思うものは、「ギャンブル等により借金などの問題が起きている」が 86.5%と最も高く、次いで「ギャンブル等を行うことについて周囲の人から批判されてもやめることができない」が 72.7%となっている。



(n= 1,795)

ギャンブル等に関する行動や状態のうち、依存症だと思えるものを年代別にみると、すべての年代で「ギャンブル等により借金などの問題が起きている」が最も高くなっている。次いで30代と50代以外の各年代では「ギャンブル等を行うことについて周囲の人から批判されてもやめることができない」、30代と50代では「ギャンブル等に関して「勝っている」「していない」などの嘘をつく」となっている。

(%)

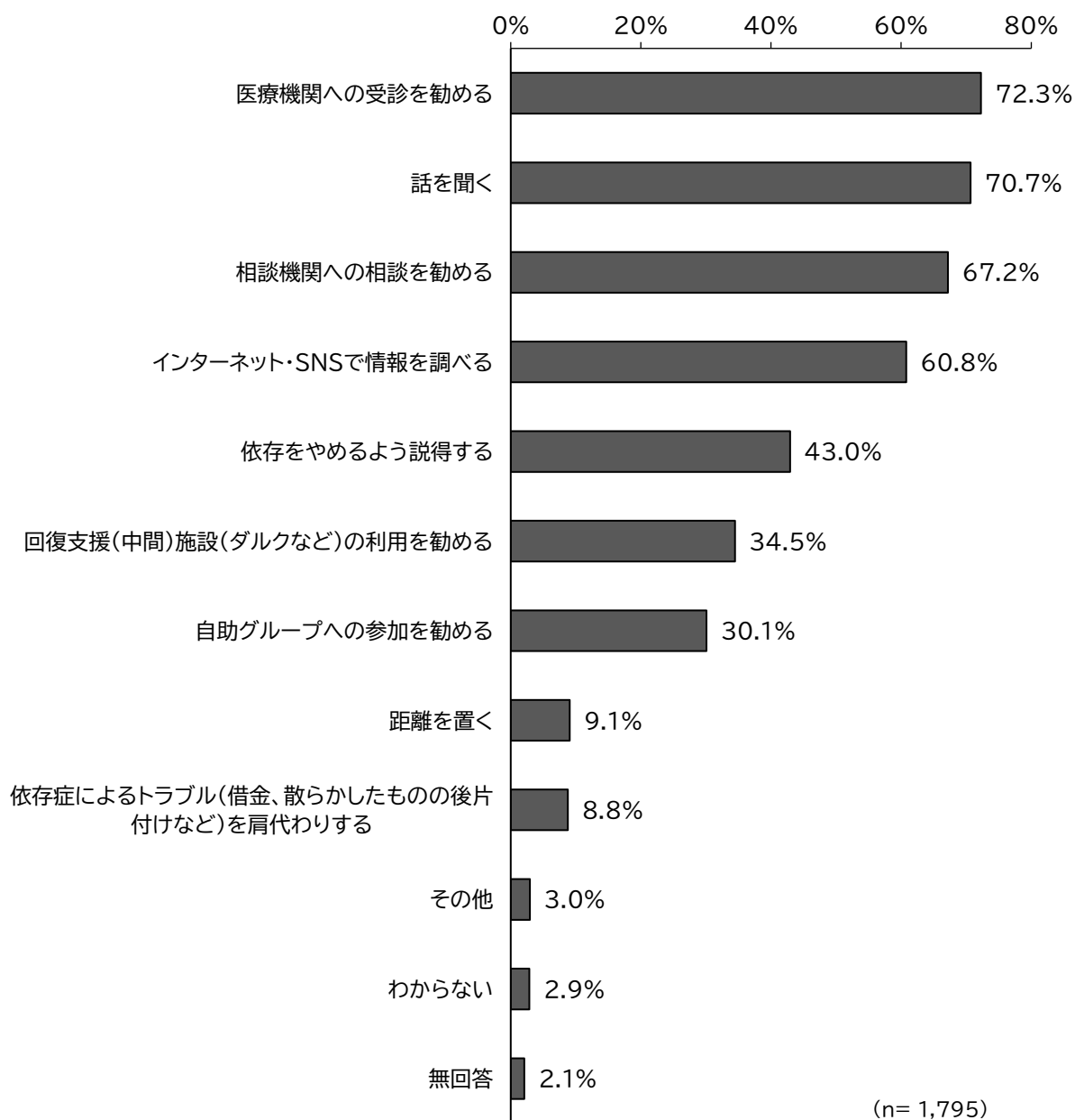
	n=	る暇なときにギャンブル等を行うことがある	費ギャンブル等で予定以上の金額・時間を	い人ギャンブル等を行うことについて周囲の	きてギャンブル等により借金などの問題が起	「ギャンブル等に関して「勝っている」「していない」などの嘘をつく	いずれについても依存症だと思わない	無回答
全体	1795	8.1	50.1	72.7	86.5	68.1	5.5	4.7
20歳未満	72	14.1	59.9	84.0	87.4	77.5	4.8	4.7
20～29歳	232	16.8	56.1	82.2	88.4	80.3	4.5	3.2
30～39歳	233	6.4	45.5	72.8	90.3	74.9	4.5	3.5
40～49歳	287	8.6	55.6	77.3	92.7	76.6	4.2	2.0
50～59歳	335	7.0	52.7	73.2	94.1	75.6	2.1	1.0
60～69歳	227	5.3	49.7	75.3	86.7	62.8	5.5	4.2
70～79歳	225	3.1	45.7	62.4	78.2	49.2	11.2	5.9
80歳以上	183	7.3	37.5	57.1	64.8	43.2	9.6	18.2

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(6) 家族が依存症と疑われる場合

問 10 もし、あなたの家族が依存症と疑われる場合、あなたはどのように行動しますか。(〇はいくつでも)

家族が依存症と疑われる場合にとる行動としては、「医療機関への受診を勧める」が 72.3%と最も高く、次いで「話を聞く」が 70.7%となっている。



家族が依存症と疑われる場合にとる行動を年代別にみると、30代以下の各年代では「インターネット・SNSで情報を調べる」が最も高くなっている。また、40代50代では「話を聞く」が、60代以上の各年代では「医療機関への受診を勧める」が最も高くなっている。

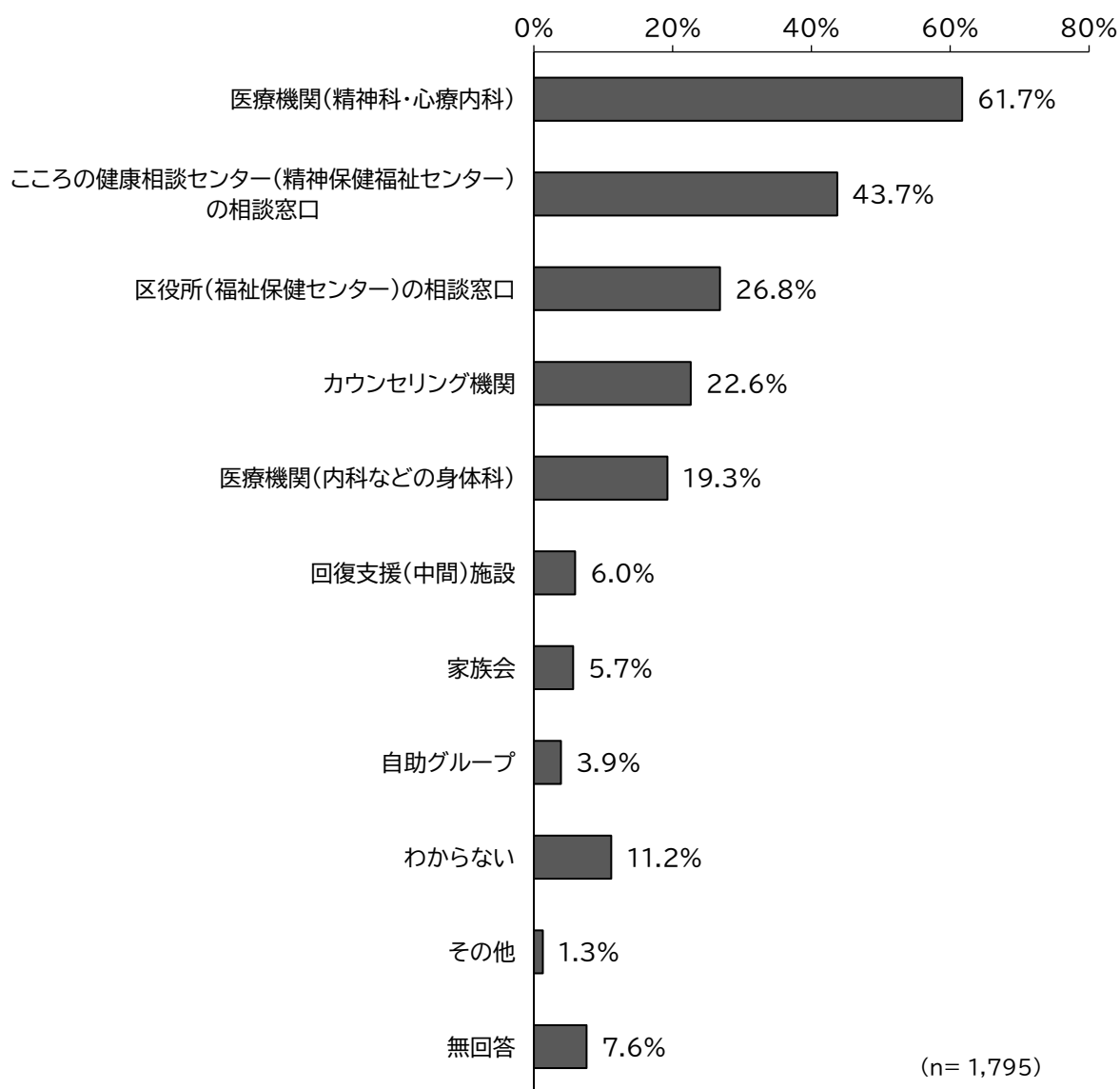
													(%)
	n=	インターネット・SNSで情報を調べる	話を聞く	依存をやめるよう説得する	依存症によるトラブル（借金、散らかしたものの後片付けなど）を肩代わりする	距離を置く	相談機関への相談を勧める	医療機関への受診を勧める	自助グループへの参加を勧める	回復支援（中間）施設（ダルクなど）の利用を勧める	わからない	その他	無回答
全体	1795	60.8	70.7	43.0	8.8	9.1	67.2	72.3	30.1	34.5	2.9	3.0	2.1
20歳未満	72	61.9	60.2	59.0	3.0	24.2	55.8	50.7	12.8	25.6	1.5	4.7	3.0
20～29歳	232	71.6	70.5	37.8	7.8	15.5	60.5	69.3	29.5	28.2	0.7	3.6	2.3
30～39歳	233	74.7	68.5	37.8	6.5	14.1	65.5	74.4	25.0	33.5	3.6	4.0	2.9
40～49歳	287	73.9	78.1	35.0	9.5	10.4	68.8	75.6	28.5	33.1	1.7	3.2	0.6
50～59歳	335	75.4	79.5	46.0	13.3	6.3	72.9	76.2	35.4	38.9	1.2	2.0	0.6
60～69歳	227	55.8	74.0	45.9	11.6	5.2	74.7	75.4	33.4	42.5	3.1	1.4	0.4
70～79歳	225	33.3	64.7	44.8	4.6	2.5	67.9	73.6	33.4	35.3	4.7	2.3	2.2
80歳以上	183	21.6	53.0	50.8	7.5	4.7	59.0	63.9	28.8	30.4	7.7	4.4	8.0

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(7) 家族が依存症と疑われる場合の相談先

問 11 もし、あなたやあなたの家族が依存症と疑われる場合、あなたが相談すると思う相談先(電話・メール等を含む)を教えてください。(〇は3つまで)

家族が依存症と疑われる場合の相談先としては、「医療機関(精神科・心療内科)」が 61.7%と最も高く、次いで「こころの健康相談センター(精神保健福祉センター)の相談窓口」が 43.7%となっている。



家族が依存症と疑われる場合の相談先を年代別にみると、すべての年代で「医療機関(精神科・心療内科)」が最も高くなっている。次いで 20代以外の各年代では「こころの健康相談センター(精神保健福祉センター)の相談窓口」、20代では「カウンセリング機関」となっている。

(%)

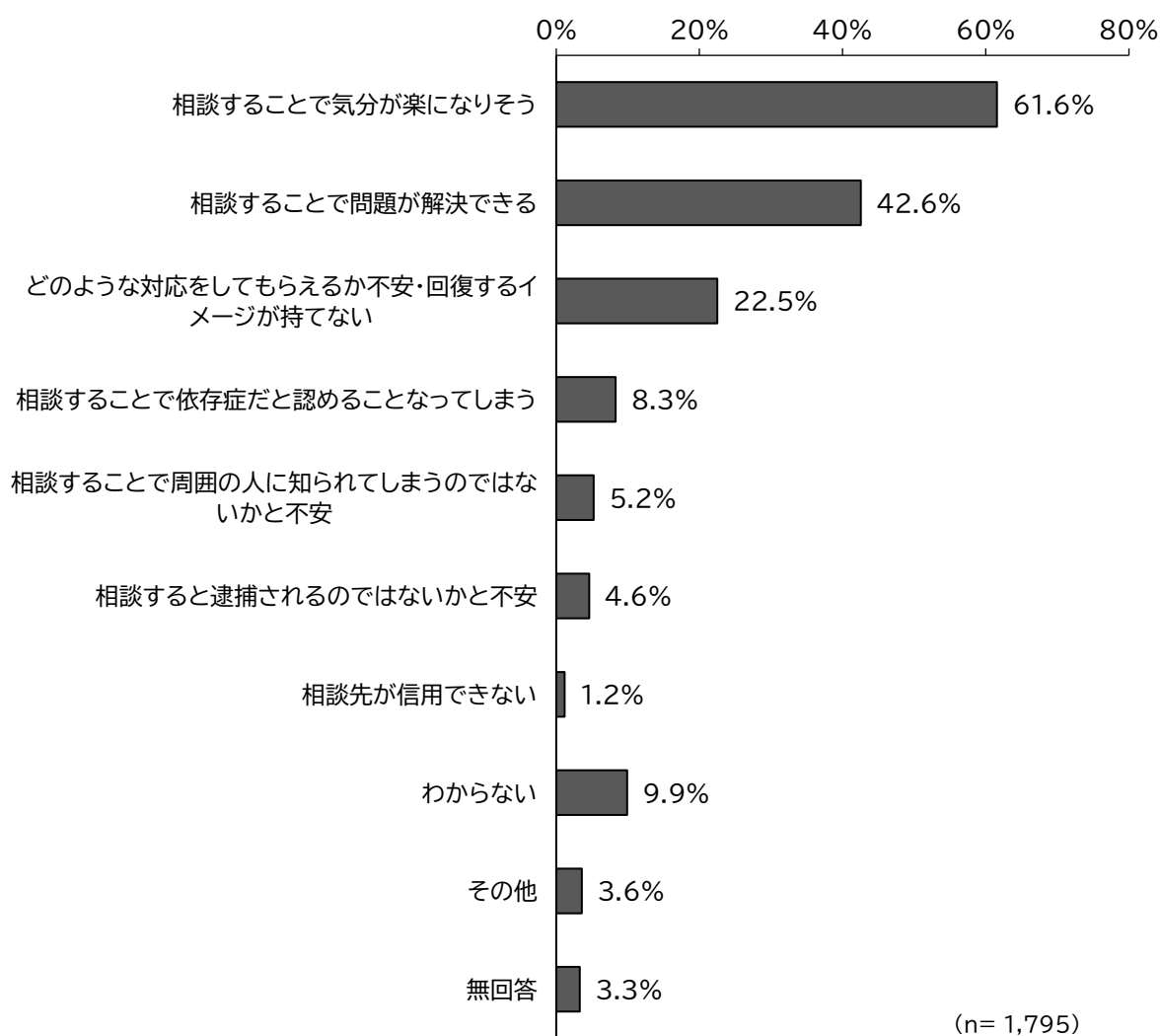
		こころの健康相談センター(精神保健福祉センター)の相談窓口	区役所(福祉保健センター)の相談窓口	医療機関(精神科・心療内科)	医療機関(内科などの身体科)	自助グループ	家族会	回復支援(中間)施設	カウンセリング機関	わからない	その他	無回答
	n=											
全体	1795	43.7	26.8	61.7	19.3	3.9	5.7	6.0	22.6	11.2	1.3	7.6
20歳未満	72	32.0	11.5	53.9	17.3	1.5	5.0	7.9	26.7	22.4	1.7	6.2
20～29歳	232	31.1	18.7	65.4	25.9	1.6	5.8	2.6	32.4	16.8	1.6	4.8
30～39歳	233	31.3	25.6	68.0	22.0	3.8	4.3	5.6	20.7	10.5	0.6	8.9
40～49歳	287	44.0	31.0	60.8	21.1	2.9	7.2	3.7	23.8	10.1	2.6	7.2
50～59歳	335	50.6	26.9	66.4	17.9	6.8	6.0	7.7	20.7	10.0	0.4	5.7
60～69歳	227	56.6	29.0	59.7	16.9	4.5	3.8	7.5	26.3	8.1	1.4	7.5
70～79歳	225	50.8	32.2	60.0	13.6	5.6	5.2	8.8	17.8	7.1	1.9	8.8
80歳以上	183	42.6	28.8	49.7	17.6	1.4	7.3	4.9	14.2	12.9	0.3	12.6

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(8)相談先へ相談することに対するイメージ

問 12 あなたやあなたの家族の依存症の問題について問 11 の相談先へ相談することに対するイメージを教えてください。(〇はいくつでも)

家族の依存症の問題について相談先へ相談するイメージとしては、「相談することで気分が楽になりそう」が 61.6%と最も高く、次いで「相談することで問題が解決できる」が 42.6%となっている。



家族の依存症の問題について相談先へ相談するイメージを年代別にみると、すべての年代で「相談することで気分が楽になりそう」が最も高く、次いで「相談することで問題が解決できる」になっている。

(%)

	n=	相談することで気分が楽になりそう	相談することで問題が解決できる	どのような対応をイメージが持てないか不安・回復するイメージが持てないか不安	相談することで依存症だと認めることなってしまう	相談することではないかと周囲の人に知られてしまふ	相談すると逮捕されるのではないかと不安	相談先が信用できない	わからない	その他	無回答
全体	1795	61.6	42.6	22.5	5.2	8.3	1.2	4.6	9.9	3.6	3.3
20歳未満	72	68.0	43.1	27.4	1.7	7.9	1.5	4.6	9.5	3.0	3.0
20～29歳	232	50.8	39.1	31.8	10.0	14.9	1.6	11.0	12.3	2.0	4.2
30～39歳	233	52.1	43.7	27.7	6.3	10.5	1.8	6.3	10.3	1.8	2.9
40～49歳	287	66.2	44.4	28.4	6.4	8.4	1.5	3.8	7.5	5.5	0.9
50～59歳	335	65.0	45.1	20.6	3.7	7.9	1.6	2.6	8.1	5.5	1.5
60～69歳	227	66.5	45.5	19.4	4.6	6.7	0.7	5.2	9.1	4.5	1.0
70～79歳	225	66.0	40.0	13.5	3.6	3.3	0.0	1.5	11.2	3.1	5.2
80歳以上	183	59.8	37.2	11.5	2.8	5.9	0.5	2.3	13.1	1.1	10.3

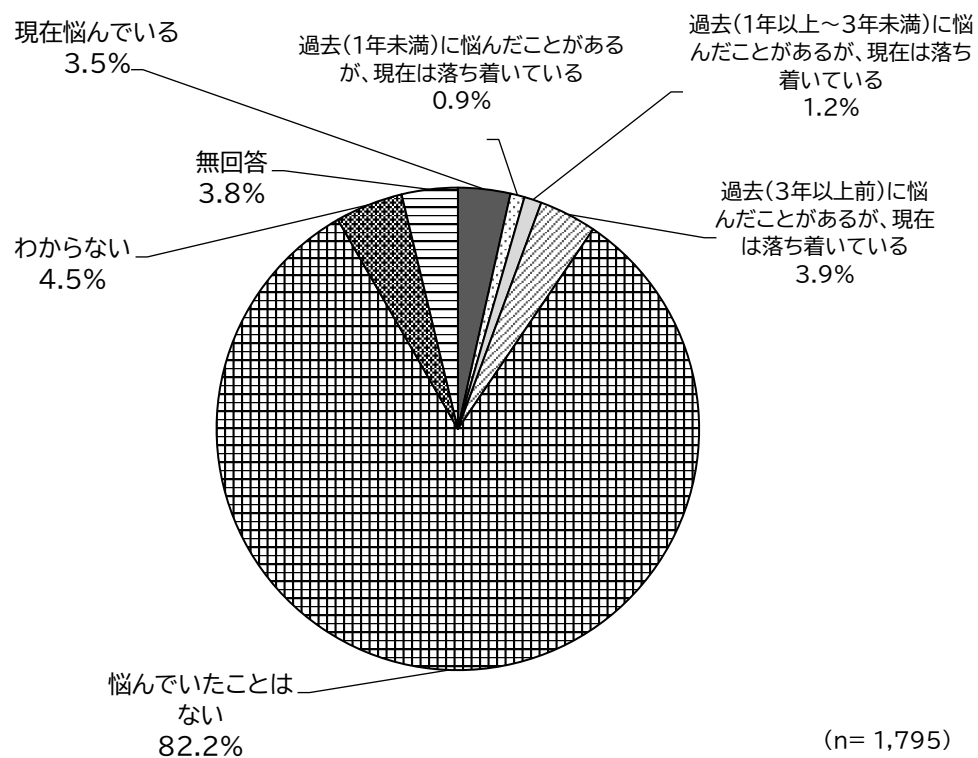
<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

3. あなたの依存症の問題について

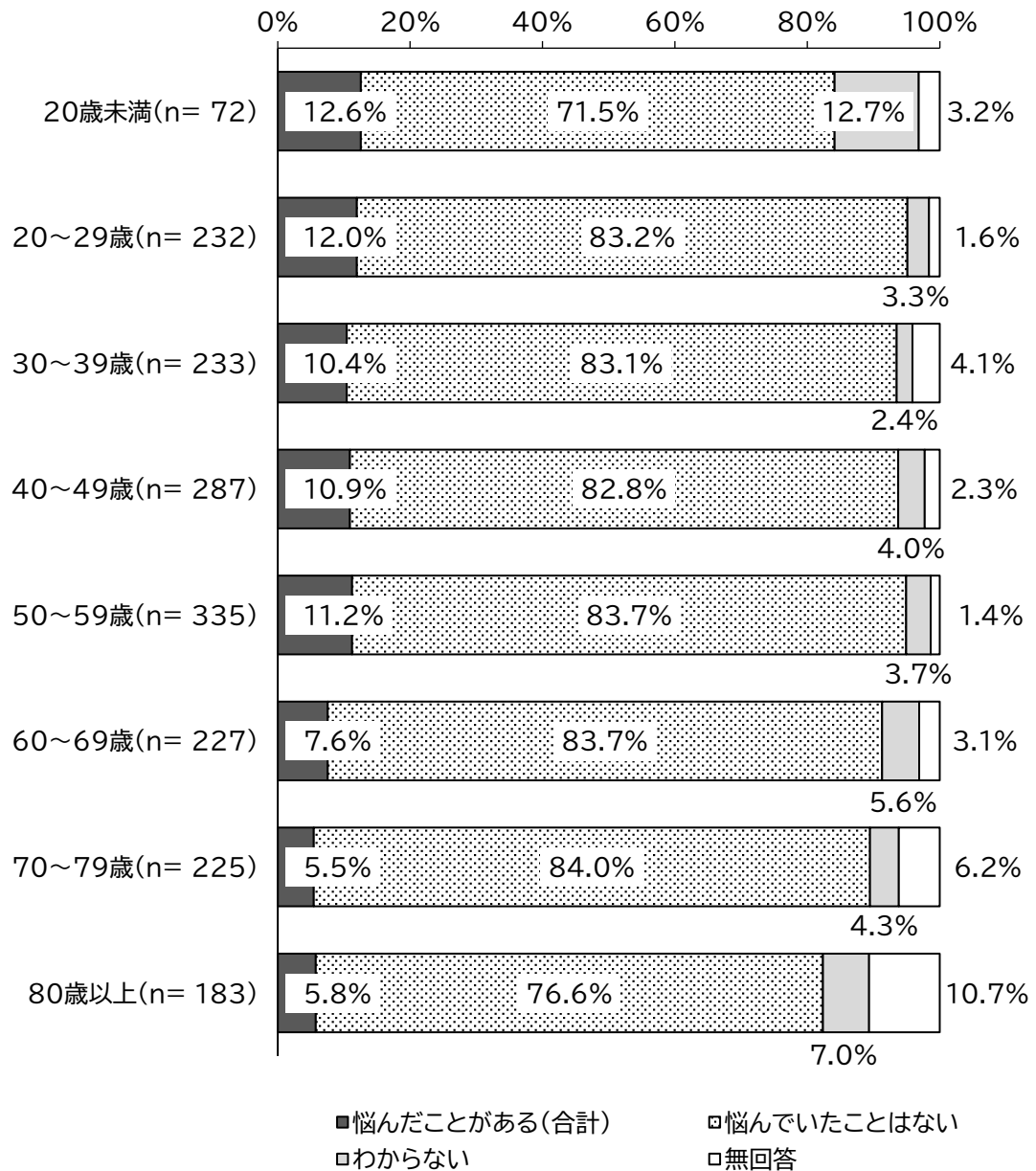
(1) 依存症の問題で悩んだ経験

問 13 あなたは、依存症の問題で悩んでいたことはありますか。(診断の有無は問いません。)(○は1つだけ)

依存症で悩んでいたかどうかについては、「悩んでいたことはない」が82.2%となっている。一方、現在または過去に悩んだことがあるという回答を合わせると9.5%となっている。



依存症で悩んでいたかどうかを年代別にみると、「悩んだことがある(合計)」が、50代以下の各年代で、全体の9.5%より高くなっている。特に20歳未満では12.6%と各年代の中で最も高くなっている。



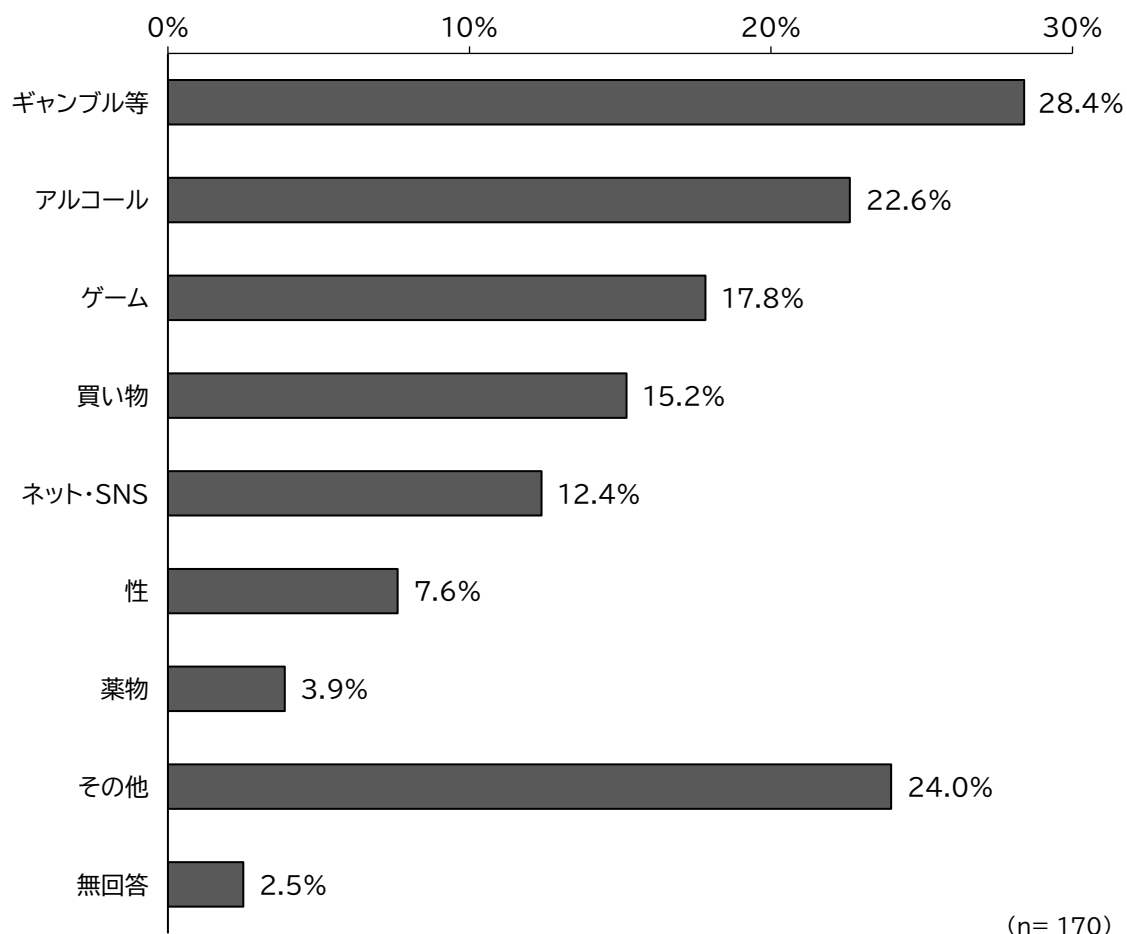
<注釈>・「悩んだことがある(合計)」とは、「現在悩んでいる」、「過去(1年未満)に悩んだことがあるが、現在は落ち着いている」、「過去(1年以上～3年未満)に悩んだことがあるが、現在は落ち着いている」および「過去(3年以上前)に悩んだことがあるが、現在は落ち着いている」の合計

(2)依存対象

【問 13 で 1～4 を選んだ方に質問します】

問 14 悩んでいる(いた)依存対象を教えてください。(〇はいくつでも)

悩んでいる(いた)依存対象としては、「ギャンブル等」が 28.4%と最も高く、次いで「アルコール」が 22.6%となっている。



その他回答	
たばこ・喫煙	8件
食べ物・間食	5件
薬(処方箋)	3件
宝くじ	2件

悩んでいる(いた)依存対象を年代別にみると、50代以上の各年代で、「ギャンブル」が最も高くなっている。

(%)

		アルコール	薬物	ギャンブル等	ゲーム	ネット・SNS	買い物	性	その他	無回答
	n=									
全体	170	22.6	3.9	28.4	17.8	12.4	15.2	7.6	24.0	2.5
20歳未満	9	0.0	0.0	0.0	39.6	73.6	0.0	12.1	0.0	0.0
20～29歳	28	29.6	8.1	8.1	27.0	21.8	29.9	21.6	27.0	5.5
30～39歳	24	22.8	5.0	16.8	33.7	0.0	5.0	11.9	37.6	0.0
40～49歳	31	31.2	2.7	28.8	13.4	5.5	21.2	2.7	20.9	2.7
50～59歳	38	15.6	0.0	39.0	8.9	13.2	17.5	0.0	21.2	0.0
60～69歳	17	33.3	9.7	52.6	9.2	4.4	4.4	4.8	14.0	0.0
70～79歳	12	16.8	0.0	38.9	16.0	0.0	11.5	10.6	32.8	0.0
80歳以上	11	12.0	6.0	42.3	0.0	9.1	9.1	0.0	30.3	18.3

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

悩んでいた依存対象を、過去 30 日間にあった悩みやストレスの頻度(1. 悩みやストレスに関して(1)の①から⑥)の回答を K6 尺度を用いてスコア化した点数別にみると、13 点以上は「アルコール」が最も高く、12 点以下では「ギャンブル等」が最も高くなっている。

(%)

		アルコール	薬物	ギャンブル等	ゲーム	ネット・SNS	買い物	性	その他	無回答
	n=									
全体	170	22.6	3.9	28.4	17.8	12.4	15.2	7.6	24.0	2.5
0～4	57	21.8	4.0	35.9	22.8	10.1	11.9	8.7	19.4	0.0
5～9	41	20.4	5.0	27.7	13.2	7.4	10.6	2.1	25.6	0.0
10～12	29	19.7	0.0	32.7	13.3	13.1	26.1	15.6	15.4	8.5
13点以上	43	27.9	5.3	16.0	18.7	19.8	16.6	5.9	34.5	4.3

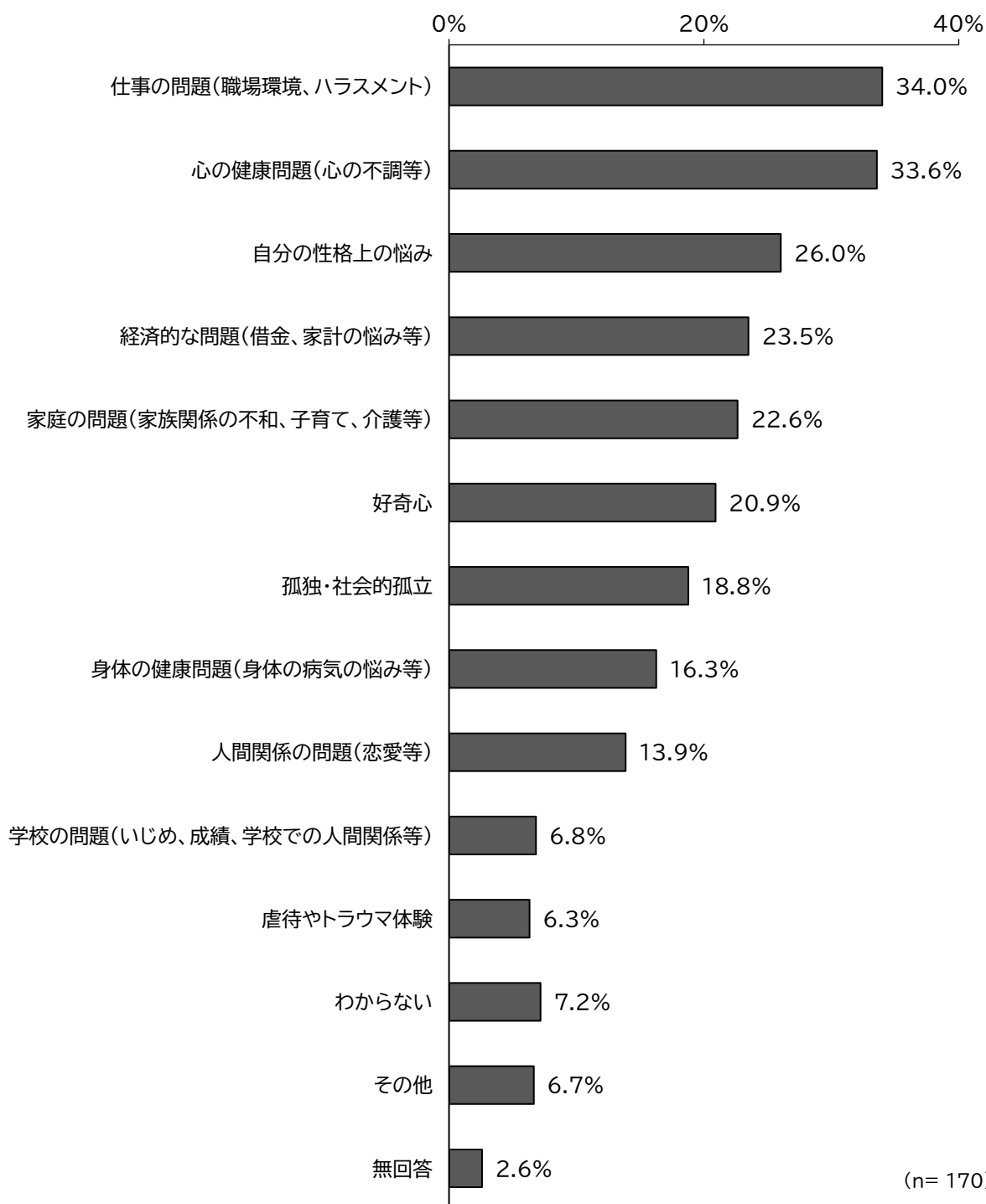
<注釈>・全体および点数毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(3)依存に至った理由

【問 13 で 1～4 を選んだ方に質問します】

問 15 依存するに至った理由や要因を教えてください。(〇はいくつでも)

依存するに至った要因としては、「仕事の問題(職場環境、ハラスメント)」が 34.0%と最も高く、次いで心の健康問題(心の不調等)」が 33.6%となっている。



依存に至った要因を年代別にみると、20代 40代 50代および 70代の各年代で、「仕事の問題（職場環境、ハラスメント）」が最も高くなっている。また、20歳未満および 80歳以上では、「好奇心」が最も高くなっている。

(%)

	n=	家庭の問題（家族関係の不和、子育て、介護等）	身体・健康問題（身体・病気の悩み等）	心の健康問題（心の不調等）	経済的な問題（借金、家計の悩み等）	仕事の問題（職場環境、ハラスメント）	人間関係の問題（恋愛等）	学校の問題（いじめ、成績、学校での人間関係等）	自分の性格上の悩み	虐待やトラウマ体験	孤独・社会的孤立	好奇心	わからない	その他	無回答
全体	170	22.6	16.3	33.6	23.5	34.0	13.9	6.8	26.0	6.3	18.8	20.9	7.2	6.7	2.6
20歳未満	9	12.1	12.1	49.4	0.0	0.0	12.1	12.1	24.2	0.0	12.1	51.7	0.0	24.2	0.0
20～29歳	28	27.0	13.5	56.9	54.0	59.5	46.0	24.4	48.8	10.9	40.8	21.6	0.0	0.0	5.5
30～39歳	24	20.8	15.9	37.6	17.8	32.7	10.9	5.9	31.7	11.9	23.7	10.9	16.8	11.9	0.0
40～49歳	31	34.6	31.2	31.5	23.6	39.4	8.2	2.7	21.2	8.2	15.8	21.2	7.9	2.7	0.0
50～59歳	38	16.9	11.0	18.7	26.7	32.2	2.2	2.2	23.3	4.3	17.8	23.3	7.7	6.7	0.0
60～69歳	17	14.0	13.6	37.7	9.2	28.5	14.0	0.0	18.8	0.0	4.8	19.3	4.8	4.8	4.8
70～79歳	12	22.1	22.1	11.5	5.3	27.4	5.3	0.0	17.7	5.3	10.6	5.3	10.6	11.5	6.2
80歳以上	11	24.3	0.0	27.4	9.1	6.0	6.0	6.0	0.0	0.0	0.0	27.4	6.0	6.0	12.0

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

依存に至った要因を、悩んでいる(いた)依存対象(3. あなたの依存症の問題について(2))別にみると、「仕事の問題(職場環境、ハラスメント)」が、最も高い、および 2 番目に高い要因となっている依存対象が多い(「アルコール」「薬物」「ギャンブル」「ゲーム」「その他」)。

(%)

	n=	家庭の問題 (家族関係の不和、子育て、介護等)	身体 の健康問題 (身体 の病気の 悩み等)	心 の健康問題 (心の不調等)	経済 的な問題 (借金、家計の悩み等)	仕事 の問題 (職場環境、ハラスメント)	人間 関係の問題 (恋愛等)	学校 の問題 (いじめ、成績、学校での人間関係等)	自分 の性格 上の悩み	虐待 やトラウマ体験	孤独・社会的孤立	好奇心	わからない	その他	無回答
アルコール	38	49.4	24.3	39.3	31.9	64.1	17.0	5.8	27.2	6.2	21.2	10.0	3.8	11.2	1.6
薬物	7	46.5	65.2	46.5	33.9	59.5	46.9	33.9	33.9	0.0	33.9	33.9	0.0	0.0	9.6
ギャンブル等	48	15.8	1.4	19.1	33.4	33.7	15.9	4.8	25.5	6.5	17.3	32.3	2.7	0.0	5.9
ゲーム	30	28.4	15.3	34.9	24.3	35.9	22.4	17.4	25.3	5.0	28.5	45.8	10.1	2.8	0.0
ネット・SNS	21	18.4	24.1	58.0	21.8	29.5	30.8	19.5	41.5	3.8	32.7	32.6	3.8	10.3	0.0
買い物	26	36.9	14.3	58.1	55.7	51.4	29.5	24.0	65.8	12.3	20.7	18.0	6.4	0.0	0.0
性	13	51.8	13.4	61.5	51.8	34.0	72.7	11.7	61.5	17.8	40.9	11.7	11.1	0.0	0.0
その他	41	22.7	28.3	42.4	25.9	33.8	10.1	5.3	24.9	14.6	16.9	9.6	8.1	9.8	1.5

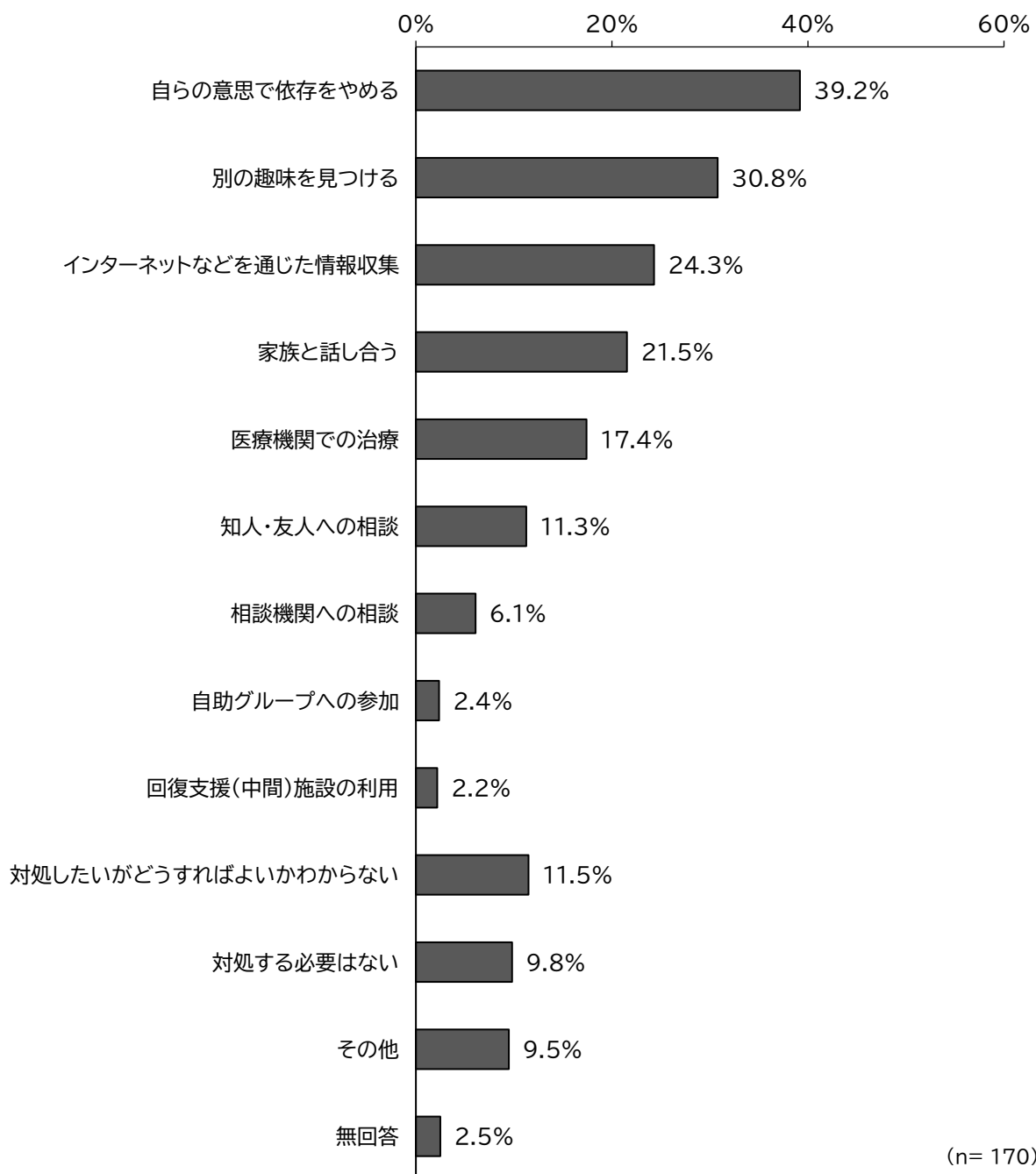
<注釈>・悩んでいる(いた)依存対象毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(4) 依存症の対処

【問 13 で 1～4 を選んだ方に質問します】

問 16 依存症の問題に対処するためにあなたがしている(した)ことを教えてください。(〇はいくつでも)

依存症の問題に対処していることとしては、「自らの意思で依存をやめる」が 39.2%と最も高く、次いで、「別の趣味を見つける」が 30.8%となっている。



依存症の問題に対処していることを年代別にみると、20代と40代以上の各年代で「自らの意思で依存をやめる」が最も高くなっている。また、20歳未満と30代では「別の趣味を見つける」が最も高くなっている。

(%)

	n=	インターネットなどを通じた情報収集	知人・友人への相談	家族と話し合う	別の趣味を見つける	自らの意思で依存をやめる	相談機関への相談	医療機関での治療	自助グループへの参加	回復支援（中間）施設の利用	対処したいがどうすればよいかわからない	対処する必要はない	その他	無回答
全体	170	24.3	11.3	21.5	30.8	39.2	6.1	17.4	2.4	2.2	11.5	9.8	9.5	2.5
20歳未満	9	24.2	0.0	12.1	51.7	12.1	0.0	12.1	0.0	0.0	0.0	12.1	12.1	0.0
20～29歳	28	46.0	13.5	21.6	40.5	51.2	0.0	24.4	0.0	8.1	19.0	16.1	8.1	5.5
30～39歳	24	21.8	10.9	26.8	39.6	31.7	16.8	15.9	0.0	0.0	5.9	0.0	10.9	0.0
40～49歳	31	34.2	20.9	15.8	26.7	34.9	0.0	20.9	0.0	0.0	15.8	13.0	13.7	0.0
50～59歳	38	16.6	10.1	26.7	30.1	37.7	7.7	13.2	6.7	0.0	12.3	8.9	2.2	0.0
60～69歳	17	14.0	14.0	19.3	28.5	57.5	14.0	14.5	4.8	4.8	9.2	14.0	14.5	0.0
70～79歳	12	6.2	0.0	23.0	10.6	44.3	0.0	16.0	5.3	5.3	6.2	10.6	10.6	6.2
80歳以上	11	9.1	0.0	18.3	9.1	30.3	9.1	18.3	0.0	0.0	9.1	0.0	12.0	18.0

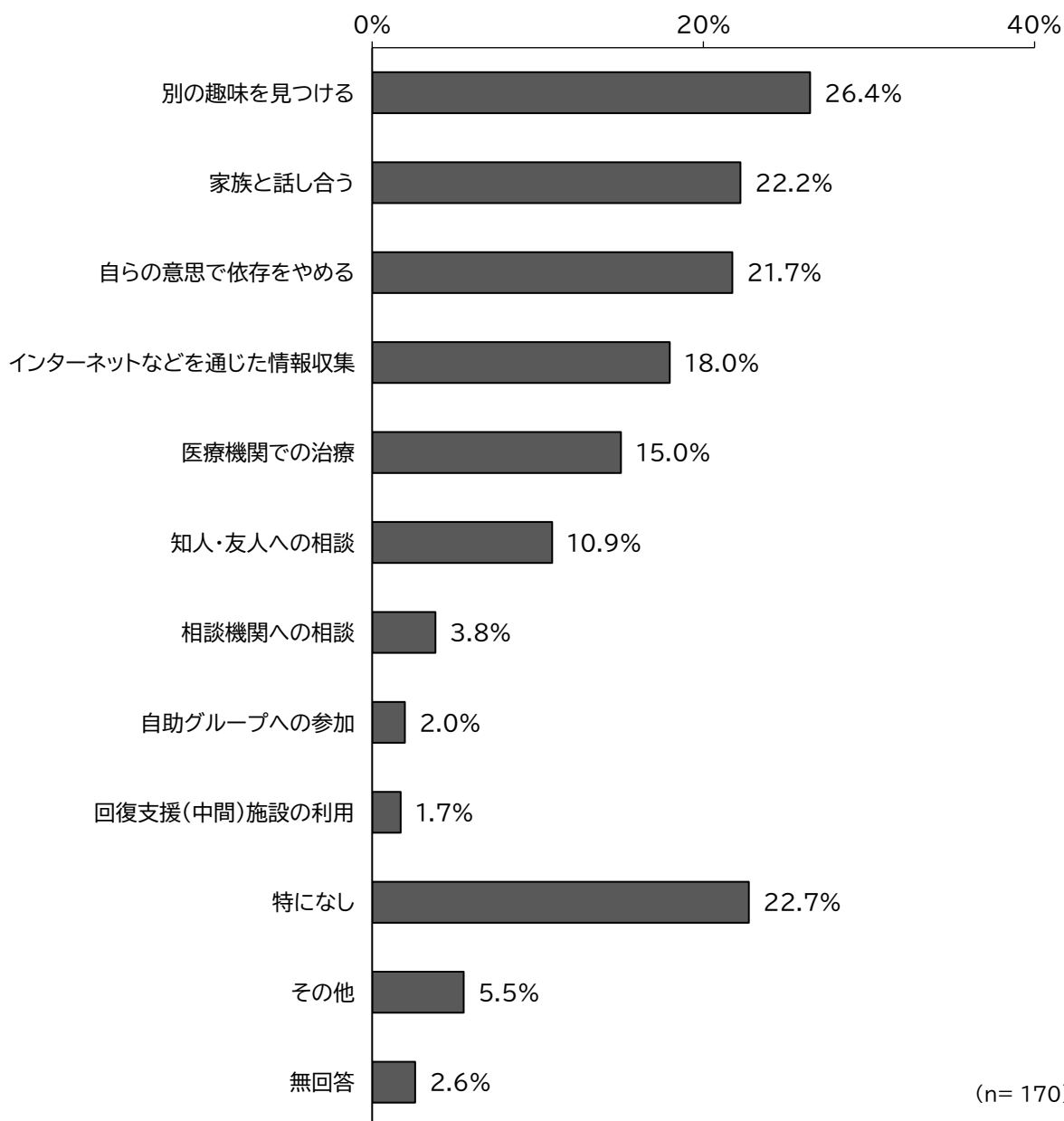
<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(5) 依存症の対処でよかったこと

【問 13 で 1～4 を選んだ方に質問します】

問 17 依存症の問題に対処するためにあなたがしたことのうち、特にしてよかったと思うことを教えてください。(〇は 3 つまで)

依存症の問題の対処で特にしてよかったこととしては、「別の趣味を見つける」が 26.4%と最も高く、次いで「家族と話し合う」が 22.2%となっている。



依存症の問題の対処で特にしてよかったことを年代別にみると、50 代以上の各年代で「自らの意思で依存をやめる」が最も高くなっている。

		(%)											
	n=	インターネット 情報収集などを通じた	知人・友人への相談	家族と話し合う	別の趣味を見つける	自らの意思で依存をやめる	相談機関への相談	医療機関での治療	自助グループへの参加	回復支援（中間）施設の利用	特になし	その他	無回答
全体	170	18.0	10.9	22.2	26.4	21.7	3.8	15.0	2.0	1.7	22.7	5.5	2.6
20歳未満	9	24.2	0.0	25.3	38.5	13.2	0.0	12.1	0.0	0.0	36.2	0.0	0.0
20～29歳	28	37.7	21.6	16.1	29.6	13.5	0.0	19.0	0.0	0.0	24.4	8.1	5.5
30～39歳	24	5.9	0.0	15.9	38.6	16.8	10.9	15.9	0.0	5.9	22.8	5.0	0.0
40～49歳	31	28.8	20.9	28.8	21.2	5.5	0.0	15.4	0.0	0.0	26.4	2.7	0.0
50～59歳	38	8.9	3.4	23.3	26.7	32.2	4.3	13.2	6.7	0.0	24.5	2.2	0.0
60～69歳	17	14.0	14.0	14.0	19.3	29.0	9.2	9.7	4.8	4.8	18.8	19.3	4.8
70～79歳	12	6.2	10.6	33.6	16.0	38.1	5.3	16.0	0.0	5.3	11.5	0.0	6.2
80歳以上	11	9.1	9.1	27.4	18.3	42.3	0.0	18.3	0.0	0.0	9.1	9.1	12.0

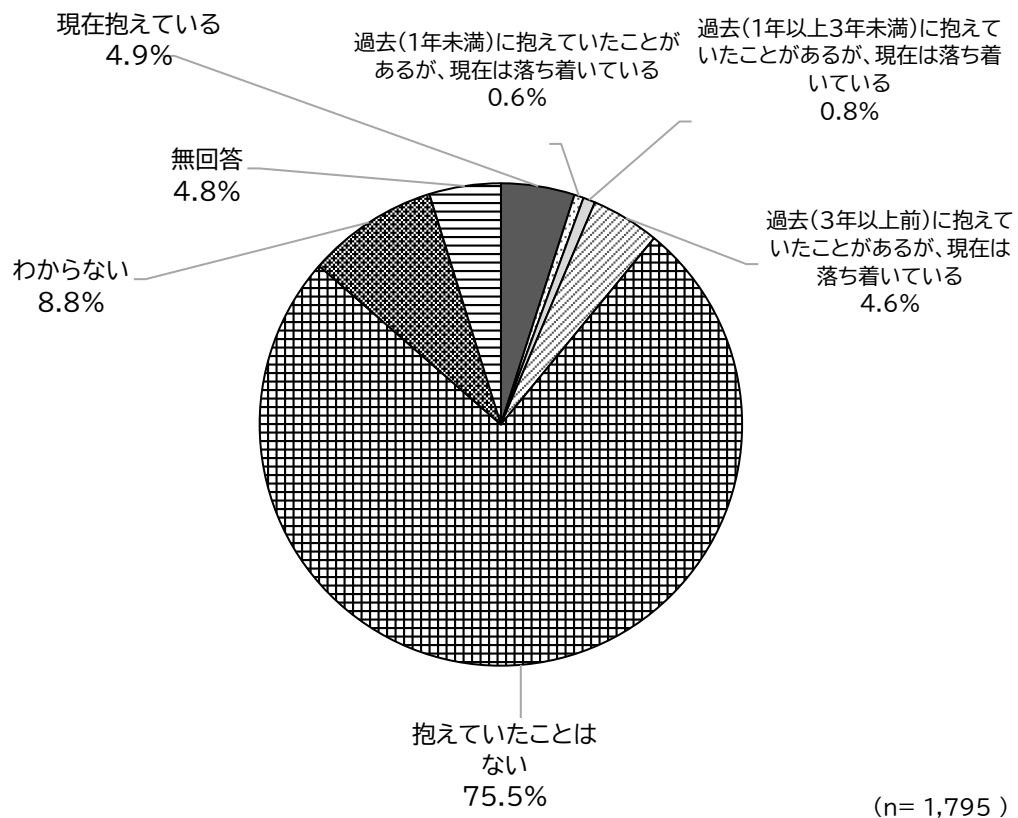
<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

4. 家族の依存症の問題について

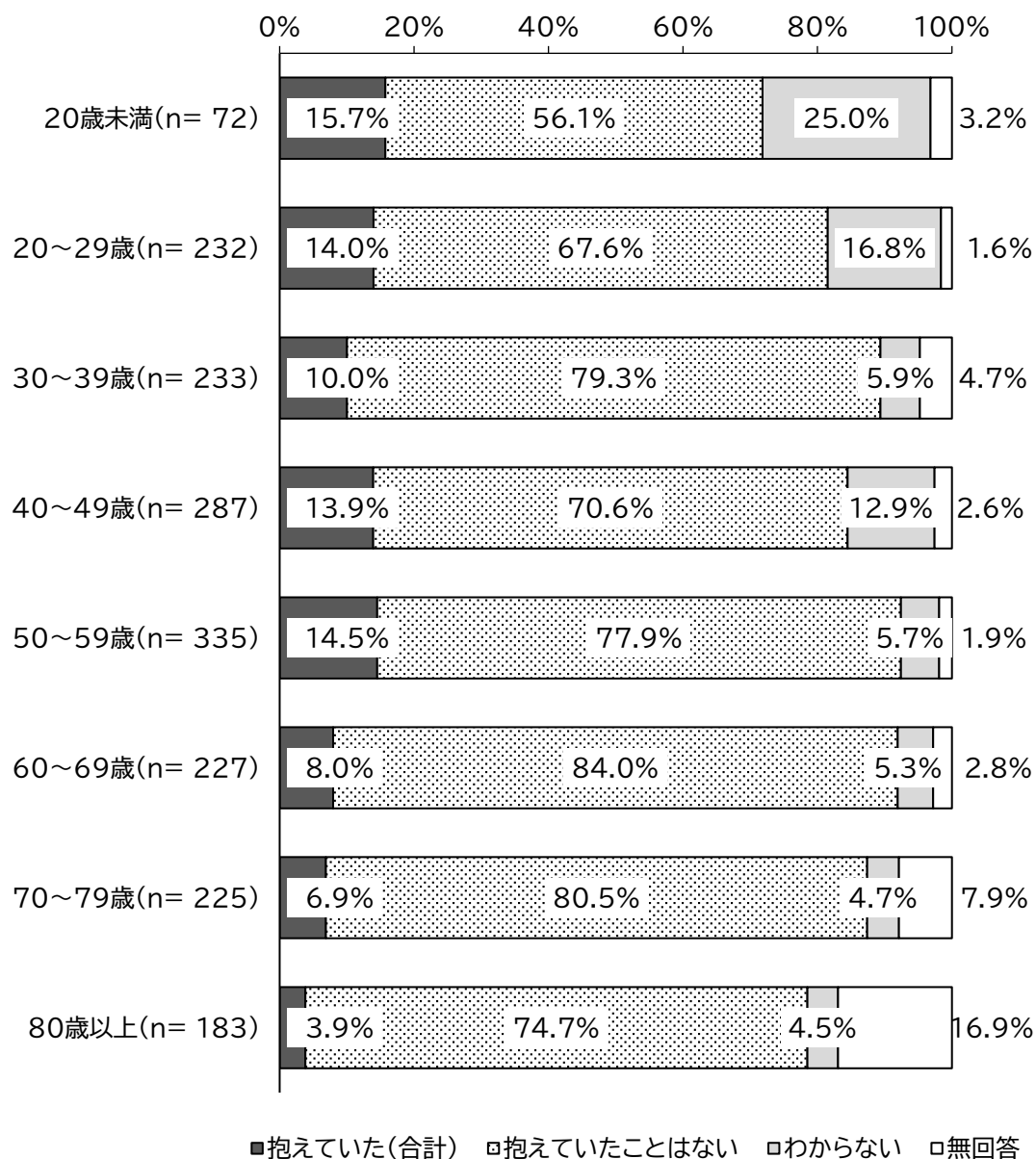
(1) 家族の依存症の問題

問 18 あなたの家族が依存症の問題を抱えていたことはありますか。(診断の有無は問いません。)
(○は1つだけ)

家族が依存症の問題を抱えていたかどうかについては、「抱えていたことはない」が 75.5%となっている。一方、現在または過去に抱えていたを合わせると 10.9%となっている。



家族が依存症の問題を抱えていたかどうかを年代別にみると、「抱えていた(合計)」が、20 代以下および40代50代の各年代で、全体の10.9%より高くなっている。特に20歳未満では15.7%と各年代の中で最も高くなっている。



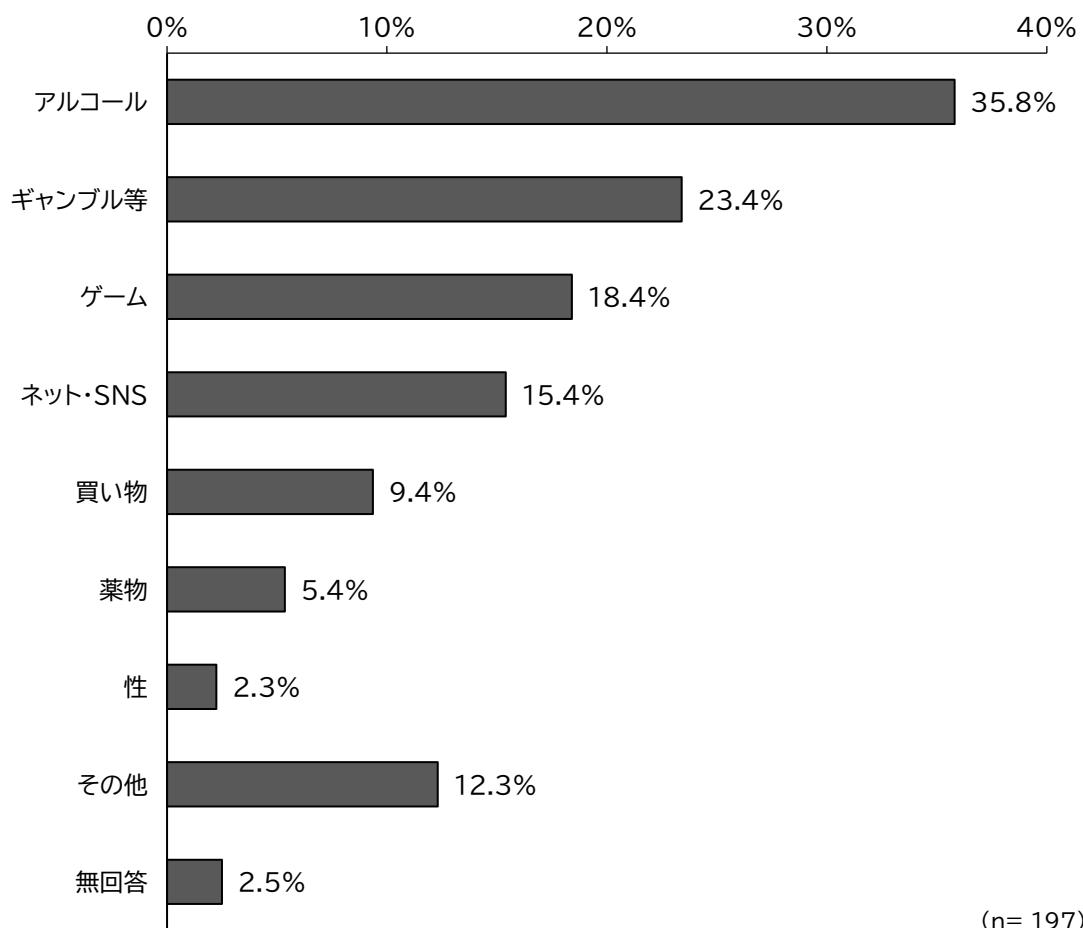
<注釈>・「抱えていた(合計)」とは、「現在抱えている」、「過去(1年未満)に抱えていたことがあるが、現在は落ち着いている」、「過去(1年以上～3年未満)に抱えていたことがあるが、現在は落ち着いている」および「過去(3年以上前)に抱えていたことがあるが、現在は落ち着いている」の合計

(2) 家族の依存対象

【問 18 で 1～4 を選んだ方に質問します】

問 19 問題を抱えている依存対象を教えてください。(〇はいくつでも)

家族が問題を抱えている依存対象としては、「アルコール」が 35.8%と最も高く、次いで「ギャンブル等」が 23.4%となっている。



その他回答	
たばこ・喫煙	9件
食べ物・間食	3件

家族が問題を抱えている依存対象を年代別にみると、40代以下の各年代および80歳以上で「アルコール」が最も高くなっている。また60代と70代でも「アルコール」は2番目に高くなっている。

(%)

	n=	アルコール	薬物	ギャンブル等	ゲーム	ネット・SNS	買い物	性	その他	無回答
全体	197	35.8	5.4	23.4	18.4	15.4	9.4	2.3	12.3	2.5
20歳未満	11	41.3	0.0	9.6	28.9	0.0	10.5	0.0	20.2	0.0
20～29歳	32	44.2	6.9	18.7	28.0	14.0	9.3	4.7	16.2	6.9
30～39歳	23	34.0	11.3	33.0	5.2	17.5	6.2	6.2	15.5	0.0
40～49歳	40	37.8	6.2	16.6	12.6	12.3	6.4	0.0	10.2	0.0
50～59歳	49	28.5	5.0	30.4	20.4	23.0	14.5	1.7	7.6	2.6
60～69歳	18	26.6	0.0	17.0	26.6	30.3	8.3	0.0	12.9	0.0
70～79歳	16	26.6	4.9	32.2	18.2	0.0	4.2	4.2	18.9	9.1
80歳以上	7	77.4	0.0	22.6	0.0	0.0	13.7	0.0	0.0	0.0

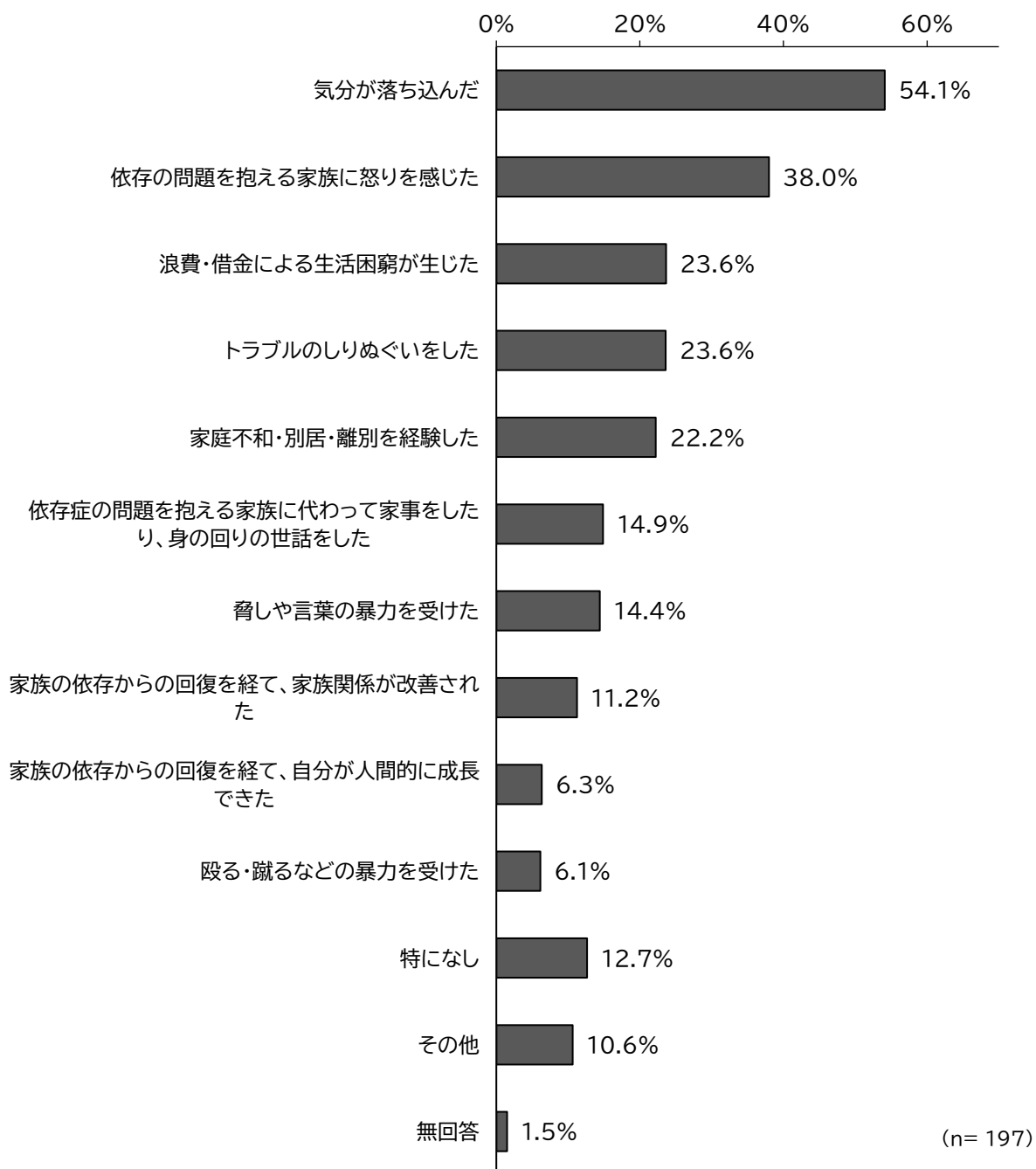
<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(3) 家族の依存症で受けた影響

【問 18 で 1～4 を選んだ方に質問します】

問 20 家族の依存症によりあなた自身が影響を受けたことについて教えてください。(〇はいくつでも)

家族の依存症により受けた影響としては、「気分が落ち込んだ」が 54.1%と最も高く、次いで「依存の問題を抱える家族に怒りを感じた」が 38.0%となっている。



家族の依存症により受けた影響を年代別にみると、全ての年代で「気分が落ち込んだ」が最も高くなっている。また、30代では「家庭不和・別居・離別を経験した」も最も高くなっている。

(%)

	n=	気分が落ち込んだ	た依存の問題を抱える家族に怒りを感じ	浪費・借金による生活困窮が生じた	トラブルのしりぬぐいをした	依存症の問題を抱える家族に代わって家事をしたり、身の回りの世話をした	脅しや言葉の暴力を受けた	殴る・蹴るなどの暴力を受けた	家庭不和・別居・離別を経験した	家族の依存からの回復を経て、家族関係が改善された	家族の依存からの回復を経て、自分が人間的に成長できた	特になし	その他	無回答
全体	197	54.1	38.0	23.6	23.6	14.9	14.4	6.1	22.2	11.2	6.3	12.7	10.6	1.5
20歳未満	11	60.5	20.2	0.0	20.2	19.3	21.1	0.0	20.2	0.0	9.6	19.3	10.5	0.0
20～29歳	32	48.9	44.2	25.6	20.9	11.6	25.6	11.6	25.6	14.0	4.7	0.0	25.6	6.9
30～39歳	23	48.5	47.5	37.1	37.1	27.8	11.3	10.3	48.5	15.5	5.2	6.2	11.3	0.0
40～49歳	40	52.8	31.9	16.6	8.6	6.2	12.9	2.1	10.5	14.7	4.3	18.5	10.5	0.0
50～59歳	49	56.5	44.0	32.1	36.3	20.4	10.0	6.7	27.8	6.7	5.0	16.4	0.0	0.0
60～69歳	18	55.5	47.3	21.6	17.0	12.9	8.7	4.6	12.9	13.3	17.0	17.4	21.1	0.0
70～79歳	16	46.1	14.6	4.9	22.4	13.3	9.8	0.0	4.9	9.1	9.1	17.5	4.9	4.9
80歳以上	7	91.0	27.4	36.3	13.7	0.0	27.4	13.7	13.7	13.7	0.0	0.0	0.0	0.0

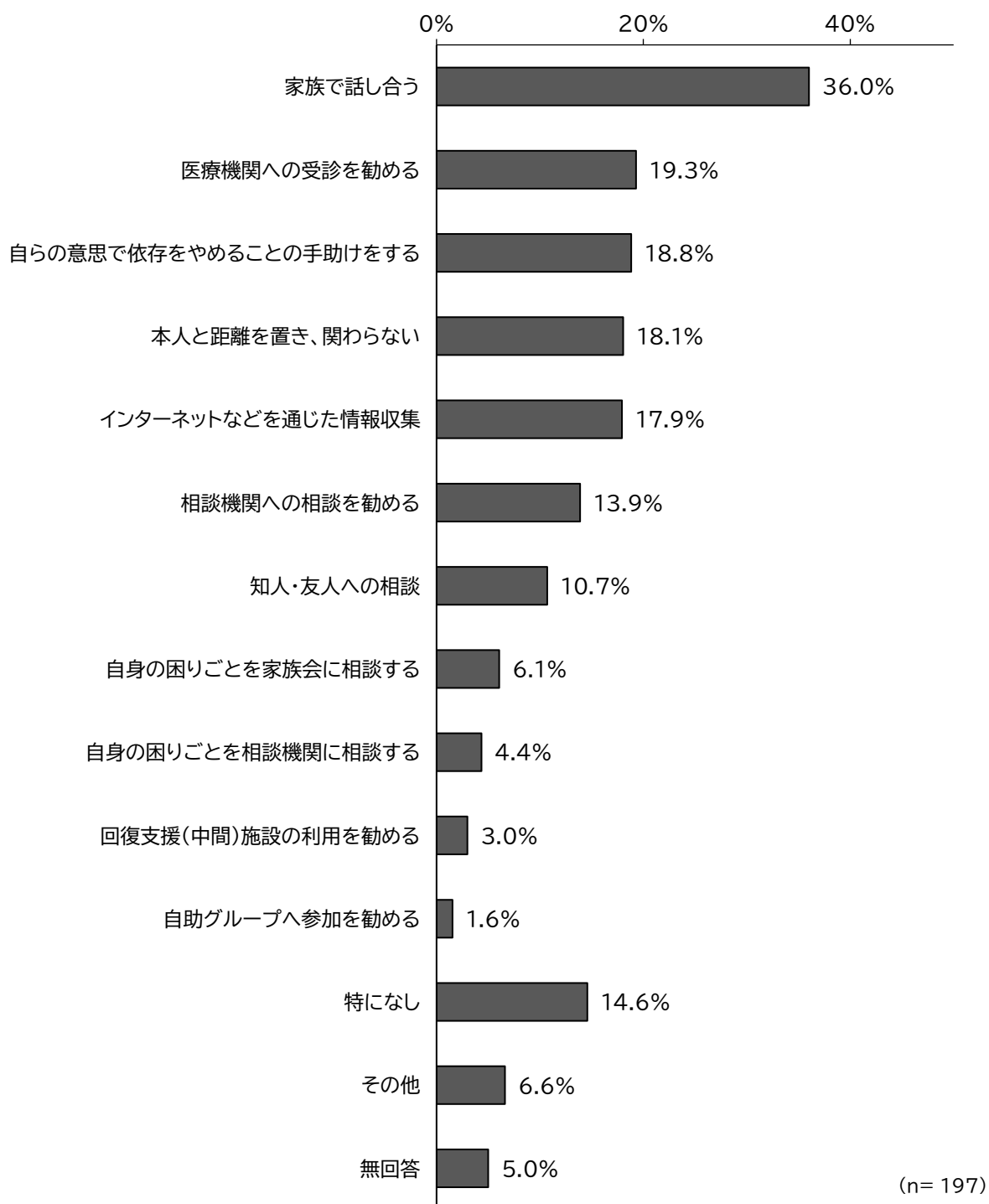
<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(4) 家族の依存症の対処

【問 18 で 1～4 を選んだ方に質問します】

問 21 家族の依存症の問題に対処するため、して(した方が)よかったと思うことを教えてください。
(〇は3つまで)

家族の依存症の問題の対処でよかったこととしては、「家族で話し合う」が 36.0%と最も高く、次いで「医療機関への受診を勧める」が 19.3%となっている。



家族の依存症の問題の対処でよかったことを年代別にみると、20 歳未満および 40代から70代の各年代で、「家族で話し合う」が最も高くなっている。また、20 代と 30 代でも「家族で話し合う」は2番目に高くなっている。

(%)

		インターネットなどを通じた情報収集	知人・友人への相談	家族で話し合う	自らの意思で依存をやめることの手助けをする	本人と距離を置き、関わらない	相談機関への相談を勧める	医療機関への受診を勧める	自助グループへ参加を勧める	回復支援（中間）施設の利用を勧める	自身の困りごとを相談機関に相談する	自身の困りごとを家族会に相談する	特になし	その他	無回答
	n=														
全体	197	17.9	10.7	36.0	18.8	18.1	13.9	19.3	1.6	3.0	4.4	6.1	14.6	6.6	5.0
20歳未満	11	10.5	0.0	50.0	49.1	30.7	0.0	29.8	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	9.6	0.0
20～29歳	32	14.0	9.3	23.3	4.7	23.3	16.2	30.2	0.0	0.0	0.0	9.3	14.0	4.7	13.8
30～39歳	23	5.2	5.2	20.6	10.3	38.2	10.3	5.2	0.0	0.0	11.3	15.5	23.7	0.0	6.2
40～49歳	40	35.4	18.8	41.6	29.0	12.6	14.7	6.4	0.0	4.3	2.1	4.3	16.6	12.3	0.0
50～59歳	49	19.5	5.0	46.8	16.1	8.3	16.1	23.8	0.0	2.6	5.9	3.3	16.9	1.7	1.7
60～69歳	18	17.4	17.0	25.7	22.0	17.0	17.4	13.3	9.2	4.6	4.1	0.0	4.6	21.6	13.3
70～79歳	16	9.8	18.2	49.7	14.0	9.1	4.9	22.4	4.9	13.3	9.1	4.9	8.4	4.9	4.9
80歳以上	7	0.0	13.7	13.7	27.4	27.4	27.4	50.0	9.0	0.0	0.0	0.0	22.6	0.0	0.0

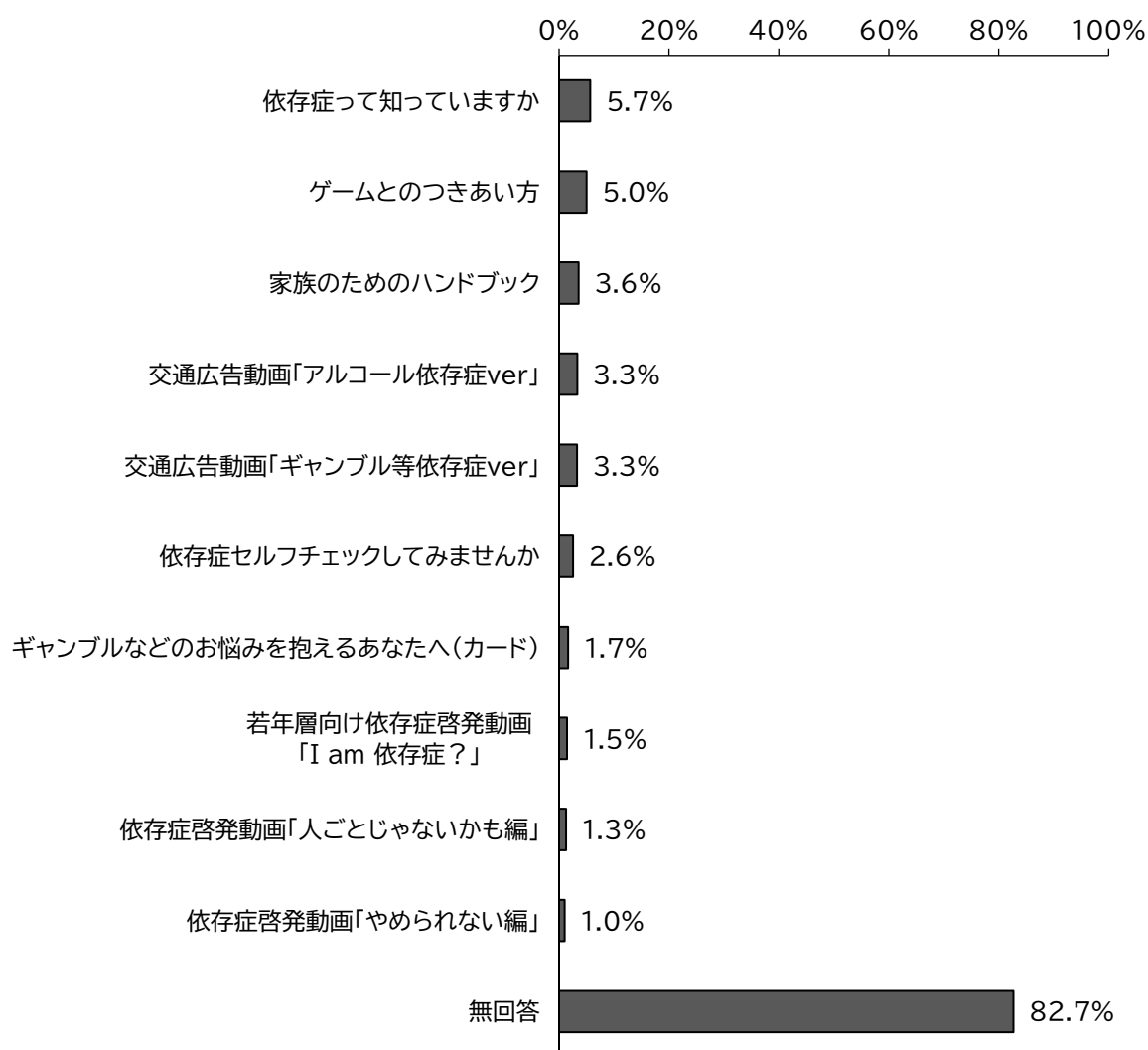
<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

5. 横浜市の依存症対策について

(1) 横浜市の依存症に関する普及啓発について

問 22 横浜市の依存症に関する普及啓発であなたが見たことがあるものがあれば教えてください。
(〇はいくつでも)

横浜市の依存症に関する普及啓発で見たことがあるものとしては、「依存症って知っていますか」が 5.7%と最も高く、次いで「ゲームとのつきあい方」が 5.0%となっている。一方、無回答は 82.7%となっている。



(n = 1,795)

横浜市の依存症に関する普及啓発で見たことがあるものを年代別にみると、いずれかの普及啓発を見た割合は、20 歳未満が最も高くなっている。

(%)

	n=	「若年層向け依存症啓発動画」	依存症啓発動画「やめられない編」	編入依存症啓発動画「人ごとじゃないかも」	交通広告動画「アルコール依存症」	交通広告動画「ギャンブル等依存症」	ギャンブルなどのお悩みを抱えるあなたへ(カード)	依存症セルフチェックしてみませんか	ゲームとのつきあい方	依存症って知っていますか	家族のためのハンドブック	無回答
全体	1795	1.5	1.0	1.3	3.3	3.3	1.7	2.6	5.0	5.7	3.6	82.7
20歳未満	72	8.0	4.8	1.7	6.5	4.8	1.7	6.2	11.3	9.7	9.7	63.3
20～29歳	232	2.3	1.9	1.6	2.6	3.5	2.0	4.8	2.9	3.6	1.6	85.4
30～39歳	233	1.2	1.8	3.9	2.9	2.9	0.6	1.8	5.5	3.4	3.9	84.9
40～49歳	287	1.7	0.0	0.0	4.7	4.3	2.0	2.3	10.9	7.0	4.3	75.9
50～59歳	335	0.9	0.5	0.5	3.2	2.7	1.5	1.8	5.6	4.8	2.3	83.9
60～69歳	227	0.4	1.1	1.8	3.8	5.9	1.8	3.1	4.1	9.4	6.2	80.6
70～79歳	225	1.0	0.3	0.3	2.8	1.8	1.8	0.9	0.6	6.5	3.1	88.6
80歳以上	183	0.9	0.9	1.4	2.1	1.0	2.3	2.3	0.9	3.8	1.7	88.3

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

横浜市の依存症に関する普及啓発で見たことがあるものを、多くの人は依存症の人のことを意志が弱いと思う(2. 依存症に対する知識や考え、意識に関して(2)の⑨)かの回答別にみると、「そう思わない」「あまりそう思わない」および「ややそう思う」で「ゲームとのつきあい方」が最も高く、次いで「依存症って知っていますか」となっている。また、「そう思う」では、「依存症って知っていますか」が最も高く、次いで「家族のためのハンドブック」となっている。

												(%)
	n=	「若年層向け依存症啓発動画」	依存症啓発動画「やめられない編」	編「依存症啓発動画「人ごとじゃないかも」	交通広告動画「アルコール依存症」	交通広告動画「ギャンブル等依存症」	ギャンブルなどのお悩みを抱えるあなたへ(カード)	依存症セルフチェックしてみませんか	ゲームとのつきあい方	依存症って知っていますか	家族のためのハンドブック	無回答
そう思わない	138	0.7	0.6	2.6	1.7	1.1	4.8	1.9	8.8	7.2	4.5	78.1
あまりそう思わない	376	1.4	0.5	0.6	3.8	4.5	1.3	1.1	6.3	4.9	4.1	82.7
ややそう思う	896	2.0	1.6	1.7	3.7	3.5	1.6	2.9	5.0	4.8	3.2	83.1
そう思う	328	0.7	0.3	0.5	3.1	2.9	1.3	3.8	2.8	8.7	4.0	81.8

<注釈>・回答毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

横浜市の依存症に関する普及啓発で見たことがあるものを、日常生活の不満・悩み・ストレスを解消するために頼ったもの(1. 悩みやストレスに関して(2)①から⑩)の回答別にみると、「公営競技」「違法薬物」に頼ったことがあると回答した人の「依存症セルフチェックしてみませんか」を見た割合が高くなっている。

														(%)
				「若年層向け依存症啓発動画 「I am 依存症？」」	依存症啓発動画「やめられない編」	編 依存症啓発動画「人ごとじゃないかも」	交通広告動画「アルコール依存症 ver」	交通広告動画「ギャンブル等依存症 ver」	ギャンブルなどのお悩みを抱えるあなた へ(カード)	依存症セルフチェックしてみませんか	ゲームとのつきあい方	依存症って知っていますか	家族のためのハンドブック	無回答
		n=												
①アルコール	決していない	943	1.8	1.0	0.9	3.9	3.5	1.4	2.3	5.0	5.0	3.6	83.0	
	ほとんどない	429	0.9	1.4	1.2	4.0	3.6	1.3	1.9	5.0	7.1	3.2	82.4	
	ある(合計)	398	1.2	0.8	2.3	1.6	2.2	2.8	4.0	4.8	5.7	4.3	82.6	
②ゲーム	決していない	994	1.1	0.8	0.7	3.0	2.8	1.2	1.8	4.2	5.4	3.0	84.1	
	ほとんどない	388	1.3	0.3	2.0	3.0	4.1	2.6	4.0	5.2	6.7	4.2	80.3	
	ある(合計)	386	2.4	2.4	2.2	4.8	3.4	1.9	3.3	6.4	5.4	4.5	81.9	
③ネット・SNS	決していない	818	1.2	1.1	1.0	2.7	3.1	1.4	1.9	3.1	6.0	2.9	84.2	
	ほとんどない	371	1.1	0.5	1.5	3.9	3.6	2.3	2.8	6.6	5.2	3.8	82.0	
	ある(合計)	582	2.0	1.3	1.6	4.0	3.2	1.6	3.4	6.3	5.4	4.5	81.4	
④買い物	決していない	628	1.2	0.9	0.8	2.8	2.8	1.2	1.8	4.9	5.4	3.3	82.9	
	ほとんどない	522	1.5	1.1	1.1	3.9	3.4	1.8	2.6	4.7	5.9	3.0	84.0	
	ある(合計)	617	1.6	1.2	2.1	3.6	3.4	2.0	3.4	5.2	5.6	4.4	81.8	
⑤パチンコ・ス ロット	決していない	1612	1.4	0.9	1.4	3.2	2.7	1.6	2.5	5.1	5.4	3.7	82.9	
	ほとんどない	103	1.6	2.2	0.8	8.4	10.5	3.0	5.3	4.1	7.1	3.0	81.3	
	ある(合計)	54	2.2	2.2	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	8.4	1.6	83.3	
⑥公営競技(競 馬・競輪・競艇・ オートレース)	決していない	1637	1.5	1.0	1.3	3.2	2.9	1.5	2.4	4.9	5.3	3.6	83.2	
	ほとんどない	80	0.0	0.0	1.0	4.9	4.6	2.1	0.0	3.5	4.6	1.9	85.4	
	ある(合計)	50	0.0	4.5	2.9	4.5	10.4	4.5	12.2	7.4	17.7	6.1	70.0	
⑦市販薬・処方薬	決していない	1499	1.3	0.9	1.2	2.9	2.7	1.1	2.2	5.1	5.0	3.4	83.6	
	ほとんどない	147	2.2	2.4	1.4	4.1	5.0	4.2	4.3	5.4	10.2	4.2	79.0	
	ある(合計)	126	2.9	1.6	1.9	8.1	7.6	5.9	5.7	2.6	8.9	5.1	77.4	
⑧違法薬物	決していない	1740	1.5	1.1	1.3	3.4	3.1	1.6	2.5	4.9	5.5	3.6	83.1	
	ほとんどない	23	0.0	0.0	0.0	3.5	12.1	3.5	0.0	8.3	6.4	6.4	79.5	
	ある(合計)	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	23.6	0.0	32.0	
⑨性(セックス、風 俗通いなど)	決していない	1475	1.4	1.0	1.3	3.5	3.0	1.5	2.3	5.1	5.6	3.4	82.7	
	ほとんどない	190	1.7	0.0	0.4	2.4	4.5	2.5	4.1	3.7	4.8	3.8	83.0	
	ある(合計)	105	0.8	2.9	3.6	3.5	6.5	2.2	3.7	6.4	6.7	5.5	83.9	
⑩その他	決していない	1033	1.2	1.2	1.5	3.0	3.3	1.3	2.7	5.8	5.5	4.0	81.6	
	ほとんどない	52	0.0	0.0	0.0	1.6	1.4	1.5	1.6	1.4	10.5	7.1	83.8	
	ある(合計)	119	7.3	1.9	4.4	9.6	11.6	3.8	4.8	9.2	8.5	6.3	71.9	

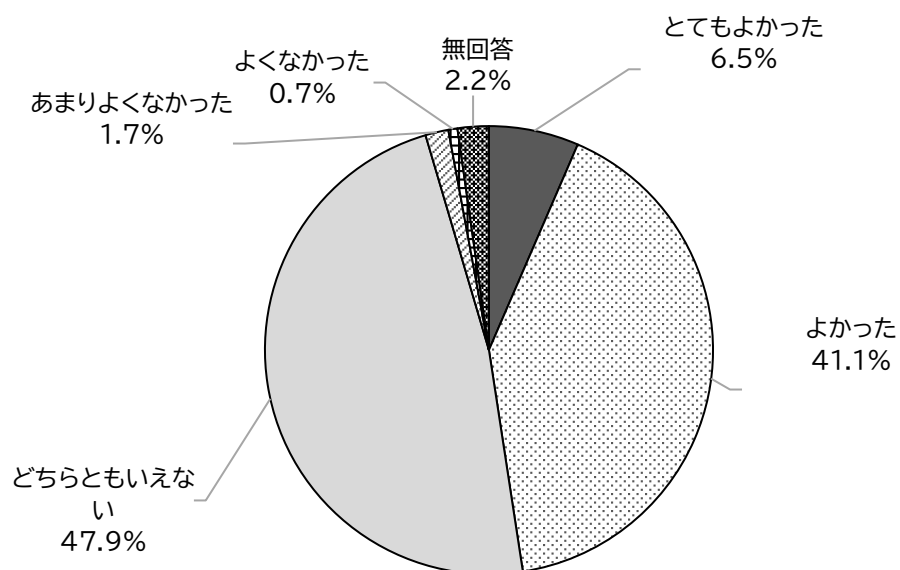
<注釈>・回答毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(2) 横浜市の依存症に関する普及啓発を見た感想

【問 22 でいずれかを選んだ方に質問します】

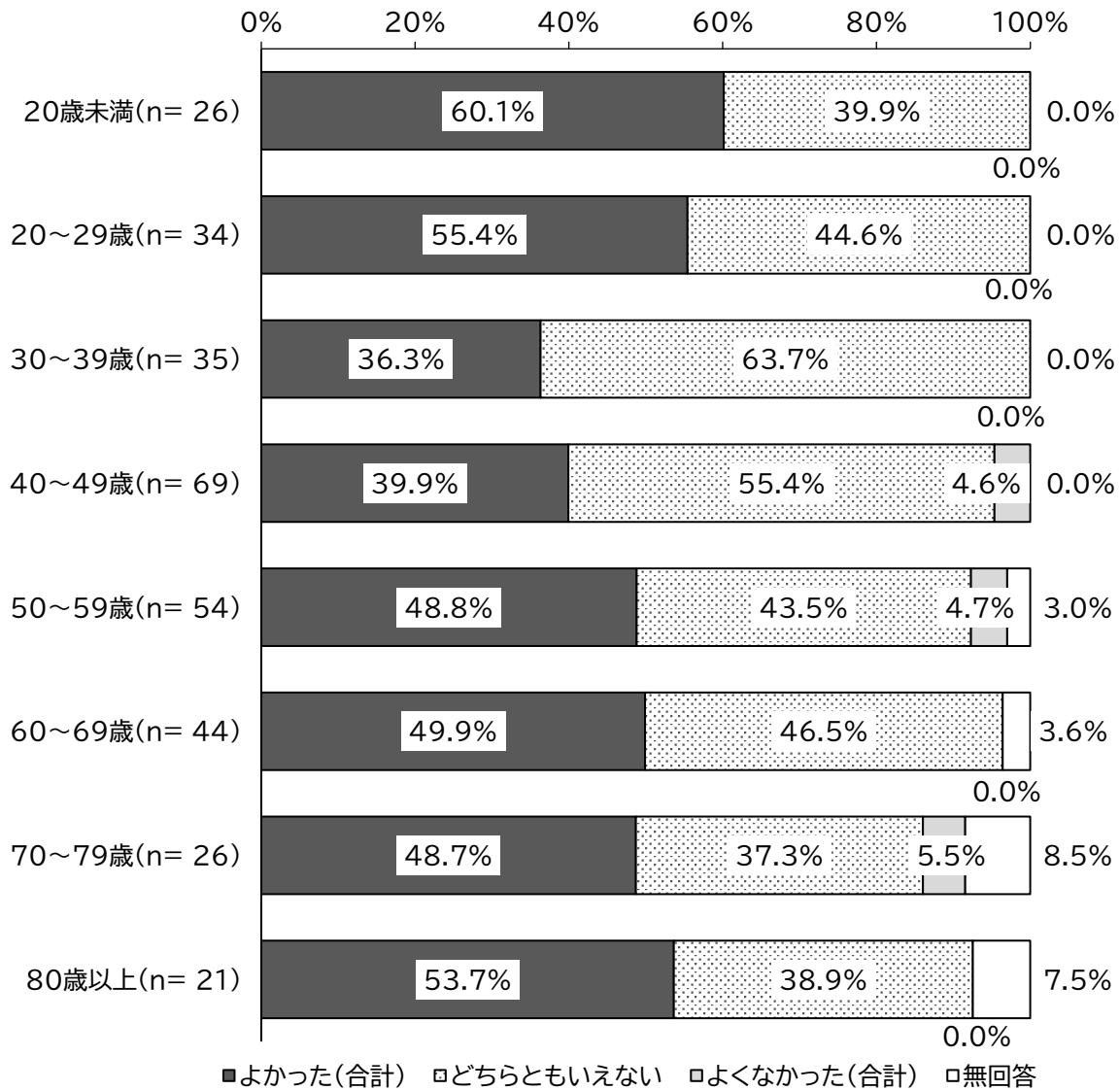
問 23 それを見てどう思いましたか。(○はひとつだけ)

横浜市の依存症に関する普及啓発をみてどう思ったかについては、「とてもよかった」「よかった」を合わせると 47.6%となっている。一方、「あまり良くなかった」「よくなかった」をあわせると 2.4%となっている。



(n= 310)

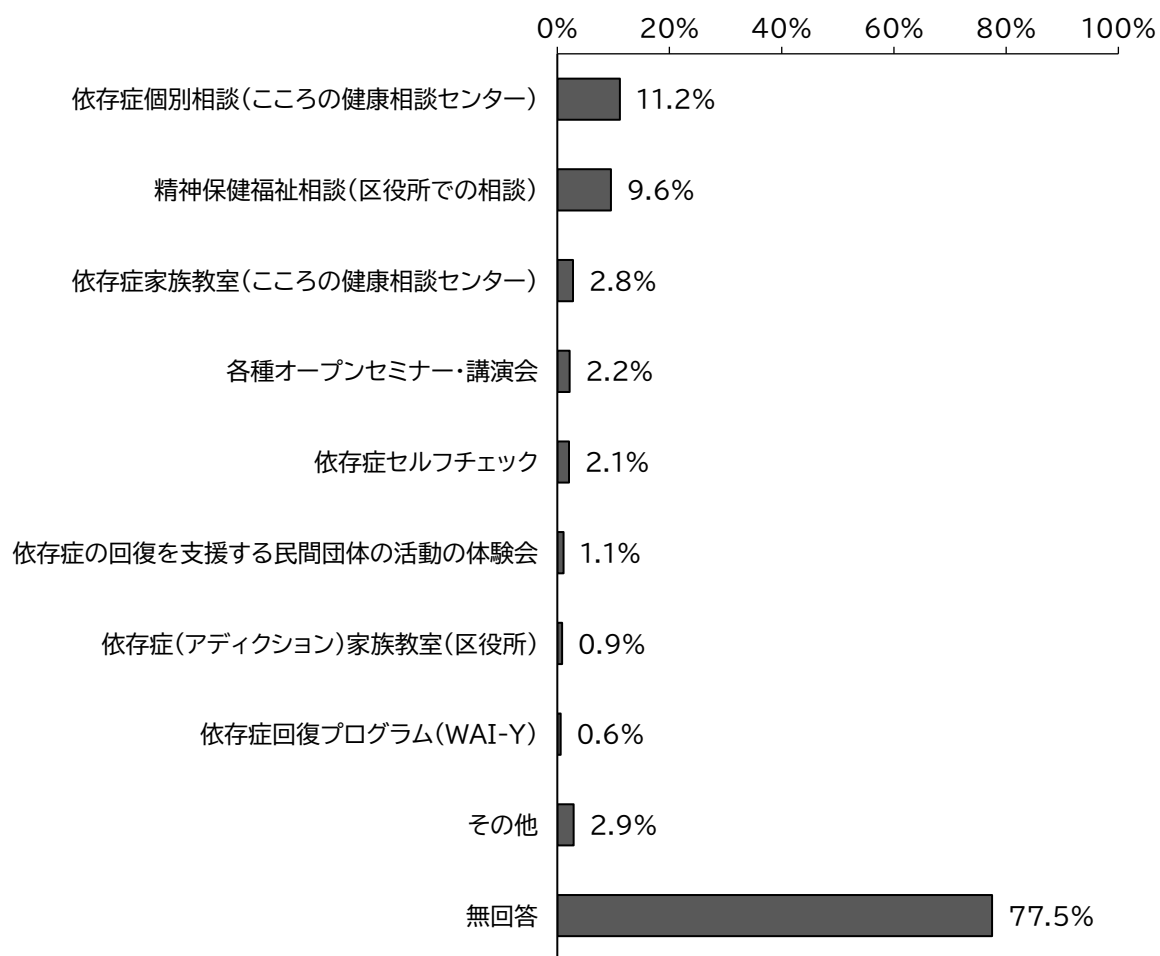
横浜市の依存症に関する普及啓発をみてどう思ったかを年代別にみると、「とてもよかった」「よかった」を合わせた「よかった(合計)」は、20歳未満が 60.1%と最も高くなっている。一方、「あまり良く
なかった」「よくなかった」を合わせた「よくなかった(合計)」は、70 代が 8.5%と最も高くなっている。



(3)横浜市の依存症対策事業について

問 24 横浜市の依存症対策事業についてあなたが知っているものを教えてください。(〇はいくつでも)

横浜市の依存症対策事業で知っているものとしては、「依存症個別相談(こころの健康相談センター)」が11.2%と最も高く、次いで「精神保健福祉相談(区役所での相談)」が9.6%となっている。



(n= 1,795)

横浜市の依存症対策事業で知っているものを年代別にみると、全ての年代で「依存症個別相談(こころの健康相談センター)」と「精神保健福祉相談(区役所での相談)」が、最も高い、または 2 番目に高くなっている。

(%)

	n=	依存症個別相談 (こころの健康相談セ ンター)	精神保健福祉相談 (区役所での相談)	依存症家族教室 (こころの健康相談セ ンター)	依存症(ア ディクシ ョン)家 族教室 (区役所)	依存症回復 プログラム (W A I - Y)	依存症セル フチェック	各種オー プンセミ ナー・講 演会	依存症の回 復を支援す る民間団 体の活 動の体験会	その他	無回 答
全体	1795	11.2	9.6	2.8	0.9	0.6	2.1	2.2	1.1	2.9	77.5
20歳未満	72	23.6	11.3	8.0	0.0	3.0	3.0	6.4	0.0	1.5	63.5
20～29歳	232	11.7	9.4	1.3	0.0	0.0	2.0	0.7	0.0	0.7	82.5
30～39歳	233	6.9	6.6	2.1	1.8	0.5	2.9	2.2	1.0	2.9	81.1
40～49歳	287	13.3	10.4	2.9	0.9	0.0	2.3	2.1	0.6	3.4	74.9
50～59歳	335	10.0	7.7	2.8	0.0	0.2	1.5	2.8	0.5	2.5	81.2
60～69歳	227	12.9	10.6	3.2	0.7	1.8	3.4	1.8	3.1	3.5	74.4
70～79歳	225	11.5	12.2	2.8	2.2	1.3	2.1	2.8	2.6	4.9	73.3
80歳以上	183	7.3	10.6	2.9	1.2	0.0	0.0	1.7	0.9	3.3	78.6

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

横浜市の依存症対策事業で知っているものを、悩んでいる(いた)依存対象(3. あなたの依存症の問題について(2)依存対象)別にみると、「薬物」では「依存症の回復を支援する民間団体の活動の体験会」が最も高くなっている。

(%)

	n=	依存症個別相談 (こころの健康相談セ ンター)	精神保健福祉相談 (区役所での相談)	依存症家族教室 (こころの健康相談セ ンター)	依存症(ア ディクシ ョン)家 族教室 (区役所)	依存症回復 プログラム (W A I - Y)	依存症セル フチェック	各種オ ープンセ ミナー・ 講演会	依存症の 回復を 支援する 民間団 体の活 動の体 験会	その他	無 回 答
アルコール	38	7.1	9.3	5.5	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	10.8	78.4
薬物	7	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	74.6
ギャンブル等	48	11.7	9.9	1.9	0.0	0.0	1.3	2.3	5.8	8.5	69.1
ゲーム	30	22.1	17.3	2.6	0.0	0.0	0.0	8.8	3.9	8.5	62.4
ネット・SNS	21	17.5	12.2	6.6	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	76.2
買い物	26	13.0	27.5	5.4	5.7	0.0	3.2	10.3	4.6	4.8	55.7
性	13	0.0	10.6	0.0	0.0	0.0	10.6	10.6	0.0	0.0	89.4
その他	41	14.3	23.9	7.2	0.0	0.0	8.6	6.8	0.0	3.0	64.1

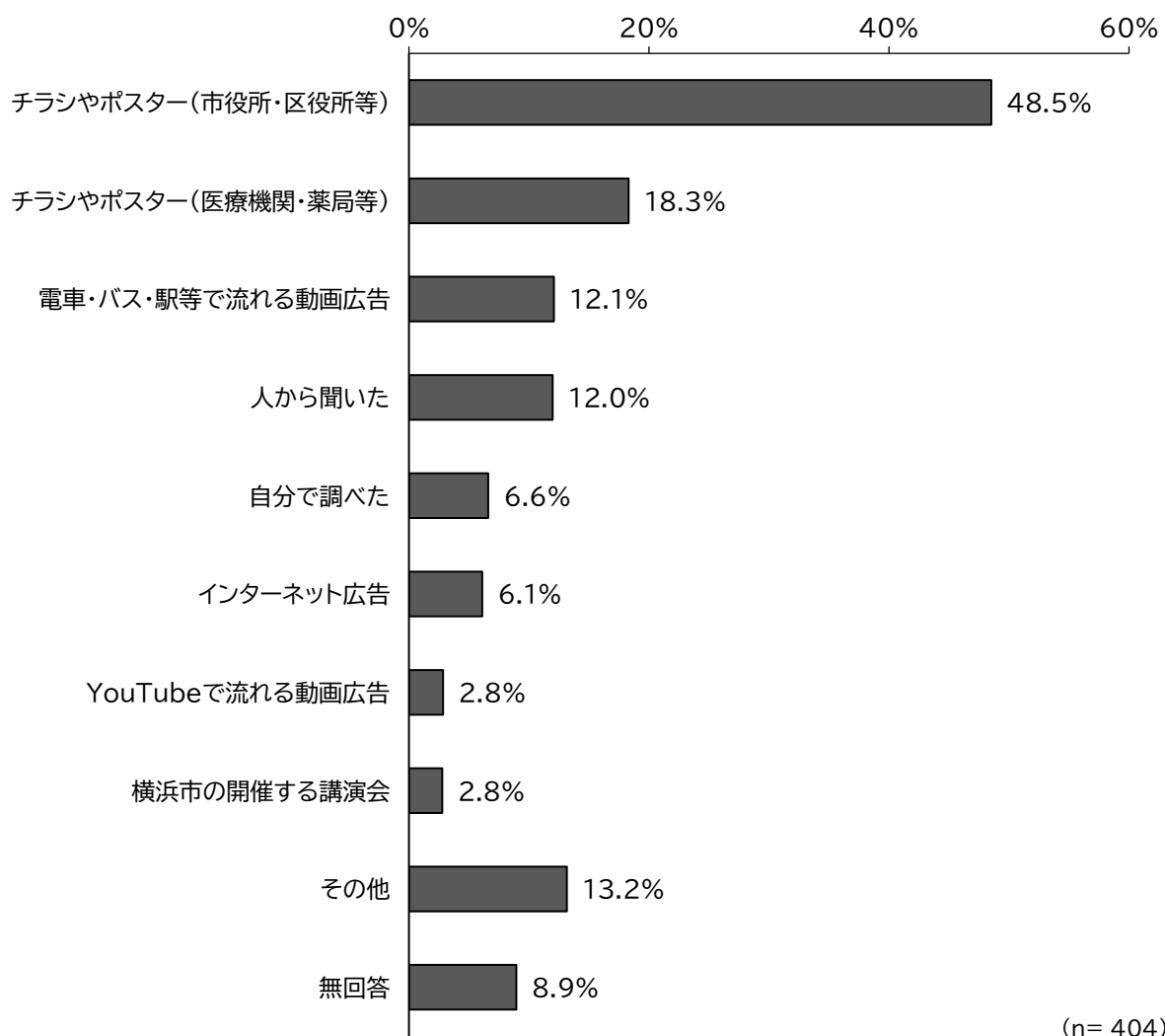
<注釈>・依存対象毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(4)横浜市の依存症対策事業を知った手段

【問 24 でいずれかを選んだ方に質問します】

問 25 あなたはどうやってそれを知りましたか。(〇はいくつでも)

横浜市の依存症対策事業をどうやって知ったかについては、「チラシやポスター(市役所・区役所等)」が 48.5%と最も高く、次いで「チラシやポスター(医療機関・薬局等)」が 18.3%となっている。



横浜市の依存症対策事業をどうやって知ったかを年代別にみると、「チラシやポスター（市役所・区役所等）」が20歳未満以外の各年代で最も高く、20歳未満でも「人から聞いた」の次に高くなっている。

(%)

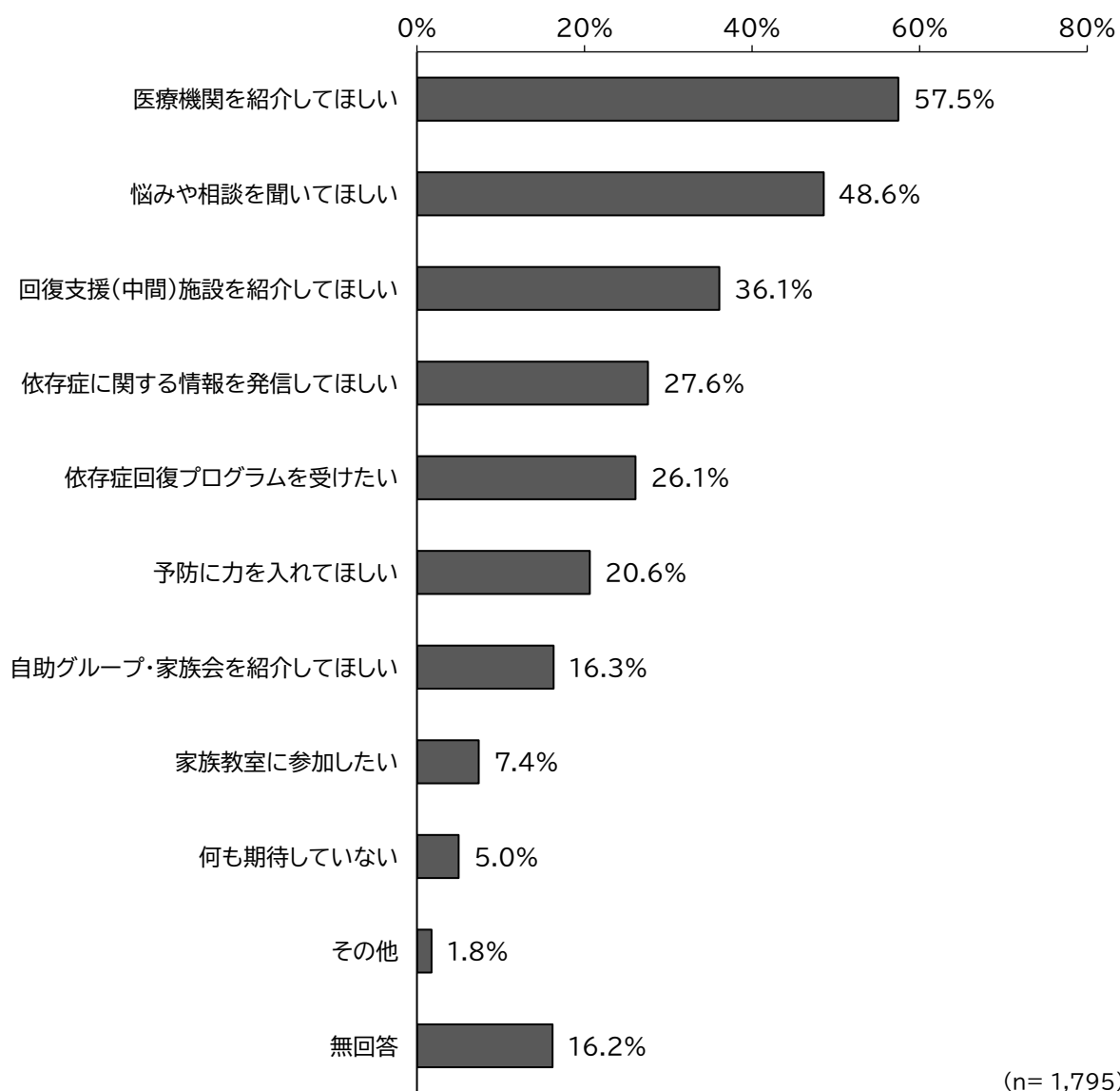
	n=	チラシやポスター （市役所・区役所等）	チラシやポスター （医療機関・薬局等）	電車・バス・駅等で流れる動画広告	Y o u T u b eで流れる動画広告	インターネット広告	横浜市の開催する講演会	自分で調べた	人から聞いた	その他	無回答
全体	404	48.5	18.3	12.1	2.8	6.1	2.8	6.6	12.0	13.2	8.9
20歳未満	26	25.8	9.1	8.7	4.5	8.7	4.5	0.0	26.1	34.8	4.2
20～29歳	41	49.9	16.7	27.7	5.5	13.0	0.0	7.5	3.7	3.7	3.7
30～39歳	44	54.7	9.3	18.6	6.5	6.0	2.7	6.0	12.0	5.5	12.6
40～49歳	72	51.8	18.6	18.3	2.2	8.2	0.0	4.8	11.3	14.9	8.0
50～59歳	63	49.6	16.3	5.9	2.6	9.9	6.4	7.9	9.2	17.0	4.6
60～69歳	58	50.8	25.9	8.0	0.0	2.7	4.3	12.2	9.4	12.4	8.2
70～79歳	60	50.3	20.5	5.4	2.2	1.3	3.8	6.5	11.6	12.1	11.4
80歳以上	39	41.4	24.3	5.7	1.6	0.0	0.0	4.1	21.2	10.5	19.6

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

(5)行政(横浜市)への期待

問 26 あなたやあなたの家族が依存の問題を抱えていた場合、行政(横浜市)にどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

行政(横浜市)に期待することとしては、「医療機関を紹介してほしい」が 57.5%と最も高く、次いで「悩みや相談を聞いてほしい」が 48.6%となっている。



行政(横浜市)に期待することを年代別にみると、すべての年代で「医療機関を紹介してほしい」と「悩みや相談を聞いてほしい」が、最も高い、または2番目に高くなっている。

												(%)
	n=	悩みや相談を聞いてほしい	医療機関を紹介してほしい	回復支援(中間)施設を紹介してほしい	自助グループ・家族会を紹介してほしい	家族教室に参加したい	依存症回復プログラムを受けたい	依存症に関する情報を発信してほしい	予防に力を入れてほしい	何も期待していない	その他	無回答
全体	1795	48.6	57.5	36.1	16.3	7.4	26.1	27.6	20.6	5.0	1.8	16.2
20歳未満	72	63.4	55.9	37.0	8.0	3.2	28.9	27.1	30.5	4.8	1.5	12.4
20～29歳	232	46.3	64.1	33.9	13.3	6.2	25.9	27.8	24.0	6.8	2.0	11.3
30～39歳	233	52.1	64.0	40.7	15.8	6.7	33.4	24.2	20.2	8.0	0.0	12.1
40～49歳	287	52.6	60.5	37.1	20.4	7.0	29.1	25.8	18.8	5.2	3.4	12.4
50～59歳	335	46.9	63.0	41.6	22.9	8.4	31.1	31.2	22.3	4.9	1.8	14.3
60～69歳	227	54.7	54.5	39.9	17.1	11.9	26.6	36.2	23.1	3.2	2.1	14.0
70～79歳	225	44.1	47.6	30.3	13.2	7.7	16.9	27.7	12.0	2.6	0.9	22.9
80歳以上	183	35.6	42.3	23.4	8.5	4.0	12.9	17.1	20.4	4.0	1.7	33.5

<注釈>・全体および年齢階級毎の上位3項目を、色の濃淡で示している。

Ⅲ 調査票

いぞんしょう かん しみん いしき ちようさ
依存症に関する市民意識調査
ちようさひよう
【調査票】

◆**本アンケート調査について**

- ・ご回答いただいた内容は、本アンケート調査の目的以外に使用することは一切ございません。
また、その内容によって個人を特定することもございません。

◆**ご回答にあたってのお願い**

- ・ご回答は、封筒の宛名ご本人にお願い申し上げます。
- ・ご回答が「その他」に当てはまる場合は、お手数ですが（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ・本アンケート調査は、Web上でのインターネット回答と、この調査票に直接記入する回答方法があります。

※Web上でのインターネット回答かこの調査票のどちらか一方でのみご回答ください。

郵送の手間のかからないインターネット回答を推奨します。

<Web上でのインターネット回答の場合>

右の二次元コードを読み取り、以下のログインID、PASSを入力し、
回答画面にアクセスしてください。

ID :

PASS :



回答用ページへの
二次元コード

※こちらのIDとPASSは回答画面にアクセスするためのものであり、個人を特定するものではありません。

<この調査票に直接記入する回答の場合>

調査票への記入は、黒または青のボールペン、万年筆、濃い鉛筆等をご使用ください。

調査にご協力いただきましたら、お手数ですが、

令和6年10月6日（日）までに

Web上でのインターネット回答 もしくは 同封の返信用封筒をご利用の上、
切手は貼らずにご投函ください。

◆**お問合せ先**

株式会社ジャンボ内 横浜市調査事務局（受託会社）（午前10時～午後5時30分、土日祝日を除く）
電話：0120-122-689、ファックス：045-912-2181

Email：survey-yokohama@jmba.jp

<担当部署>

横浜市健康福祉局精神保健福祉課 久保

電話：045-662-3554 ファックス：045-662-3525

I はじめに、あなたご自身のことについておうかがいします

問1 あなたの戸籍上の性別を教えてください。(○は1つだけ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つだけ)

1 16～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上

II 悩みやストレスに関しておたずねします

問3 過去30日間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。(それぞれに○は1つ)

	全 く な い	少 し だ け	と き ど き	た い て い	い つ も
a 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
b 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
c そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
d 気分が沈み、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
e 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
f 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問4 あなたは日常生活の不満・悩み・苦勞・ストレスを解消するために、次のもの(こと)に頼ったことはありますか。(それぞれに○は1つ)

	決 し て な い	ほ と ん ど な い	時 々 あ る	常 に あ る
a アルコール	1	2	3	4
b ゲーム	1	2	3	4
c ネット・SNS	1	2	3	4
d 買い物	1	2	3	4
e パチンコ・スロット	1	2	3	4
f 公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)	1	2	3	4
g 市販薬・処方薬	1	2	3	4
h 違法薬物	1	2	3	4
i 性(セックス、風俗通いなど)	1	2	3	4
j その他(具体的に:)	1	2	3	4

Ⅲ あなたの依存症に対する知識や考え、意識に関しておたずねします

問5 あなたが知っている依存症について教えてください。(〇はいくつでも)

1 アルコール	2 薬物
3 ギャンブル等	4 ゲーム
5 ネット・SNS	6 買い物
7 性	
8 その他 (具体的に_____)	

問6 あなたの周りの人が、依存症の人のことをどう思っているかについて、あなたの意見を教えてください。(それぞれに〇は1つ)

	そう 思わ ない	そう 思わ ない あ ま り	やや そう 思 う	そう 思 う
a 地域の多くの人は、他の誰かを扱うのとまったく同じように、 依存症の人を扱う	1	2	3	4
b 多くの若者は、依存症の若い男女とデートしたがる	1	2	3	4
c 多くの人は、たとえその人がかなり長い間良い状態を保って いても、依存症の人の子どもと、自分の子どもを遊ばせない	1	2	3	4
d 多くの人は、依存症の人と近所づきあいをしたいと思わない	1	2	3	4
e 多くの人は、依存症の人でも、今後幸せな生活を送ることができる と思う	1	2	3	4
f 多くの人は、依存症の人の気持ちを理解できる	1	2	3	4
g 多くの人は、依存症の人のことを自業自得だと思う	1	2	3	4
h 多くの人は、依存症の人の話に耳を傾ける	1	2	3	4
i 多くの人は、依存症の人のことを意志が弱いと思う	1	2	3	4

問7 飲酒に関する行動や状態のうち、あなたが依存症だと思うものを教えてください。(〇はいくつでも)

1	飲み会で飲みすぎてしまい翌日二日酔いになった
2	睡眠がよくとれないので毎晩寝る前にお酒を飲む
3	緊張しやすいので仕事のプレゼンなど重要な用事の前にはお酒を飲んでしまう習慣がある
4	周囲からお酒臭いと指摘されやめるように言われることがたびたび起きている
5	お酒を飲みすぎて仕事に行けない日が続く仕事解雇された
6	お酒がなくなると手の震えが出たり体調を崩してしまうためお酒を飲むことがやめられない
7	いずれについても依存症だと思わない

問8 薬物使用に関する行動や状態のうち、あなたが依存症だと思うものを教えてください。

(○はいくつでも)

1	医者から処方される薬や市販薬を用法どおりに長年服用している
2	指定された量や回数以上に薬を服用することがある
3	指定された量以上に薬を服用するため複数の薬局や病院を回るなどして入手する
4	気分を薬にしたりストレスを忘れるために処方薬や市販薬を使用する
5	薬を飲みすぎていることを周囲に指摘されるがやめることができない
6	薬が手元になくなることを考えると不安になる
7	違法薬物を使用し、やめることができない
8	いずれについても依存症だと思わない

問9 ギャンブル等に関する行動や状態のうち、あなたが依存症だと思うものを教えてください。

(○はいくつでも)

1	暇なときにギャンブル等をすることがある
2	ギャンブル等で予定以上の金額・時間を費やしてしまう
3	ギャンブル等を行うことについて周囲の人から批判されてもやめることができない
4	ギャンブル等により借金などの問題が起きている
5	ギャンブル等に関して「勝っている」「していない」などの嘘をつく
6	いずれについても依存症だと思わない

問10 もし、あなたの家族が依存症と疑われる場合、あなたはどのように行動しますか。(○はいくつでも)

1	インターネット・SNS で情報を調べる	2	話を聞く
3	依存をやめるよう説得する	4	依存症によるトラブル(借金、散らかしたものの後片付けなど)を肩代わりする
5	距離を置く	6	相談機関への相談を勧める
7	医療機関への受診を勧める	8	自助グループへの参加を勧める
9	回復支援(中間)施設(ダルクなど)の利用を勧める	10	わからない
11	その他 (具体的に_____)		

問11 もし、あなたやあなたの家族が依存症と疑われる場合、あなたが相談すると思う相談先(電話・メール等を含む)を教えてください。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1 こころの健康相談センター(精神保健福祉センター)の相談窓口 | 2 区役所(福祉保健センター)の相談窓口 |
| 3 医療機関(精神科・心療内科) | 4 医療機関(内科などの身体科) |
| 5 自助グループ | 6 家族会 |
| 7 回復支援(中間)施設 | 8 カウンセリング機関 |
| 9 わからない | |
| 10 その他(具体的に_____) | |

問12 あなたやあなたの家族の依存症の問題について問11の相談先へ相談することに対するイメージを教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 1 相談することで気分が楽になりそう | 2 相談することで問題が解決できる |
| 3 どのような対応をしてもらえるか不安・回復するイメージが持てない | 4 相談することで依存症だと認めることになってしまう |
| 5 相談することで周囲の人に知られてしまうのではないかと不安 | 6 相談すると逮捕されるのではないかと不安 |
| 7 相談先が信用できない | 8 わからない |
| 9 その他(具体的に_____) | |

IV あなたの依存症の問題についておたずねします

ここでいう依存症とは、「社会生活に支障をきたしているのに、特定のもの／行為をやめたくてもやめられない状態」をいいます。

問13 あなたは、依存症の問題で悩んでいたことはありますか。(診断の有無は問いません。)(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1 現在悩んでいる | 2 過去(1年未満)に悩んだことがあるが、現在は落ち着いている |
| 3 過去(1年以上～3年未満)に悩んだことがあるが、現在は落ち着いている | 4 過去(3年以上前)に悩んだことがあるが、現在は落ち着いている |
| 5 悩んでいたことはない | 6 わからない |

→ 問18へ

【問13で1～4を選んだ方に質問します】

問14 悩んでいる(いた)依存対象を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------|
| 1 アルコール | 2 薬物 |
| 3 ギャンブル等 | 4 ゲーム |
| 5 ネット・SNS | 6 買い物 |
| 7 性 | |
| 8 その他(具体的に_____) | |

問15 依存するに至った理由や要因を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1 家庭の問題(家族関係の不和、子育て、介護等) | 2 身体の問題(健康問題(身体の病気の悩み等) |
| 3 心の健康問題(心の不調等) | 4 経済的な問題(借金、家計の悩み等) |
| 5 仕事の問題(職場環境、ハラスメント) | 6 人間関係の問題(恋愛等) |
| 7 学校の問題(いじめ、成績、学校での人間関係等) | 8 自分の性格上の悩み |
| 9 虐待やトラウマ体験 | 10 孤独・社会的孤立 |
| 11 好奇心 | 12 わからない |
| 13 その他 (具体的に_____) | |

問16 依存症の問題に対処するためにあなたがしている(した)ことを教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 インターネットなどを通じた情報収集 | 2 知人・友人への相談 |
| 3 家族と話し合う | 4 別の趣味を見つける |
| 5 自らの意思で依存をやめる | 6 相談機関への相談 |
| 7 医療機関での治療 | 8 自助グループへの参加 |
| 9 回復支援(中間)施設の利用 | 10 対処したいがどうすればよいかわからない |
| 11 対処する必要はない | |
| 12 その他 (具体的に_____) | |

問17 依存症の問題に対処するためにあなたがしたことのうち、特にしてよかったと思うことを教えてください。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1 インターネットなどを通じた情報収集 | 2 知人・友人への相談 |
| 3 家族と話し合う | 4 別の趣味を見つける |
| 5 自らの意思で依存をやめる | 6 相談機関への相談 |
| 7 医療機関での治療 | 8 自助グループへの参加 |
| 9 回復支援(中間)施設の利用 | 10 特になし |
| 11 その他 (具体的に_____) | |

V あなたの家族の依存症の問題についておたずねします

問18 あなたの家族が依存症の問題を抱えていたことはありますか。(診断の有無は問いません。)
(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1 現在抱えている | 2 過去(1年未満)に抱えていたことがあるが、現在は落ち着いている |
| 3 過去(1年以上3年未満)に抱えていたことがあるが、現在は落ち着いている | 4 過去(3年以上前)に抱えていたことがあるが、現在は落ち着いている |
| 5 抱えていたことはない | 6 わからない |

→ 問22へ

【問18で1～4を選んだ方に質問します】

問19 問題を抱えている(いた)依存対象を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------|
| 1 アルコール | 2 薬物 |
| 3 ギャンブル等 | 4 ゲーム |
| 5 ネット・SNS | 6 買い物 |
| 7 性 | |
| 8 その他(具体的に_____) | |

問20 家族の依存症によりあなたが影響を受けたことについて教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1 気分が落ち込んだ | 2 依存の問題を抱える家族に怒りを感じた |
| 3 浪費・借金による生活困窮が生じた | 4 トラブルのしりぬぐいをした |
| 5 依存症の問題を抱える家族に代わって家事をしたり、身の回りの世話をした | 6 脅しや言葉の暴力を受けた |
| 7 殴る・蹴るなどの暴力を受けた | 8 家庭不和・別居・離別を経験した |
| 9 家族の依存からの回復を経て、家族関係が改善された | 10 家族の依存からの回復を経て、自分が人間的に成長できた |
| 11 特になし | |
| 12 その他(具体的に_____) | |

問21 家族の依存症の問題に対処するため、して(した方が)よかったと思うことを教えてください。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 インターネットなどを通じた情報収集 | 2 知人・友人への相談 |
| 3 家族で話し合う | 4 自らの意思で依存をやめることの手助けをする |
| 5 本人と距離を置き、関わらない | 6 相談機関への相談を勧める |
| 7 医療機関への受診を勧める | 8 自助グループへ参加を勧める |
| 9 回復支援(中間)施設の利用を勧める | 10 自身の困りごとを相談機関に相談する |
| 11 自身の困りごとを家族会に相談する | 12 特になし |
| 13 その他(具体的に_____) | |

VI 横浜市の依存症対策についておたずねします

問22 横浜市の依存症に関する普及啓発であなたが見たことがあるものがあれば教えてください。
(〇はいくつでも)

1



若年層向け依存症啓発動画
「I am 依存症？」

2



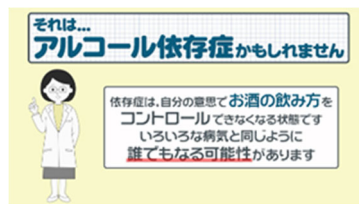
依存症啓発動画「やめられない編」

3



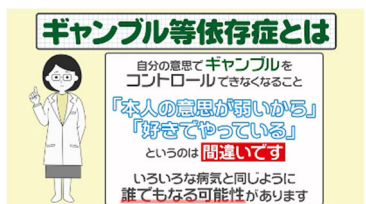
依存症啓発動画「人ごとじゃないかも編」

4



交通広告動画「アルコール依存症ver」

5



交通広告動画「ギャンブル等依存症ver」

6



ギャンブルなどのお悩みを抱えるあなたへ(カード)

7



依存症セルフチェックしてみませんか

8



ゲームとのつきあい方

9



依存症って知っていますか

10



家族のためのハンドブック

【問22 でいずれかを選んだ方に質問します】

問23 それを見てどう思いましたか。(〇はひとつだけ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とてもよかった | 2 よかった |
| 3 どちらともいえない | 4 あまりよくなかった |
| 5 よくなかった | |

問24 横浜市の依存症対策事業についてあなたが知っているものを教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 依存症個別相談(こころの健康相談センター) | 2 精神保健福祉相談(区役所での相談) |
| 3 依存症家族教室(こころの健康相談センター) | 4 依存症(アディクション)家族教室(区役所) |
| 5 依存症回復プログラム(WAI-Y) | 6 依存症セルフチェック |
| 7 各種オープンセミナー・講演会 | 8 依存症の回復を支援する民間団体の活動の体験会 |
| 9 その他 (具体的に_____) | |

【問24 でいずれかを選んだ方に質問します】

問25 あなたはどうやってそれを知りましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 チラシやポスター(市役所・区役所等) | 2 チラシやポスター(医療機関・薬局等) |
| 3 電車・バス・駅等で流れる動画広告 | 4 YouTube で流れる動画広告 |
| 5 インターネット広告 | 6 横浜市の開催する講演会 |
| 7 自分で調べた | 8 人から聞いた |
| 9 その他 (具体的に_____) | |

問26 あなたやあなたの家族が依存の問題を抱えていた場合、行政(横浜市)にどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 悩みや相談を聞いてほしい | 2 医療機関を紹介してほしい |
| 3 回復支援(中間)施設を紹介してほしい | 4 自助グループ・家族会を紹介してほしい |
| 5 家族教室に参加したい | 6 依存症回復プログラムを受けたい |
| 7 依存症に関する情報を発信してほしい | 8 予防に力を入れてほしい |
| 9 何も期待していない | |
| 10 その他 (具体的に_____) | |

VII 最後にもう一度あなたご自身のことについておたずねします

問27 同居している方を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|------------------|-----|----------------|--------|
| 1 祖父母 | 2 親 | 3 配偶者・パートナー・恋人 | 4 兄弟姉妹 |
| 5 子 | 6 孫 | 7 いない(ひとり暮らし) | |
| 8 その他(具体的に_____) | | | |

問28 あなたの主たるご職業を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1 会社・団体などの役員 | 2 勤めている(管理職) |
| 3 勤めている(役員・管理職以外) | 4 自営業(事業経営・個人商店など) |
| 5 派遣 | 6 パート・アルバイト |
| 7 専業主婦・主夫 | 8 学生 |
| 9 自由業(個人で、自分の専門的知識や技術を活かした職業に従事) | 10 無職 |
| 11 その他(具体的に_____) | |

問29 あなたの世帯(生計を共にしている家族)のおおよその年収を教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 1 なし | 2 250万円未満 | 3 250～500万円未満 |
| 4 500～750万円未満 | 5 750～1,000万円未満 | 6 1,000万円以上 |
| 7 わからない | | |

以上で調査は終了となります。ご協力いただき、ありがとうございました。